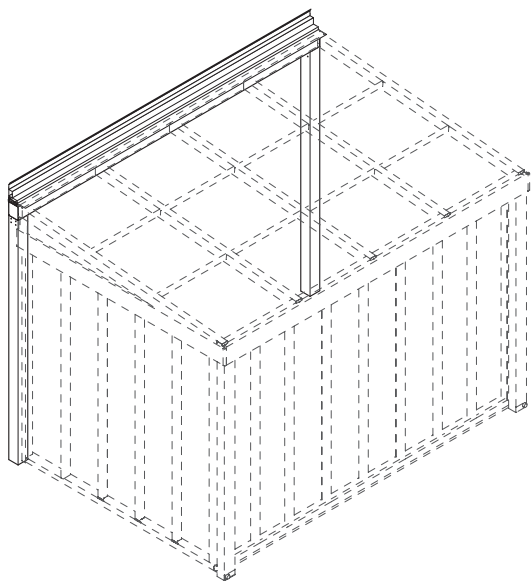
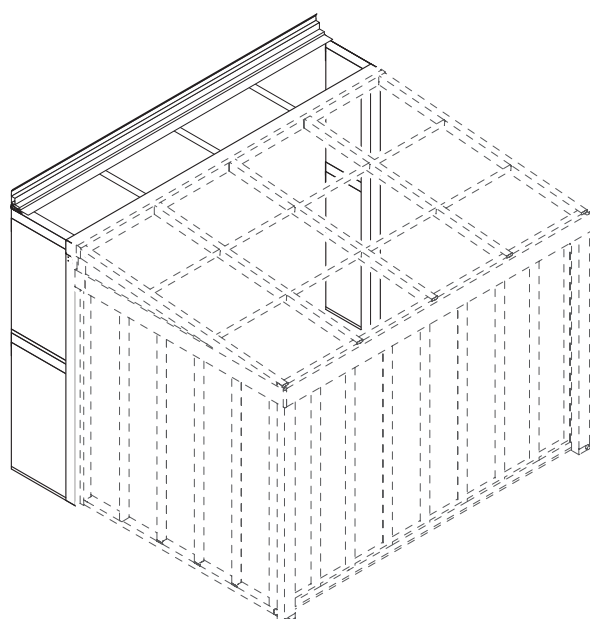


# エクシオール ジーマ サポートフレーム

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



躯体付け(0、100)



400タイプ

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### 安全に関する記号と説明

- 警告** : 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** : 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

### 情報に関する記号と説明

- お願い** : 注意点や不具合を防ぐ上で確認して頂きたいこと、推奨される方法などを示します。
- Pポイント** : 説明の内容および部品などに関して知っておくと便利なことや、取付作業中における確認方法などを示します。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### ⚠ 注意

- 本製品は1.5間～3.0間単体用です。連棟での施工は行わないでください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 外壁に目地や凹凸がある場合は部材取付面をシーリングやバックアップ材を用い、平らに仕上げてください。水漏れのおそれがあります。

### 🧑 お願い

- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 「柱固定用カイモノ」は必要に応じて現場で手配してください。
- 桁の重量がありますので、施工に必要な人数を確保してください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
  - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
  - ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
  - ※φ6ネジ：8.0N・m±0.5N・m(80±5kgf・cm)
  - ※M8ボルト：12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)

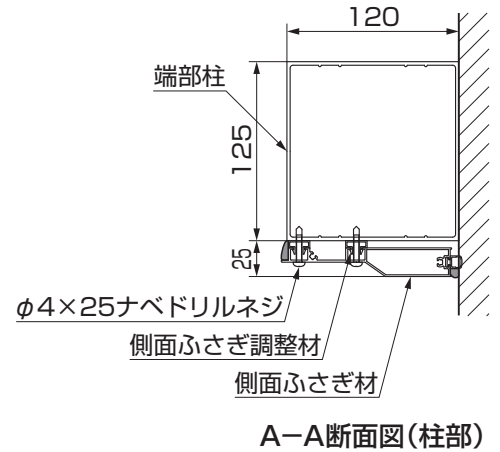
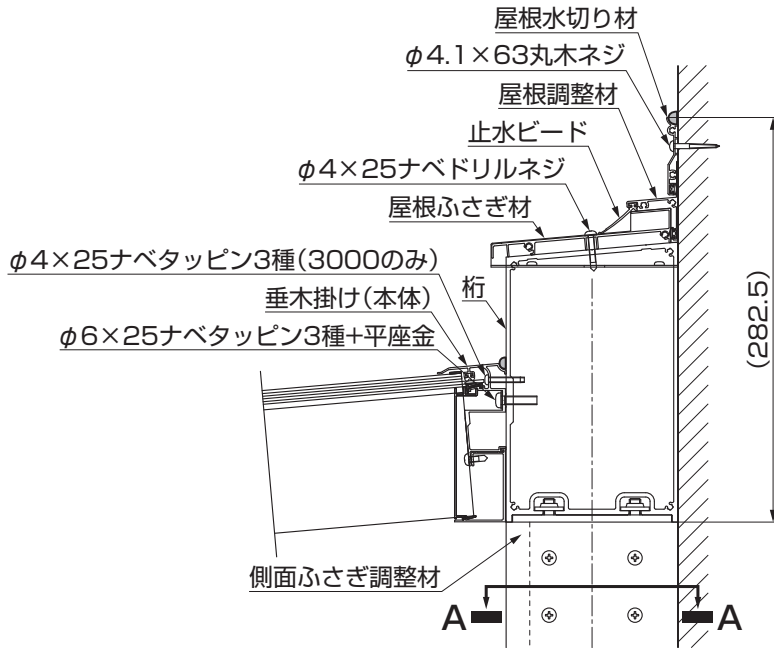
### 🧑 お願い

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 本体側の屋根材取付前に施工を終えてください。

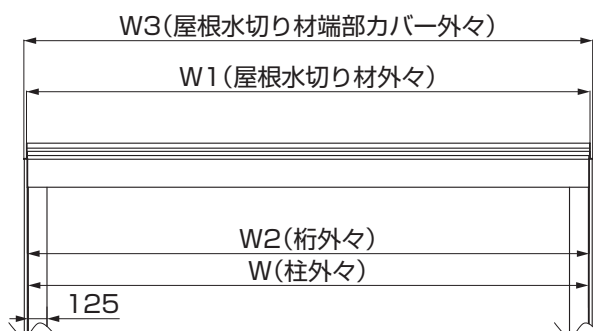
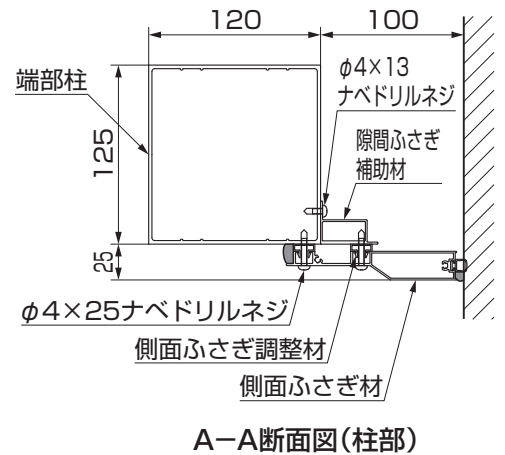
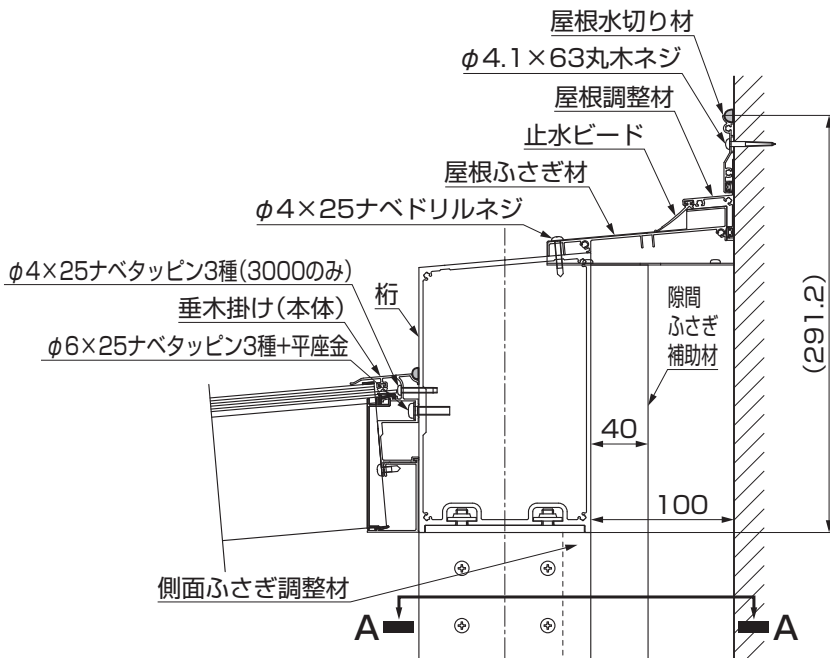
# 1 基本寸法と各部の名称

## 1-1 基本寸法

### 1-1-1 躯体付け(0)



### 1-1-2 躯体付け(100)

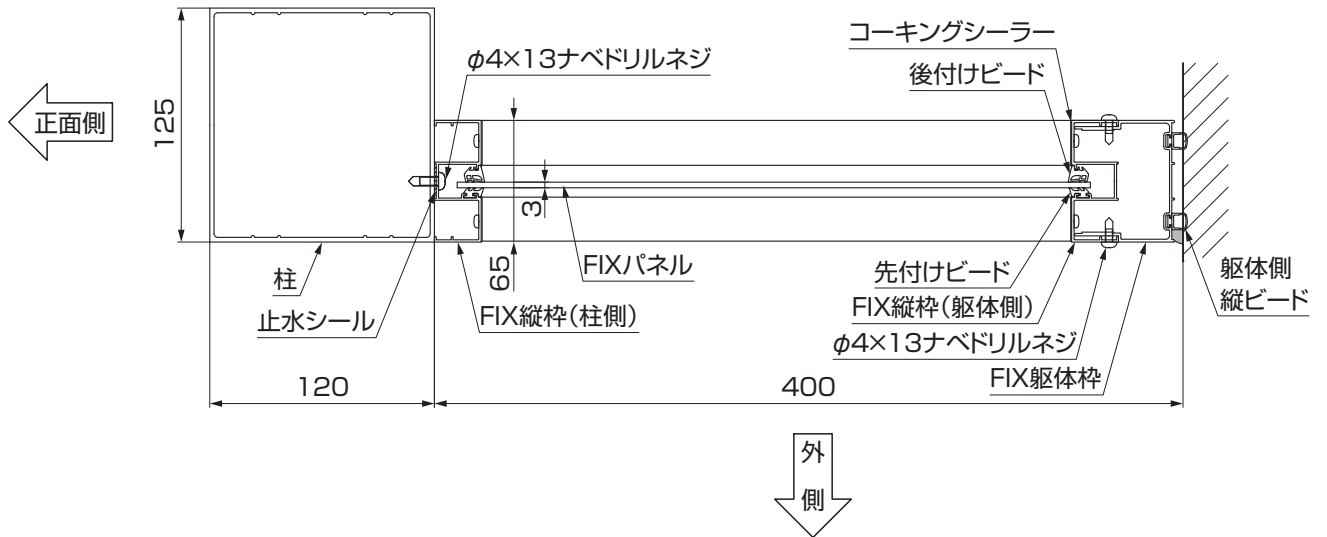
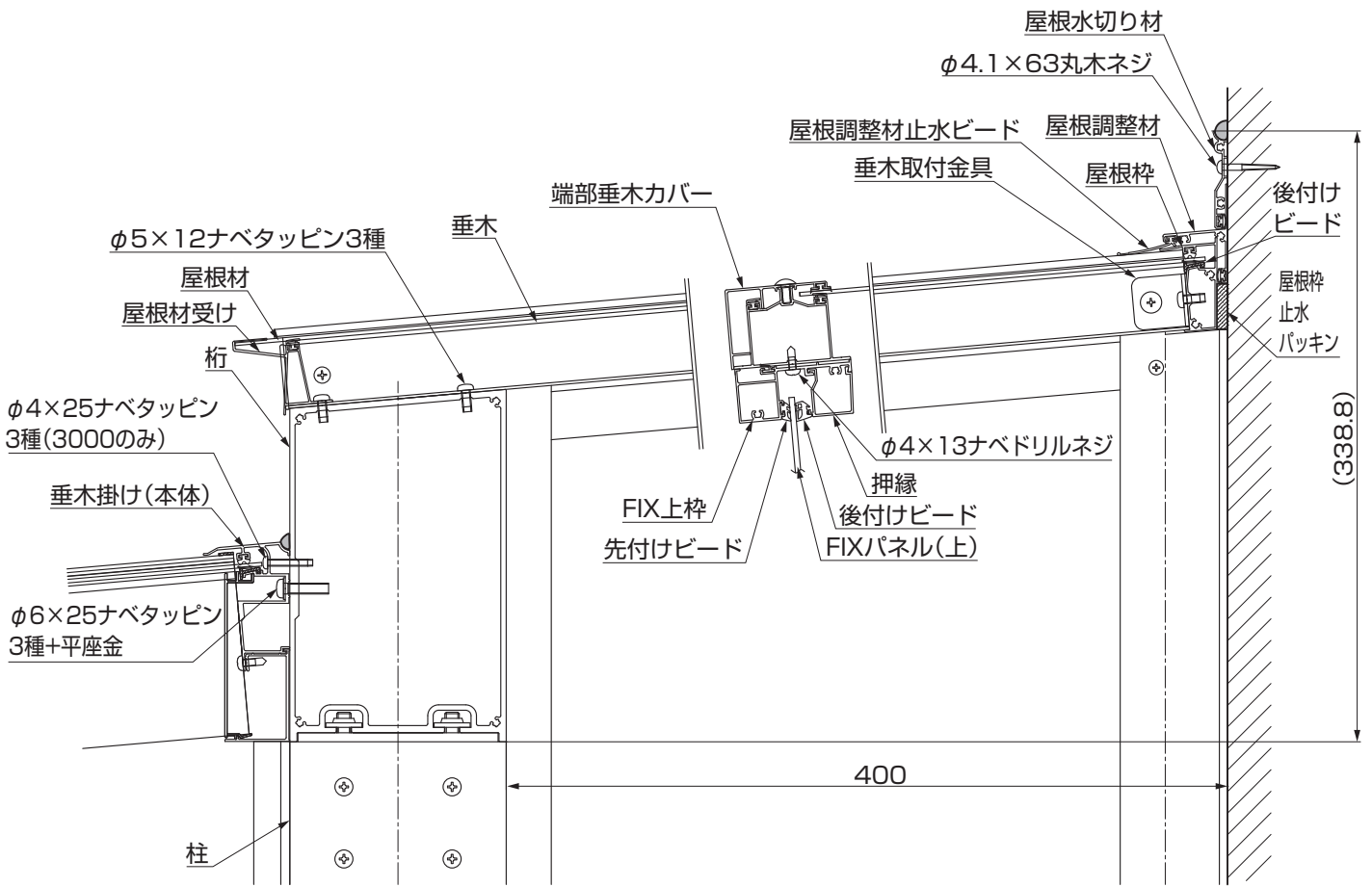


間口寸法

	W	W1	W2	W3
1.5間	2795	2815.9	2805	2850.9
2.0間	3705	3725.9	3715	3760.9
2.5間	4615	4635.9	4625	4670.9
3.0間	5525	5545.9	5535	5580.9

E429\_201609A

# 1-1-3 400タイプ



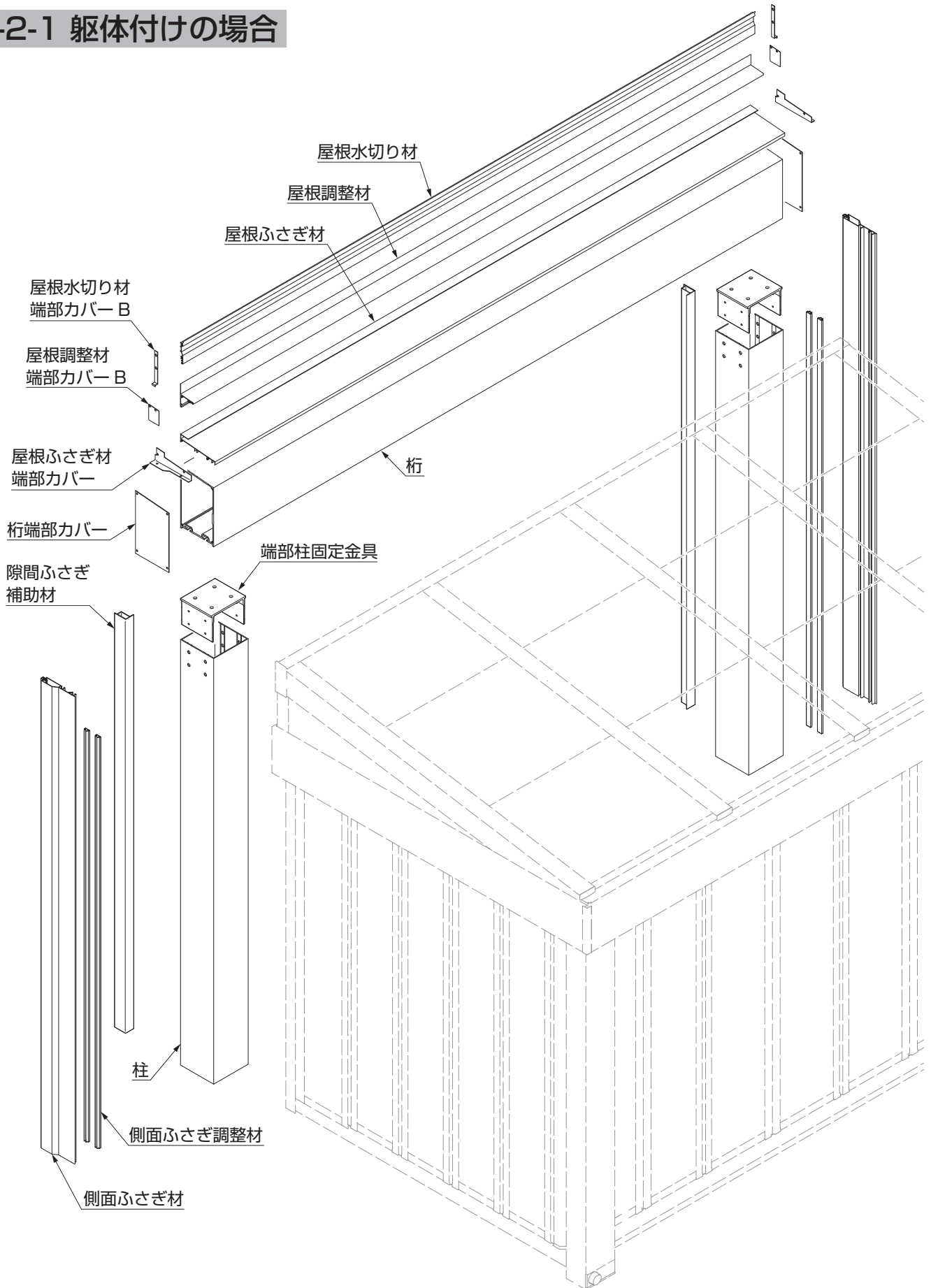
間口寸法

	W	W1	W2	n
1.5間	2795	2815.9	2805	3
2.0間	3705	3725.9	3715	4
2.5間	4615	4635.9	4625	5
3.0間	5525	5545.9	5535	6

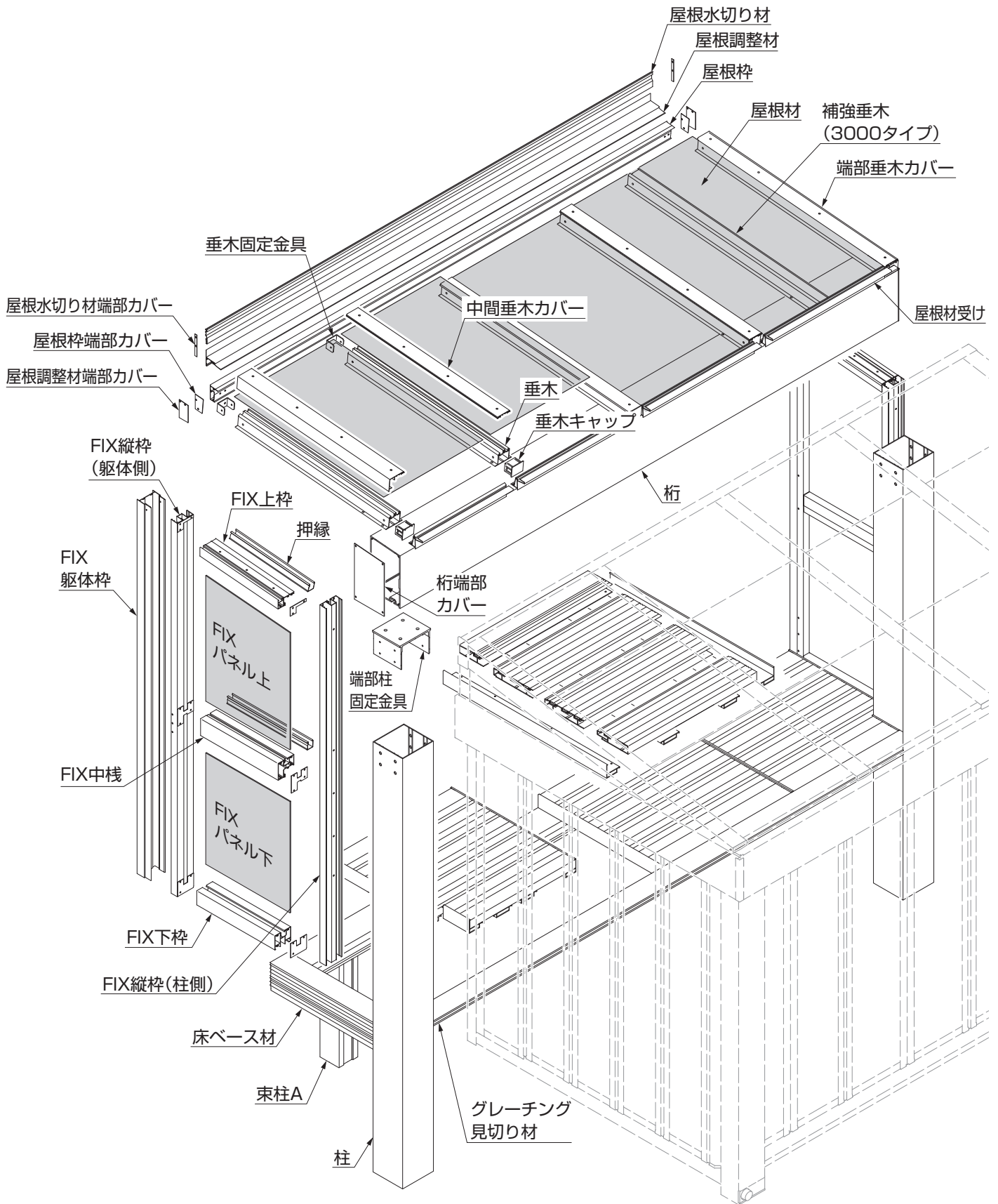
E429\_201609A

# 1-2 各部の名称

## 1-2-1 躯体付けの場合

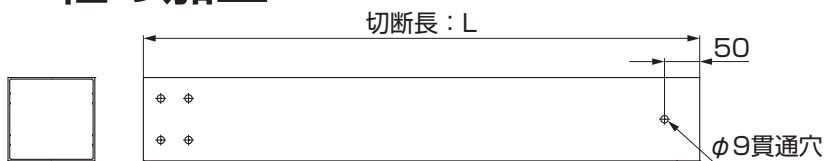


## 1-2-2 400タイプの場合



## 2 部材の加工

### 2-1 柱の加工



#### Pポイント

●切断加工した後に、アンカー棒用の穴加工を行ってください。

	部材名	本体柱高	1.5~3.0間標準桁			3.0間大型桁		
			6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺
400 ・ 躯体 付け	柱	H21	3459.5	3512.5	3565.5	3504.5	3557.5	3610.5
		H23	3659.5	3712.5	3765.5	3704.5	3757.5	3810.5
		H25	3859.5	3912.5	3965.5	3904.5	3957.5	4010.5
		H32テラス	4559.5	4612.5	※4665.5			

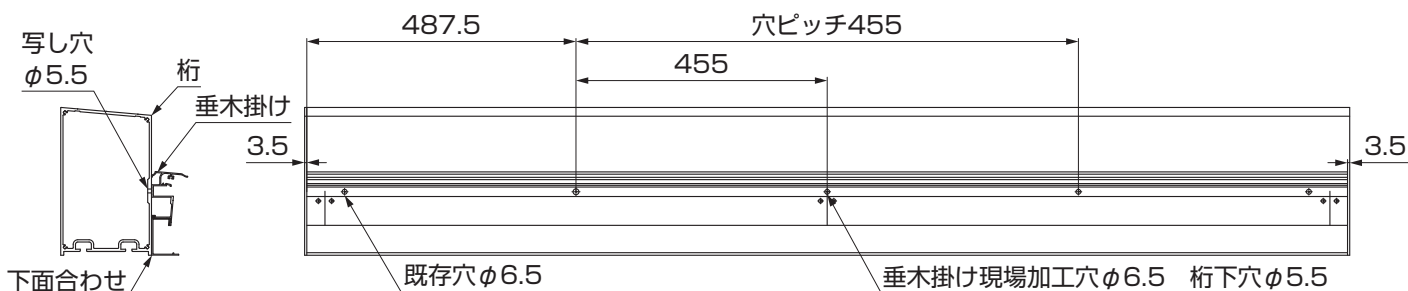
表の寸法はGL ~ FLの高さが550の場合

※切断なし

### 2-2 桁の加工

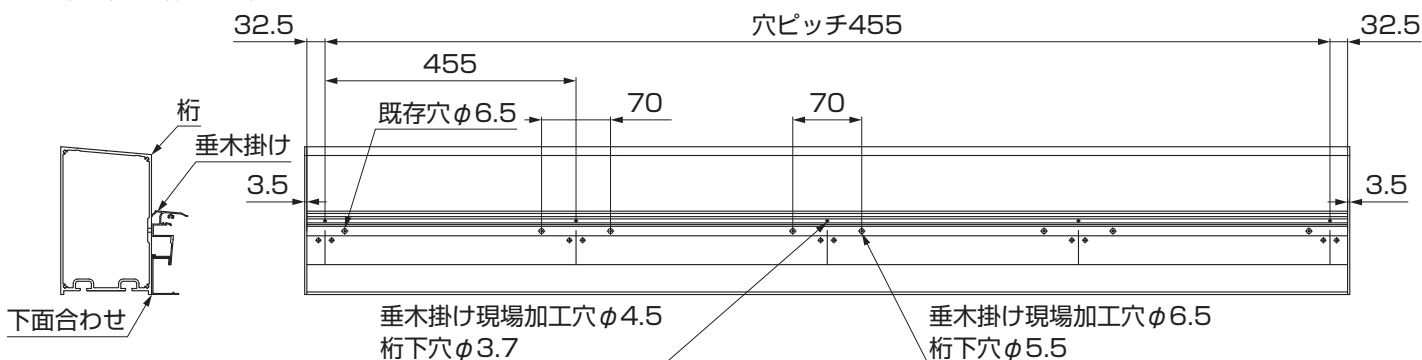
#### 2-2-1 桁・垂木掛け600、1500タイプ

- ①垂木掛けに455mmピッチでφ6.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛け下面を桁下面に合わせ、左右端面を均等(3.5mm)に離れた状態で、桁に写し穴φ5.5をあけてください。



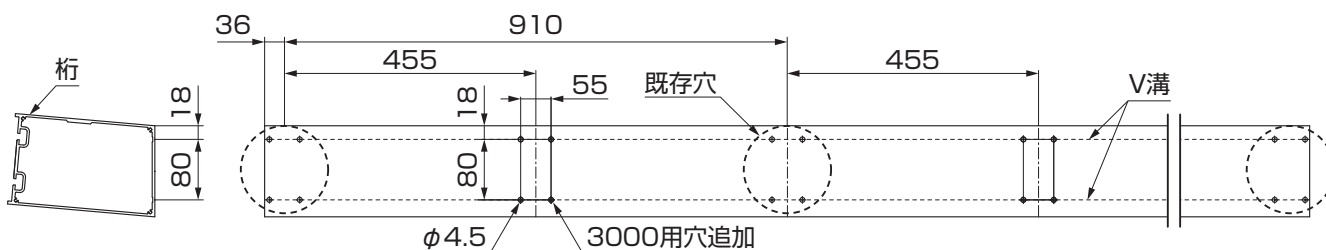
#### 2-2-2 桁・垂木掛け3000タイプ

- ①垂木掛けに455mmピッチでφ6.5およびφ4.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛け下面を桁下面に合わせ左右端面を均等(3.5mm)に離れた状態で、桁に写し穴φ5.5(φ6.5下穴)、φ3.7(φ4.5下穴)をあけてください。



#### 2-2-3 桁3000タイプ

- ①既存加工穴の中間(455mm)にφ4.5の穴加工をしてください。

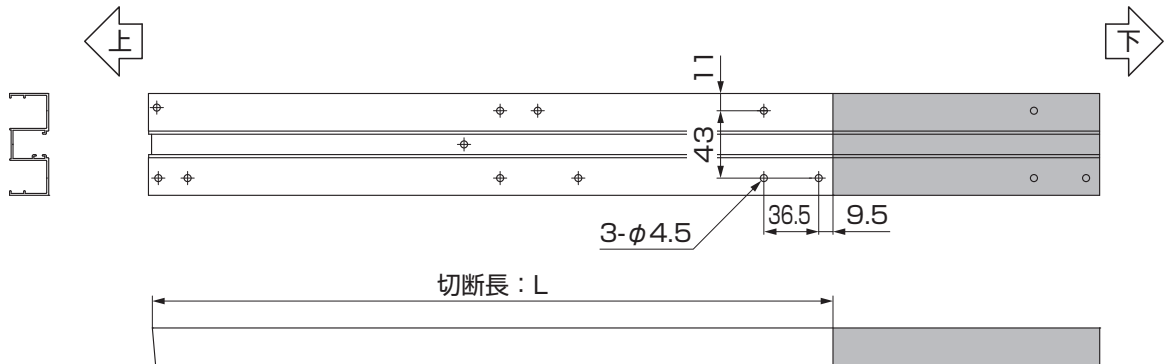


## 2-3 FIX枠の加工

### 2-3-1 FIX縦枠(柱側)

#### Pポイント

- 角度切されている側が上となりますので、必ず下側を切断してください。
- 切断加工した後に、穴加工を行ってください。
- 図は外観右用を示します。外観左用は本図と対称にしてください。

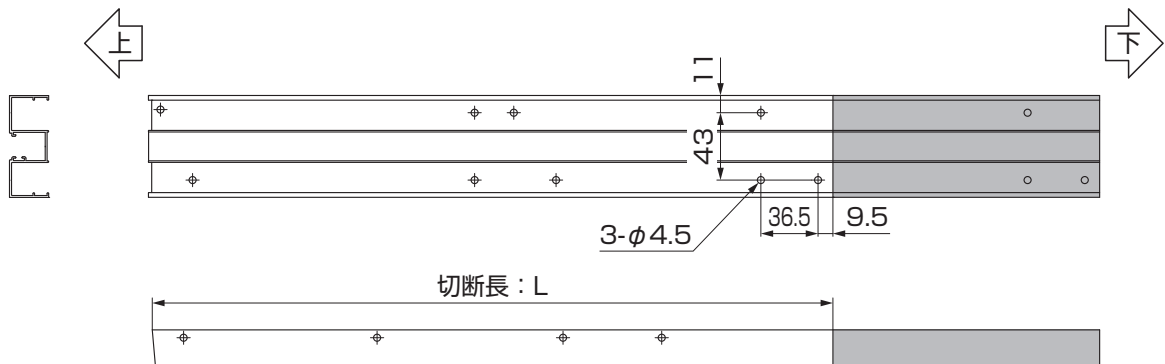


切断長：L

	部材名	本体柱高	1.5～3.0間標準桁			3.0間大型桁		
			6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺
400	FIX縦枠(柱側)	H21	2556	2609	2662	2601	2654	2707
		H23	2756	2809	2862	2801	2854	2907
		H25	2956	3009	3062	3001	3054	※3107

※切断なし

### 2-3-2 FIX縦枠(躯体側)



切断長：L

	部材名	本体柱高	1.5～3.0間標準桁			3.0間大型桁		
			6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺
400	FIX縦枠(躯体側)	H21	2586	2639	2692	2631	2684	2737
		H23	2786	2839	2892	2831	2884	2937
		H25	2986	3039	3092	3031	3084	※3137

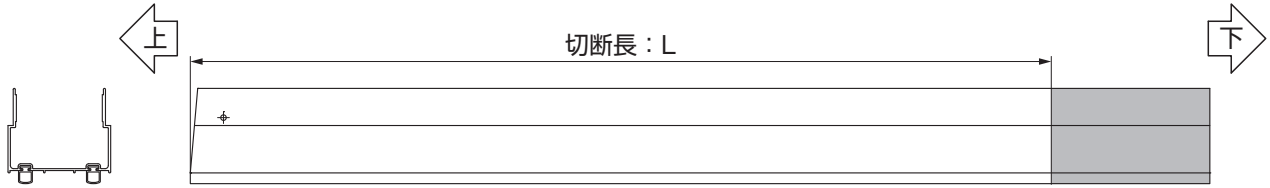
※切断なし



## 2-3-3 FIX躯体枠の加工

### Pポイント

●角度切されている側が上となりますので、必ず下側を切断してください。



切断長：L

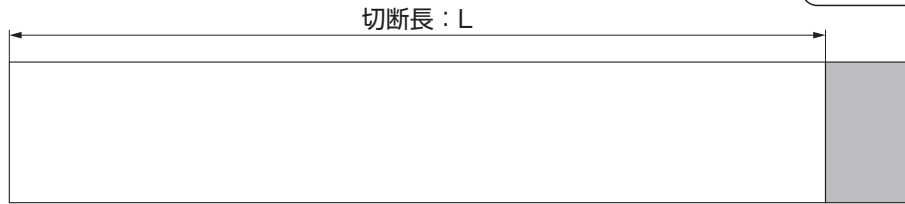
	部材名	本体柱高	1.5～3.0間標準桁			3.0間大型桁		
			6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺
400	FIX躯体枠	H21	2587	2640	2693	2632	2685	2738
		H23	2787	2840	2893	2832	2885	2938
		H25	2987	3040	3093	3032	3085	※3138

※切断なし

## 2-3-4 FIXパネル下の加工

### Pポイント

●長辺側を切断加工します。

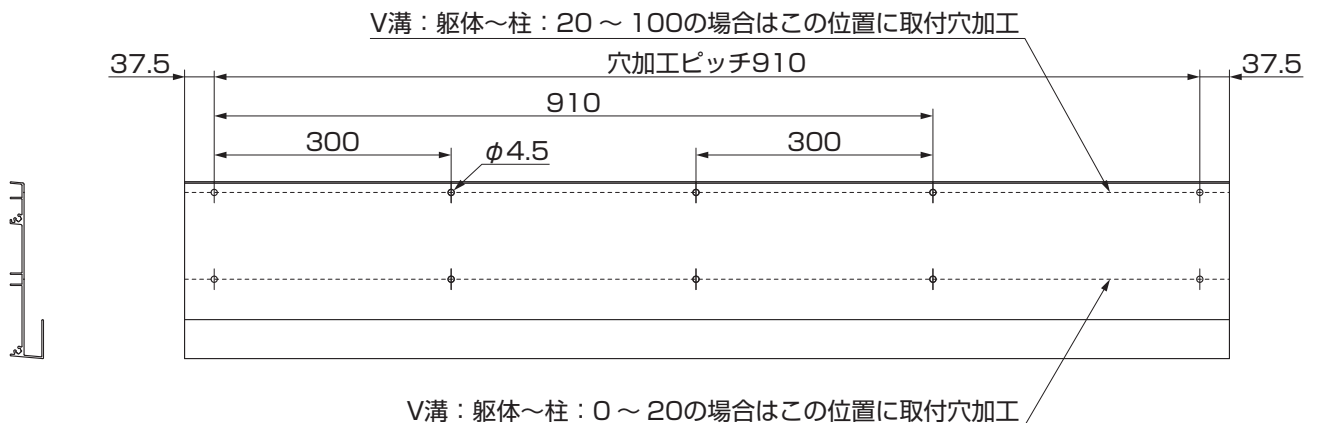


切断長：L

	部材名	本体柱高	1.5～3.0間標準桁			3.0間大型桁		
			6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺
400	FIXパネル下	H21	1035	1088	1141	1080	1133	1186
		H23	1235	1288	1341	1280	1333	1386
		H25	1435	1488	1541	1480	1533	※1586

※切断なし

## 2-4 屋根ふさぎ材の加工 ※躯体付けタイプのみ



## 2-5 側面ふさぎ材の加工

### 2-5-1 側面ふさぎ材、側面ふさぎ調整材



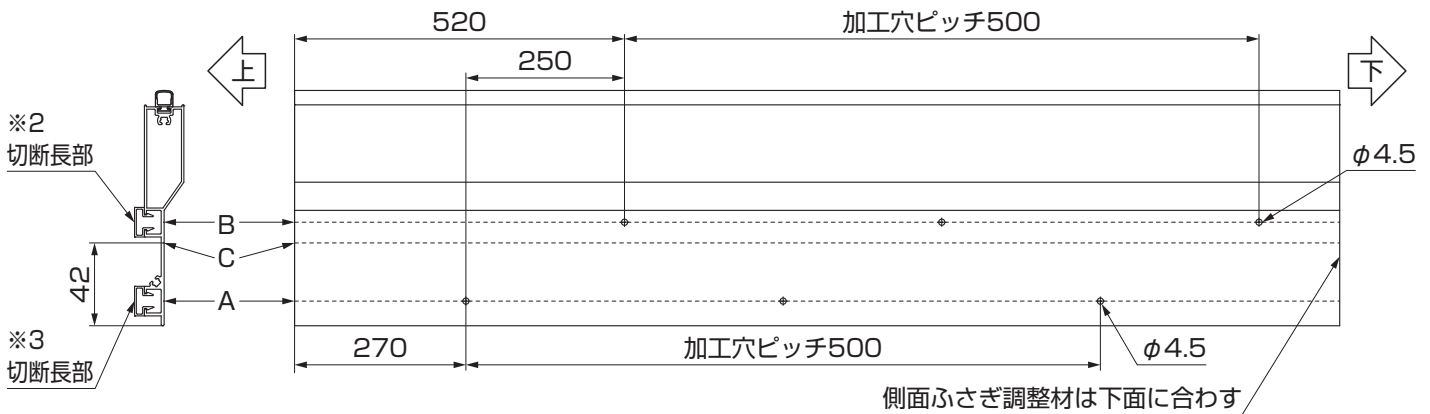
**注意**

● 躯体～柱の寸法が100でグレーチング取付けの場合は切断長が異なりますので注意してください。

① 側面ふさぎ調整材を下となる側に合わせ、側面ふさぎ材と穴を共あけしてください。

#### Pポイント

● それぞれを切断加工した後に、側面ふさぎ調整材を側面ふさぎ材に取付けてください。



穴あけ位置 (V溝)	柱～躯体距離		
	0～64	64～75	75～100
A	○	○	○
B	○		○
C(42mm)		○	

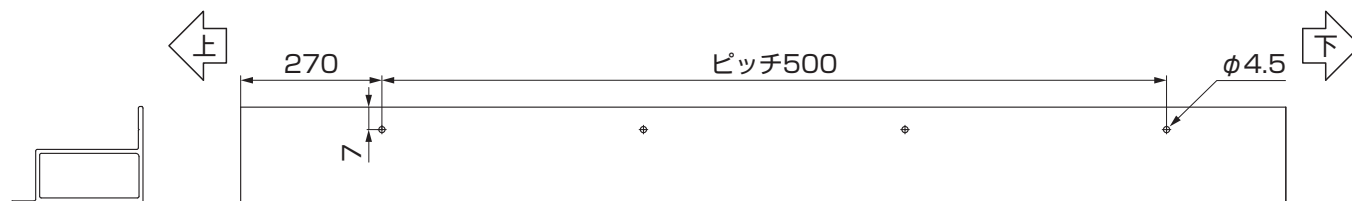
※○の位置のV溝に合わせて穴加工してください。  
※Cの位置はV溝ではなく端面から42mmの位置です。

部材名	本体柱高	1.5～3.0間標準桁			3.0間大型桁			
		6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺	
側面ふさぎ材 (柱～躯体距離：100)	H21	3096	3149	3202	3141	3194	3247	※
	H23	3296	3349	3402	3341	3394	3447	※
	H25	3496	3549	3602	3541	3594	3647	※
側面ふさぎ材 (柱～躯体距離：0)	H21	3087.5	3140.5	3193.5	3132.5	3185.5	3238.5	※
	H23	3287.5	3340.5	3393.5	3332.5	3385.5	3438.5	※
	H25	3487.5	3540.5	3593.5	3532.5	3585.5	3638.5	※
側面ふさぎ調整材 (柱～躯体距離：100) ※2	グレーチング床上 H21	2313	2366	2419	2358	2411	2464	
	グレーチング床上 H23	2513	2566	2619	2558	2611	2664	
	グレーチング床上 H25	2713	2766	2819	2758	2811	2864	
	床下	430						※
側面ふさぎ調整材 (柱～躯体距離：100) グレーチングなし	H21	2909	2962	3015	2954	3007	3060	※
	H23	3109	3162	3215	3154	3207	3260	※
	H25	3309	3362	3415	3354	3407	3460	※
側面ふさぎ調整材 (柱～躯体距離：0) ※3	H21	2900.5	2953.5	3006.5	2945.5	2998.5	3051.5	※
	H23	3100.5	3153.5	3206.5	3145.5	3198.5	3251.5	※
	H25	3300.5	3353.5	3406.5	3345.5	3398.5	3451.5	※

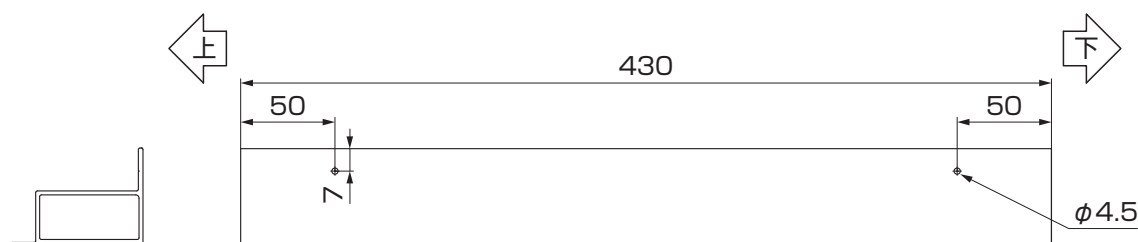
※表の寸法はGL～FLの高さが550の場合。  
550より低くした場合は差額分短くしてください。

## 2-5-2 隙間ふさぎ補助材の加工

【床上用】



【床下用】



部材名	本体柱高	1.5～3.0間標準桁			3.0間大型桁			
		6尺	8尺	10尺	6尺	8尺	10尺	
隙間ふさぎ補助材 (柱～躯体距離：100)	グレーチング床上 H21	2500	2553	2606	2545	2598	2651	
	グレーチング床上 H23	2700	2753	2806	2745	2798	2851	
	グレーチング床上 H25	2900	2953	3006	2945	2998	3051	
	床下	430						※
隙間ふさぎ補助材 (柱～躯体距離：100) グレーチングなし	H21	3096	3149	3202	3141	3194	3247	※
	H23	3296	3349	3402	3341	3394	3447	※
	H25	3496	3549	3602	3541	3594	3647	※

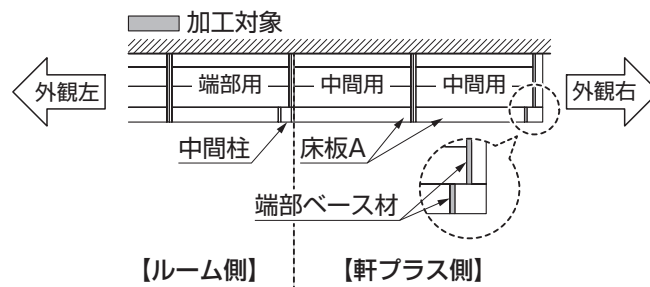
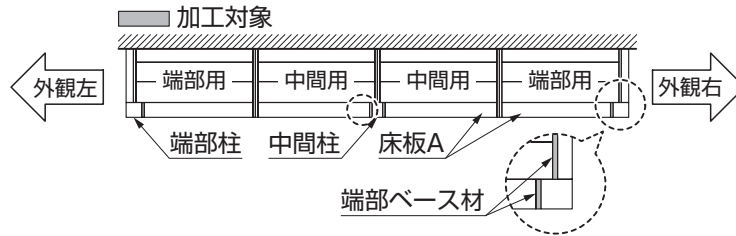
※表の寸法はGL～FLの高さが550の場合。  
550より低くした場合は差額分短くしてください。

## 2-6 グレーチングの加工

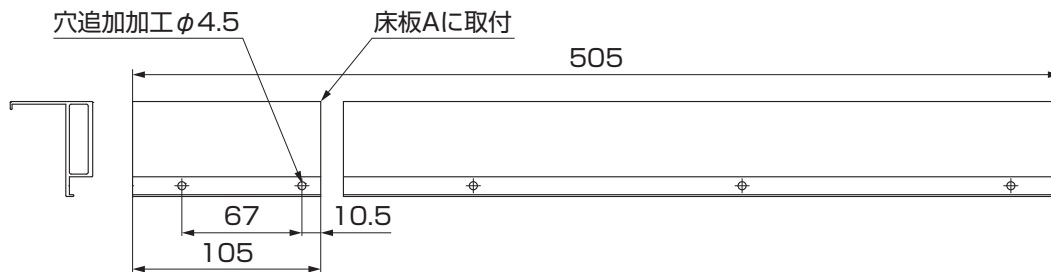
### 2-6-1 端部ベース材の加工

**P** ポイント

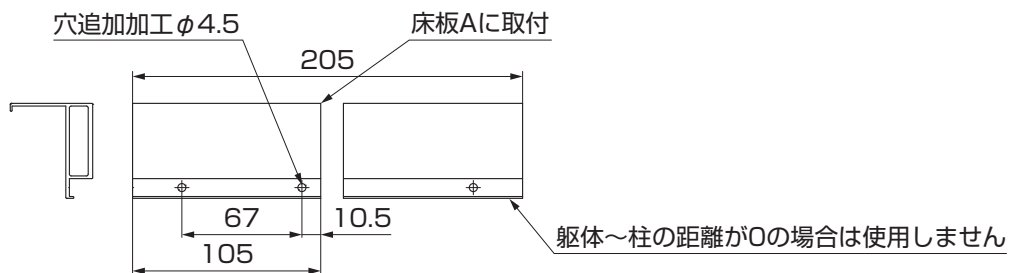
●図は外観右用を示します。外観左用は本図と対称にしてください。



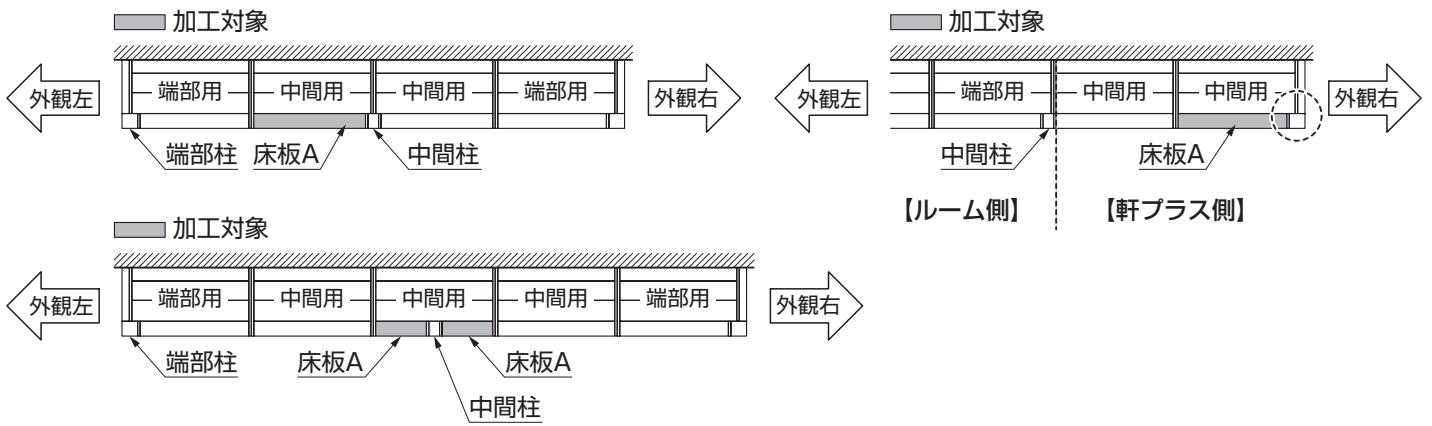
【本体400タイプ端部用、軒プラス端部側、3.0間中間柱部、3000タイプ2.0間中間柱部の場合】



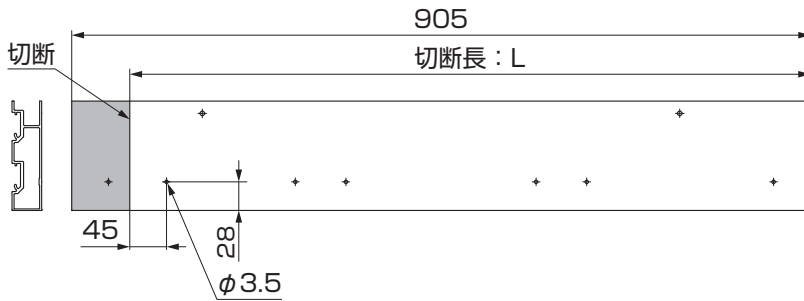
【本体躯体付け(躯体～柱：0、100)の場合】



## 2-6-2 床板Aの加工

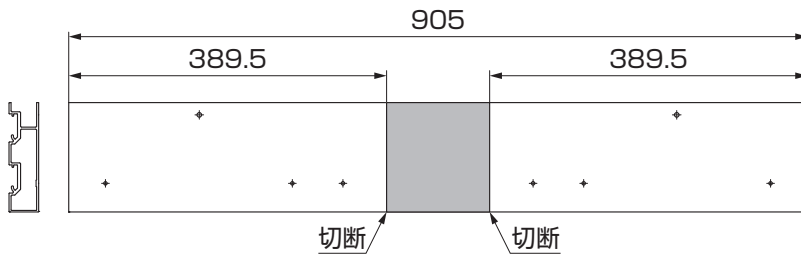


### 【3.0間、3000タイプ2.0間】



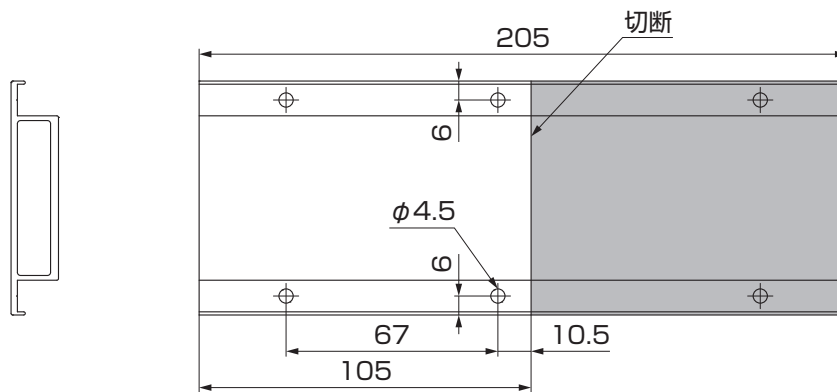
	床板A	床板連結材
3.0間(600～3000)	842.5	837.5
2.0間(3000)	842.5	837.5
軒プラス端部側	780	775

### 【2.5間】

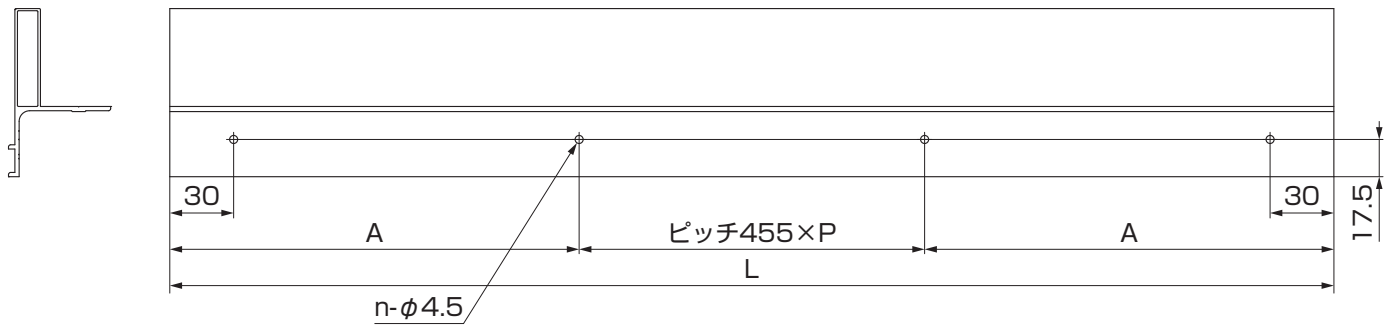


床板連結材	385×2
-------	-------

## 2-6-3 中間ベース材の加工 ※本体躯体付け(柱～躯体の距離が0の場合)



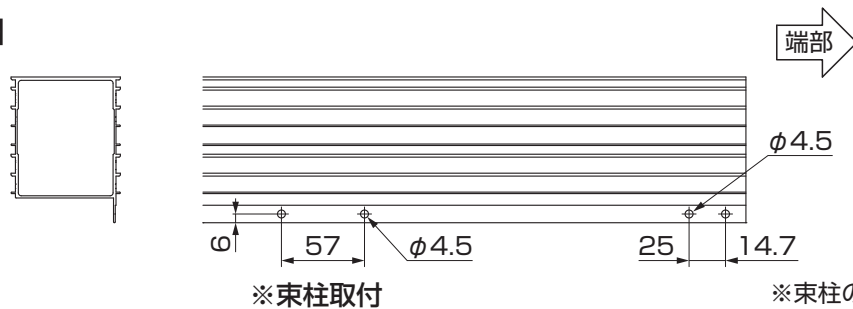
## 2-6-4 グレーチング見切り材の加工



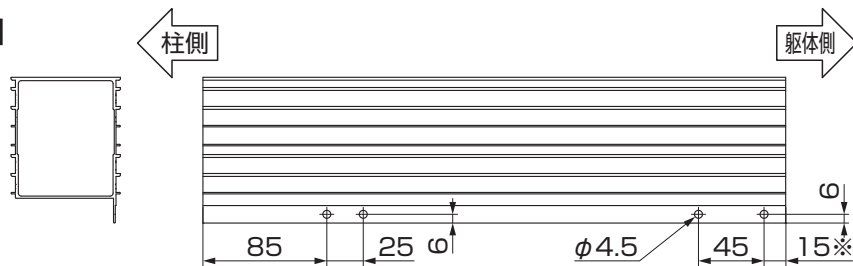
間口	L	A	P	n	備考
1.5間	2544	362	4	7	
2.0間	3454	362	6	9	切断なし
2.5間	2119	377	3	6	
3.0間	2574	377	4	7	
軒プラス0.5間	784	392	-	3	
軒プラス1.0間	1694	392	2	5	
軒プラス1.5間	2604	392	4	7	
外面0.5間	834	417	0	3	
外面1.0間	1744	417	2	5	
外面1.5間	2654	417	4	7	
外面2.0間	1744	417	2	5	
	1820	455	2	6	
外面2.5間	2654	417	4	7	
	1820	455	2	6	

## 2-6-5 床ベース材の加工

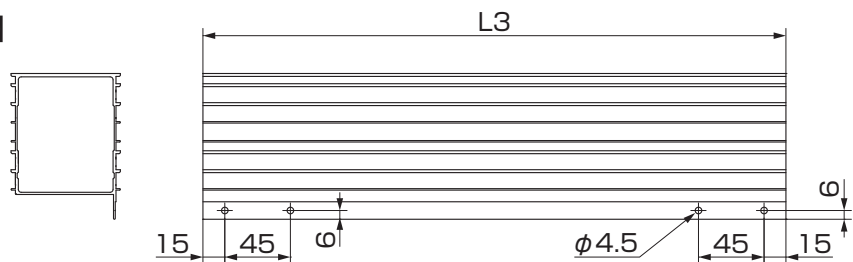
【L1】



【L2】



【L3】



躯体との距離	間口	切断前長さ	L1	L2
400	1.5間	3475	2645	400×2
	2.0間	4385	3555	400×2
	2.5間	5295	4465	400×2
	3.0間	3475×2	2687.5×2	400×2
0	1.5間	2565	2545	—
	2.0間	3475	3455	—
	2.5間	4385	2120×2	—
	3.0間	5295	2575×2	—
100	1.5間	3475	2795	—
	2.0間	4385	3705	—
	2.5間	5295	4615	—
	3.0間	2565 3475	2100 3425	—
軒プラス (400)	0.5間	1835	835	400
	1.0間	2440	1745	400
	1.5間	3475	2655	400

外面 グレーチング	L1		L3		
	躯体側	前面側	400	100	0
0.5間	835	875	595	295	195
1.0間	1745	1785			
1.5間	2655	2695			
2.0間	3565	3605			
2.5間	4475	4515			

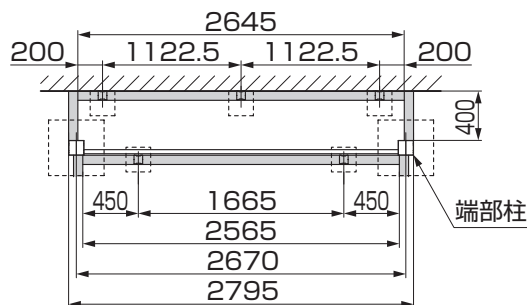
### 3 柱・桁の建込み

#### 3-1 基礎伏図

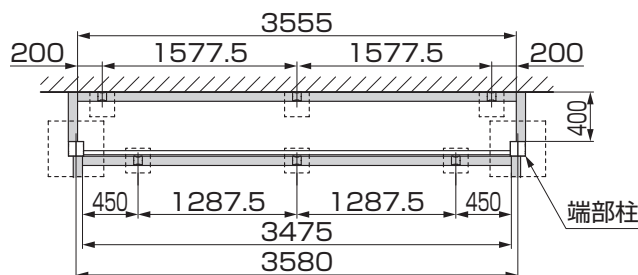
##### 3-1-1 400タイプ 1.5間 600,1500,3000タイプ

**注意**

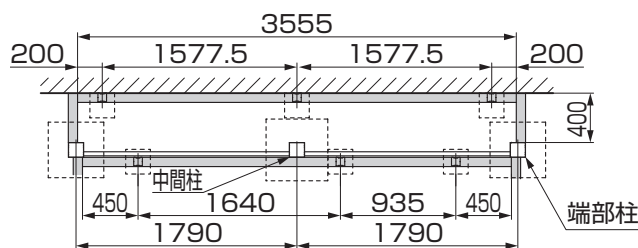
●端部柱・中間柱の移動はできません。



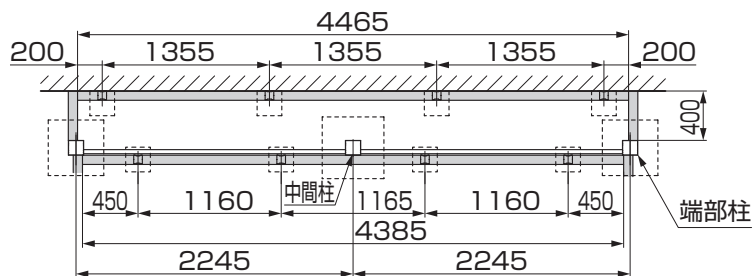
##### 3-1-2 400タイプ 2.0間 600,1500タイプ



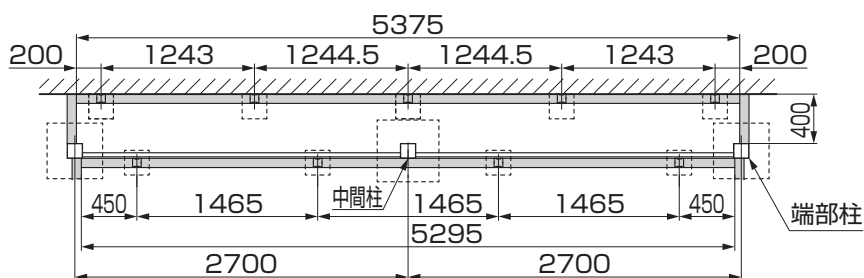
##### 3-1-3 400タイプ 2.0間 3000タイプ



##### 3-1-4 400タイプ 2.5間 600,1500,3000タイプ

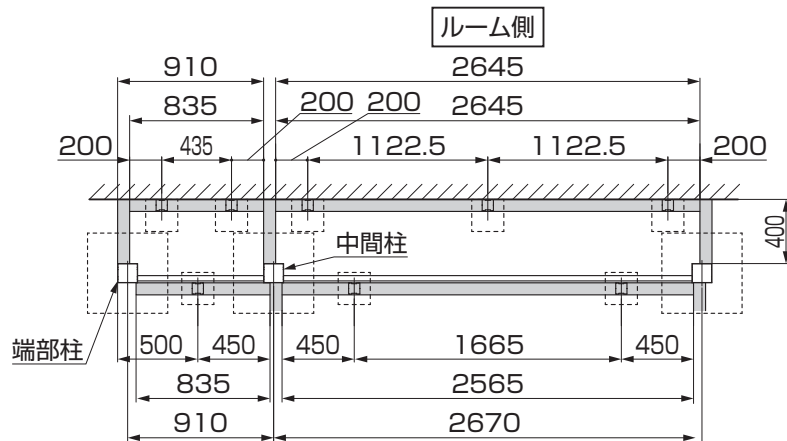


##### 3-1-5 400タイプ 3.0間 600,1500,3000タイプ

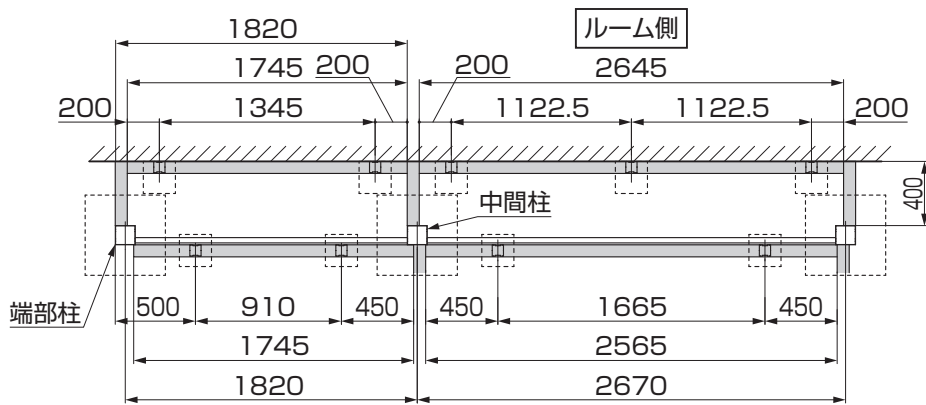




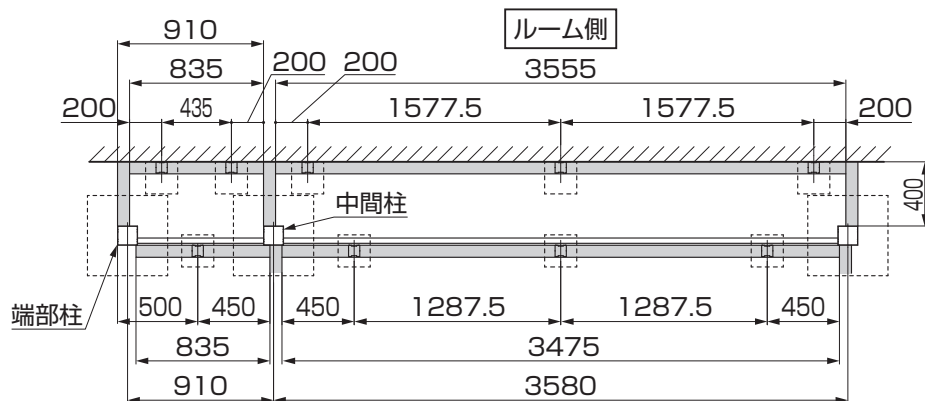
### 3-1-6 軒プラス片側 2.0間(ルーム1.5間+0.5間) 600,1500タイプ



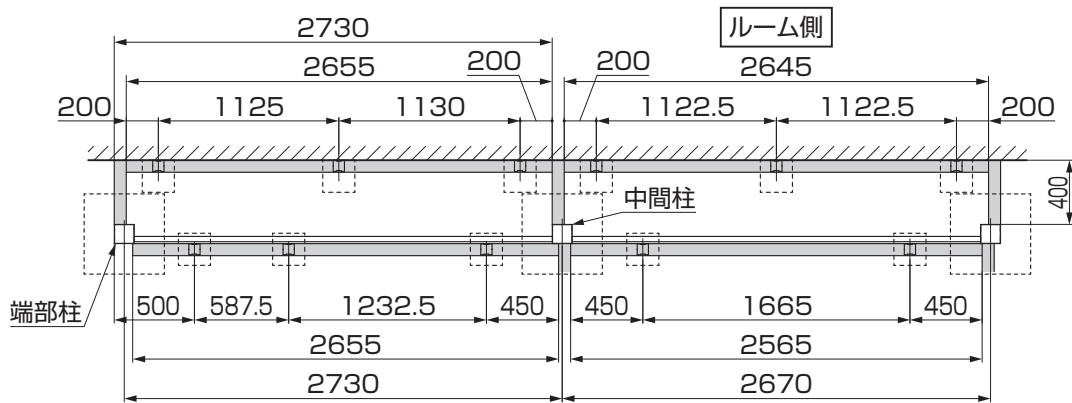
### 3-1-7 軒プラス片側 2.5間(ルーム1.5間+1.0間) 600,1500タイプ



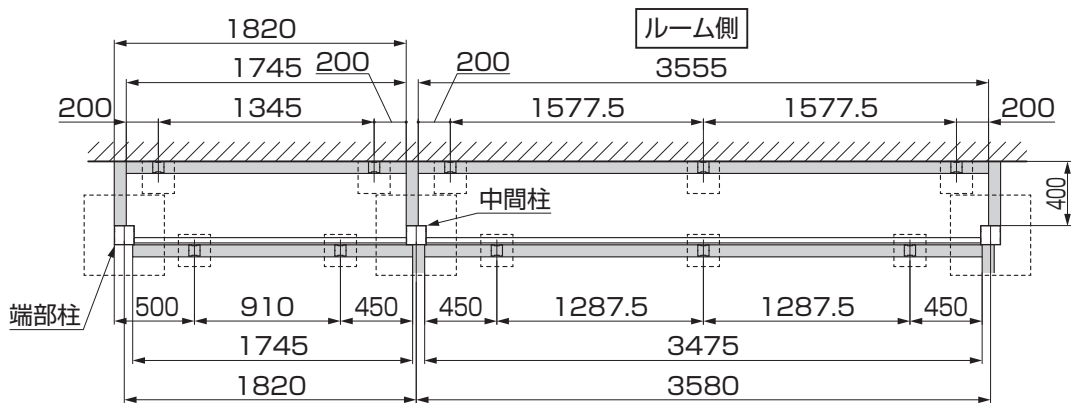
### 3-1-8 軒プラス片側 2.5間(ルーム2.0間+0.5間) 600,1500タイプ



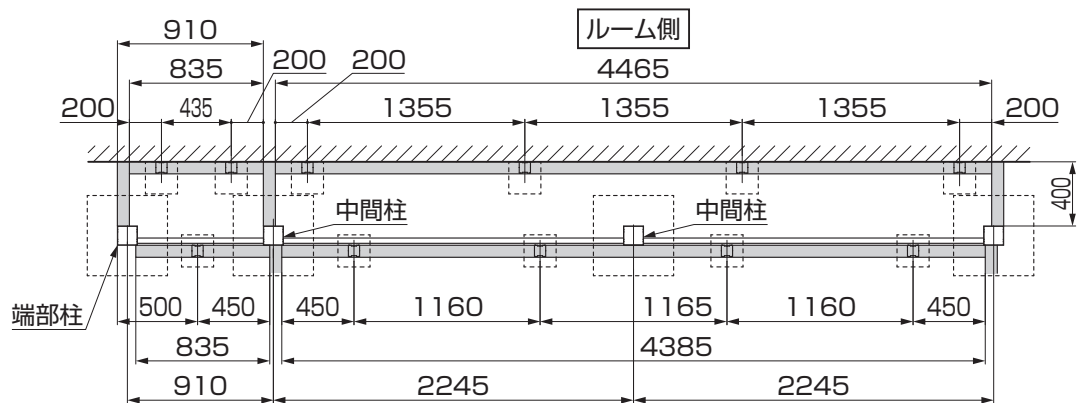
### 3-1-9 軒プラス片側 3.0間(ルーム1.5間+1.5間) 600,1500タイプ



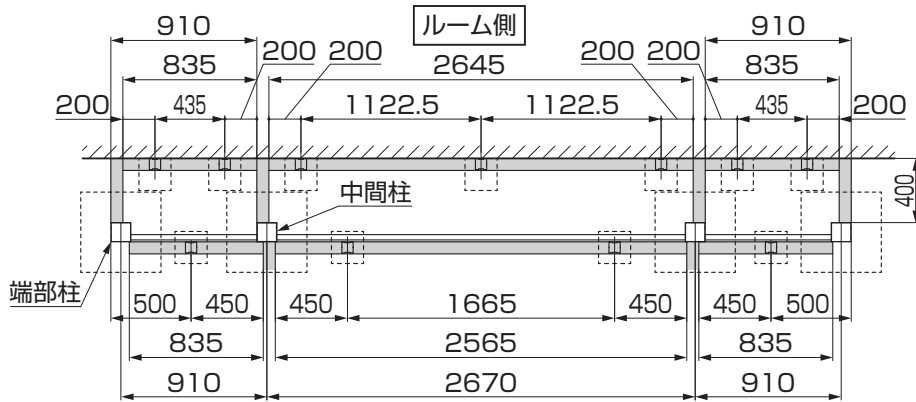
### 3-1-10 軒プラス片側 3.0間(ルーム2.0間+1.0間) 600,1500タイプ



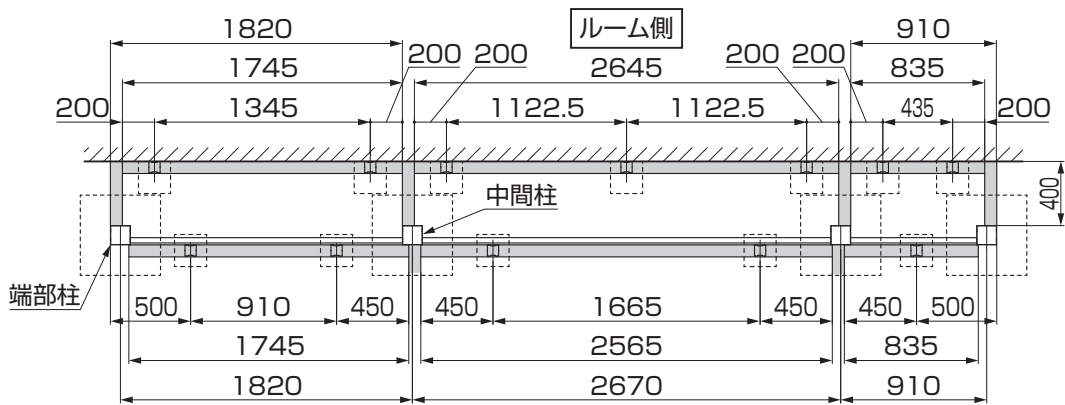
### 3-1-11 軒プラス片側 3.0間(ルーム2.5間+0.5間) 600,1500タイプ



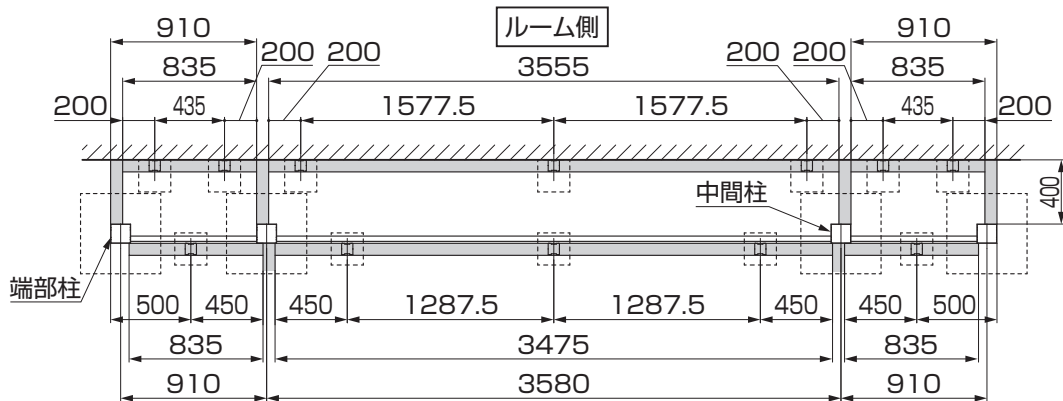
### 3-1-12 軒プラス両側 2.5間(0.5間+ルーム1.5間+0.5間) 600,1500タイプ



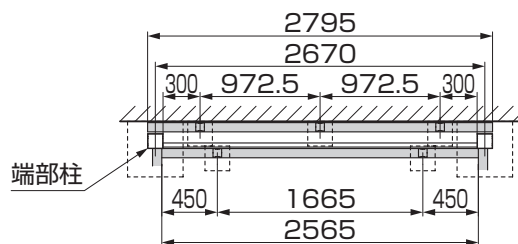
### 3-1-13 軒プラス両側 3.0間(1.0間+ルーム1.5間+0.5間) 600,1500タイプ



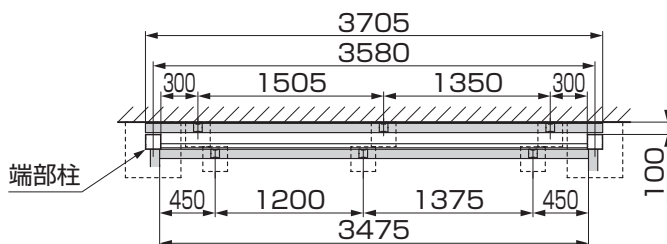
### 3-1-14 軒プラス両側 3.0間(0.5間+ルーム2.0間+0.5間) 600,1500タイプ



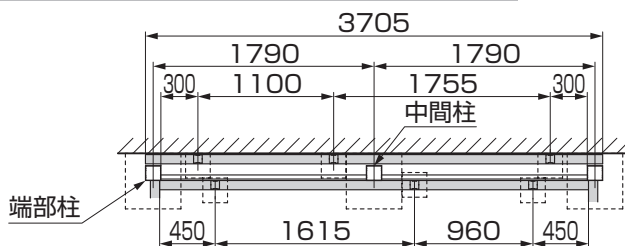
### 3-1-15 躯体付け(100) 1.5間 600,1500,3000タイプ



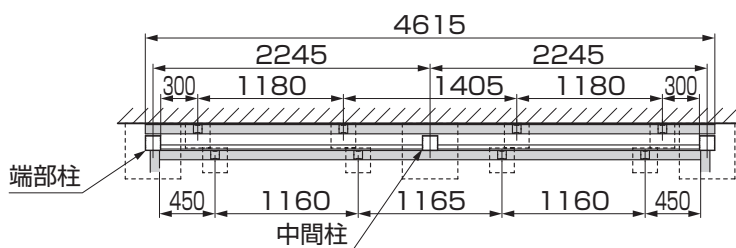
### 3-1-16 躯体付け(100) 2.0間 600,1500タイプ



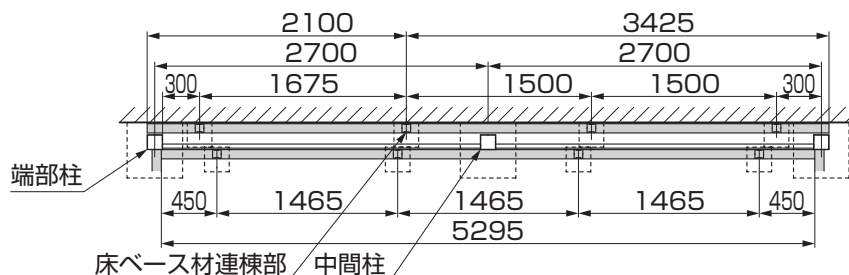
### 3-1-17 躯体付け(100) 2.0間 3000タイプ



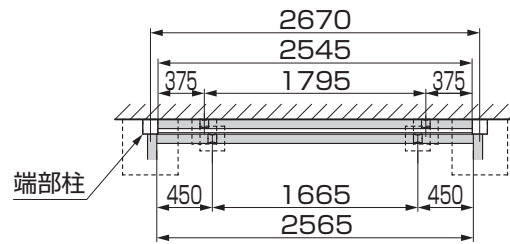
### 3-1-18 躯体付け(100) 2.5間 600,1500,3000タイプ



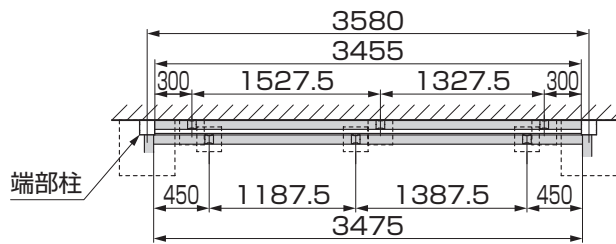
### 3-1-19 躯体付け(100) 3.0間 600,1500,3000タイプ



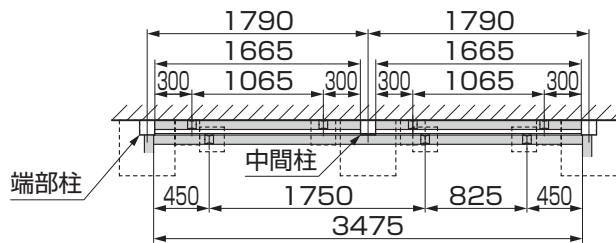
### 3-1-20 躯体付け(0) 1.5間 600,1500,3000タイプ



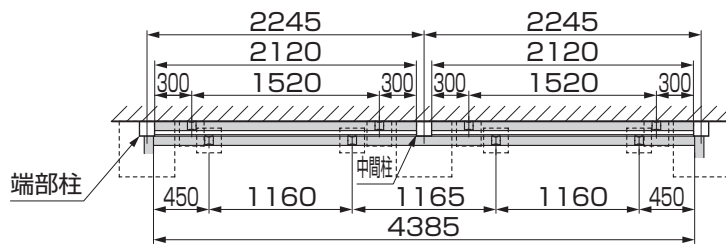
### 3-1-21 躯体付け(0) 2.0間 600,1500タイプ



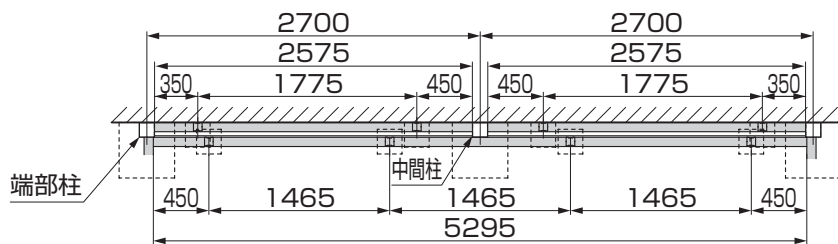
### 3-1-22 躯体付け(0) 2.0間 3000タイプ



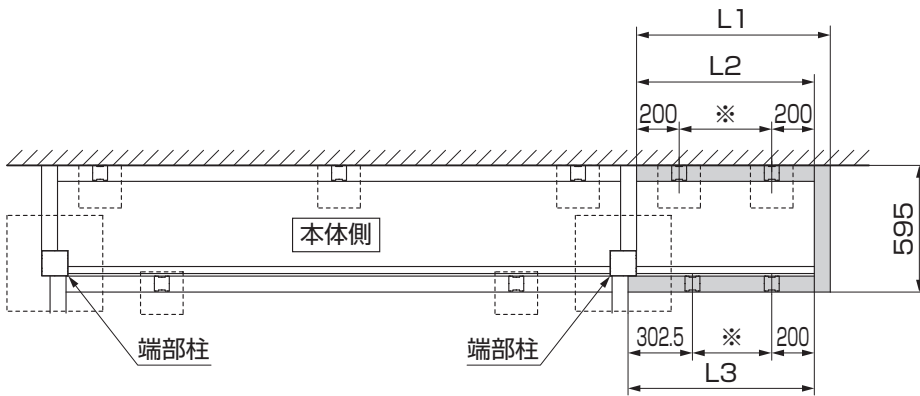
### 3-1-23 躯体付け(0) 2.5間 600,1500,3000タイプ



### 3-1-24 躯体付け(0) 3.0間 600,1500,3000タイプ



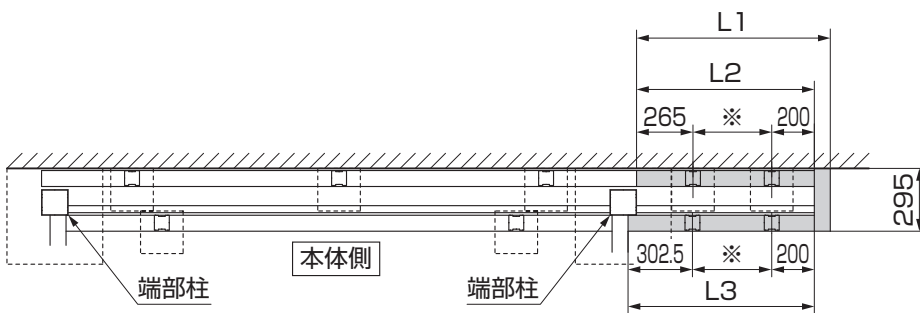
### 3-1-25 400タイプ 外面グレーチング



	0.5間	1.0間	1.5間	2.0間
L1	910	1820	2730	3640
L2	835	1745	2655	3565
L3	875	1785	2695	3605

※束柱のピッチは1800mm以下になるように間口により追加してください。  
L1を表以下にする場合はグレーチングの切詰めが必要となります。

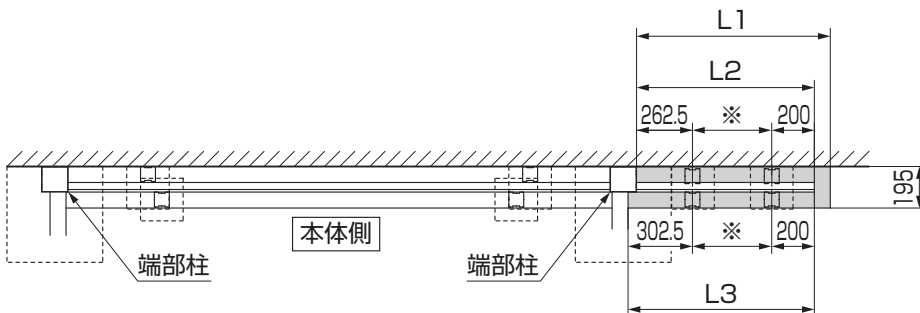
### 3-1-26 躯体付け(100) 外面グレーチング



	0.5間	1.0間	1.5間	2.0間
L1	910	1820	2730	3640
L2	835	1745	2655	3565
L3	875	1785	2695	3605

※束柱のピッチは1800mm以下になるように間口により追加してください。  
L1を表以下にする場合はグレーチングの切詰めが必要となります。

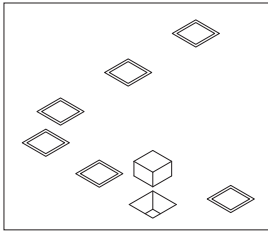
### 3-1-27 躯体付け(0) 外面グレーチング



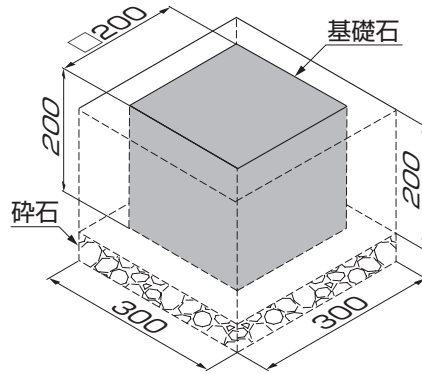
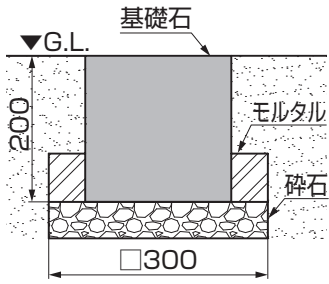
	0.5間	1.0間	1.5間	2.0間
L1	910	1820	2730	3640
L2	835	1745	2655	3565
L3	875	1785	2695	3605

※束柱のピッチは1800mm以下になるように間口により追加してください。  
L1を表以下にする場合はグレーチングの切詰めが必要となります。

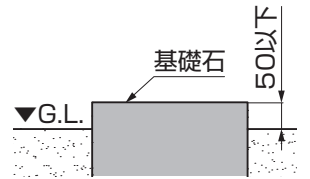
## 3-2 束柱基礎の施工



- ①指定位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固めてください。
- ②基礎石を設置し、レベルを出してください。
- ③基礎石のまわりをモルタルで固めてください。



### Pポイント

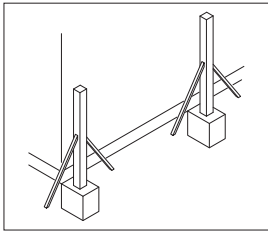


- 基礎石をG.L.面より出す場合は50mm以下にしてください。

### Pポイント

- 基礎石は必ず□200×H200のものを使用してください。
- 指示通りの施工を行なわないと基礎の浮き沈みや、床板の反りの原因になる場合があります。

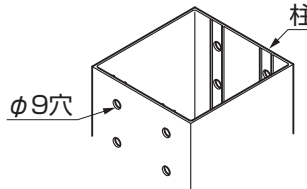
## 3-3 柱の建込み



- ①「基礎伏図」を参照して柱を建込んでください。
- ②柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

### Pポイント

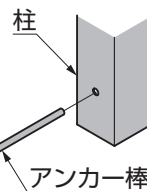
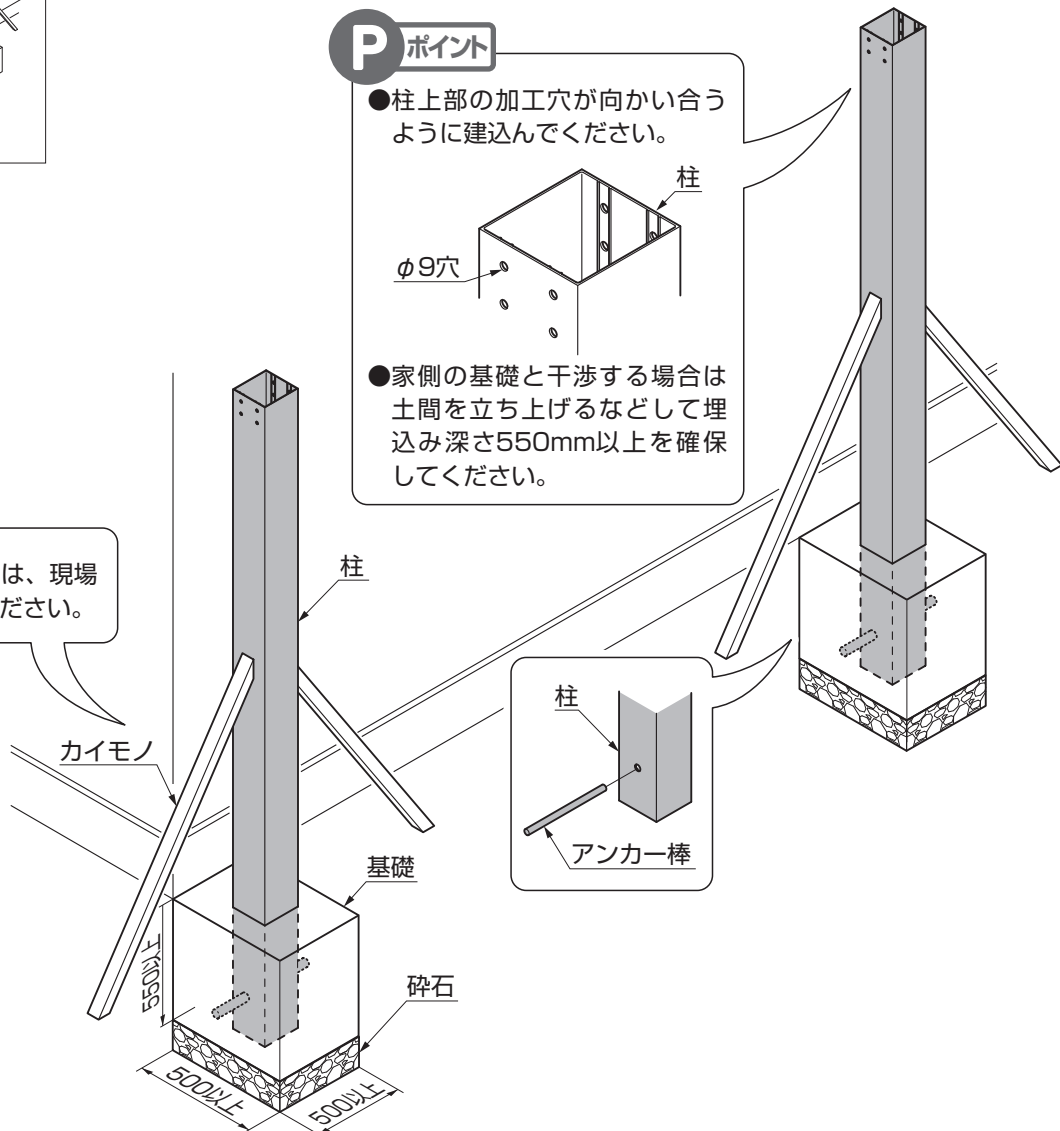
- 柱上部の加工穴が向かい合うように建込んでください。



- 家側の基礎と干渉する場合は土間を立ち上げるなどして埋込み深さ550mm以上を確保してください。

### Pポイント

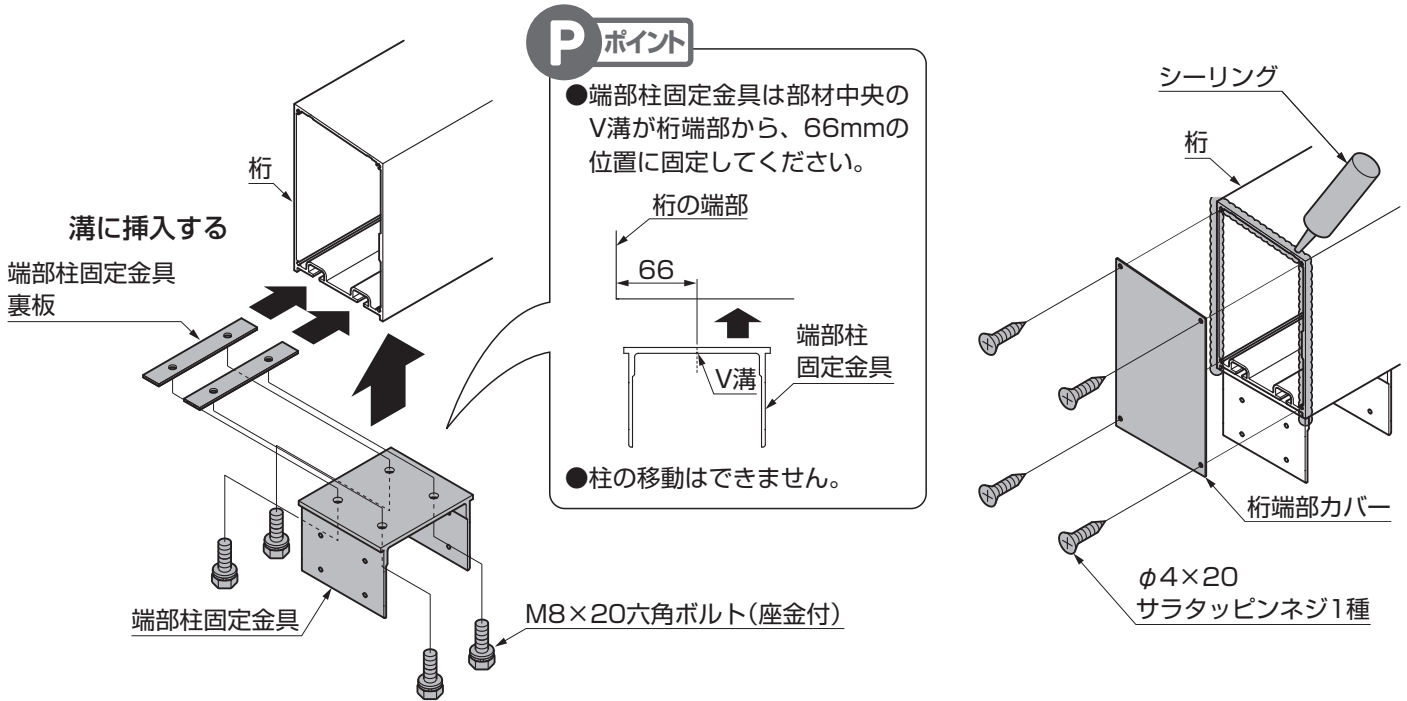
- カイモノ等は、現場調達してください。



# 3-4 桁の組立て

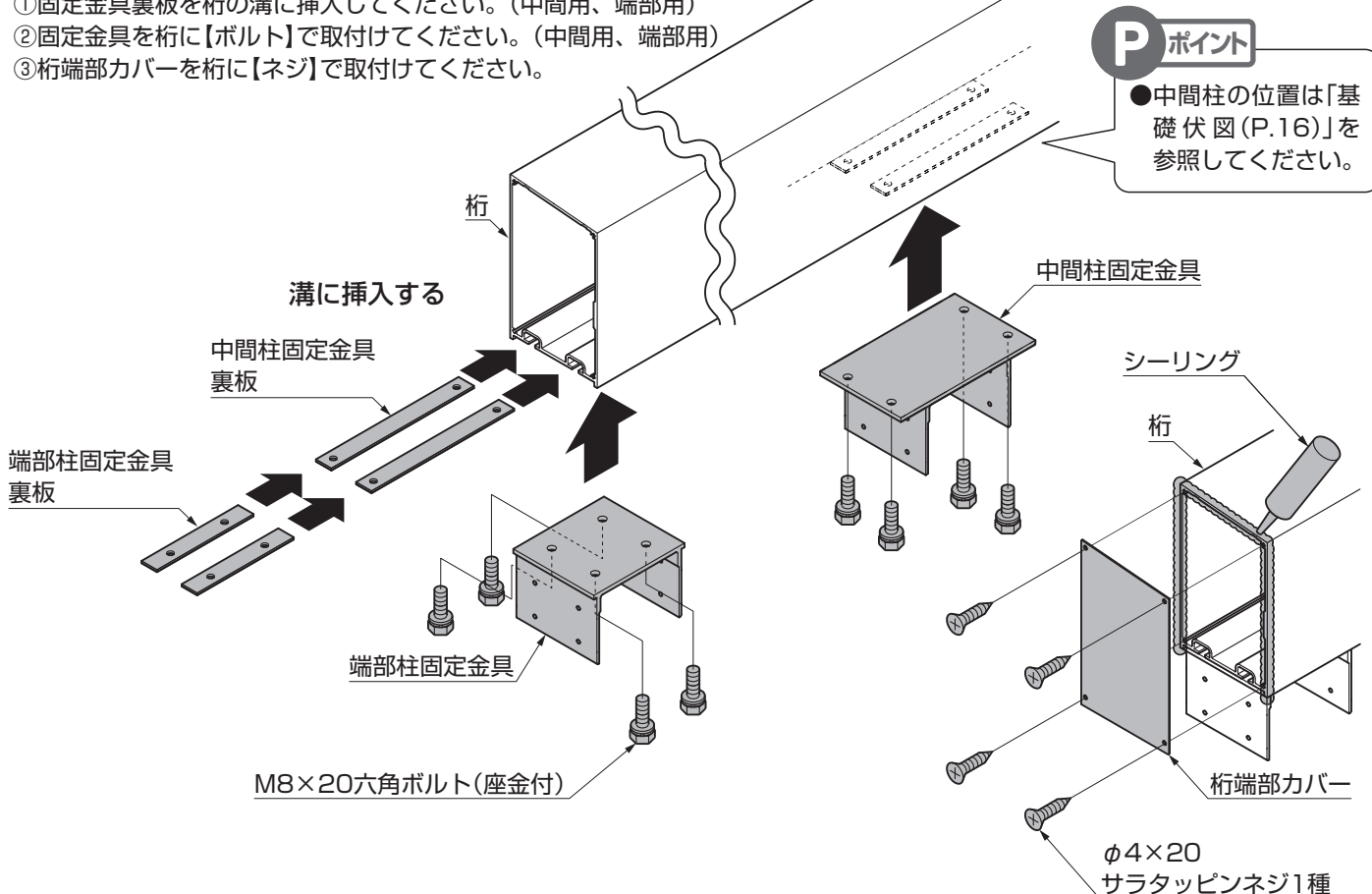
## 3-4-1 柱固定金具の取付け

- ①端部柱固定金具と端部柱固定金具裏板を【ボルト】で仮止めして、桁の溝に挿入してください。
- ②桁端部カバーを桁に【ネジ】で取付けてください。



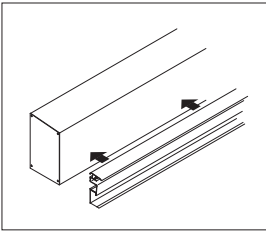
### 【中間柱を取付ける場合】

- ①固定金具裏板を桁の溝に挿入してください。(中間用、端部用)
- ②固定金具を桁に【ボルト】で取付けてください。(中間用、端部用)
- ③桁端部カバーを桁に【ネジ】で取付けてください。





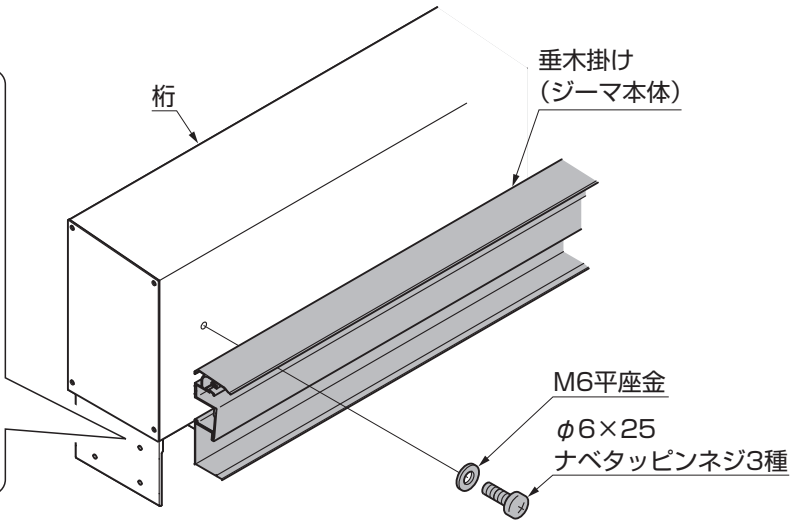
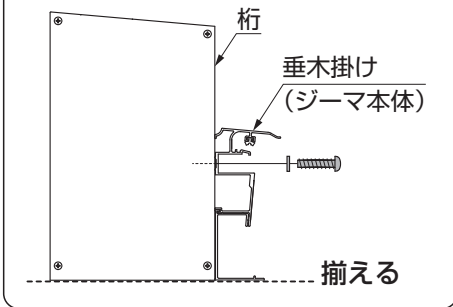
### 3-4-2 垂木掛け(ジーマ本体)の取付け ※600、1500タイプ



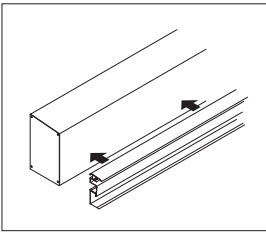
①垂木掛け(ジーマ本体)を桁に【ネジ】で取付けてください。

#### Pポイント

●垂木掛け(ジーマ本体)と桁の下面が揃っていることを確認してください。



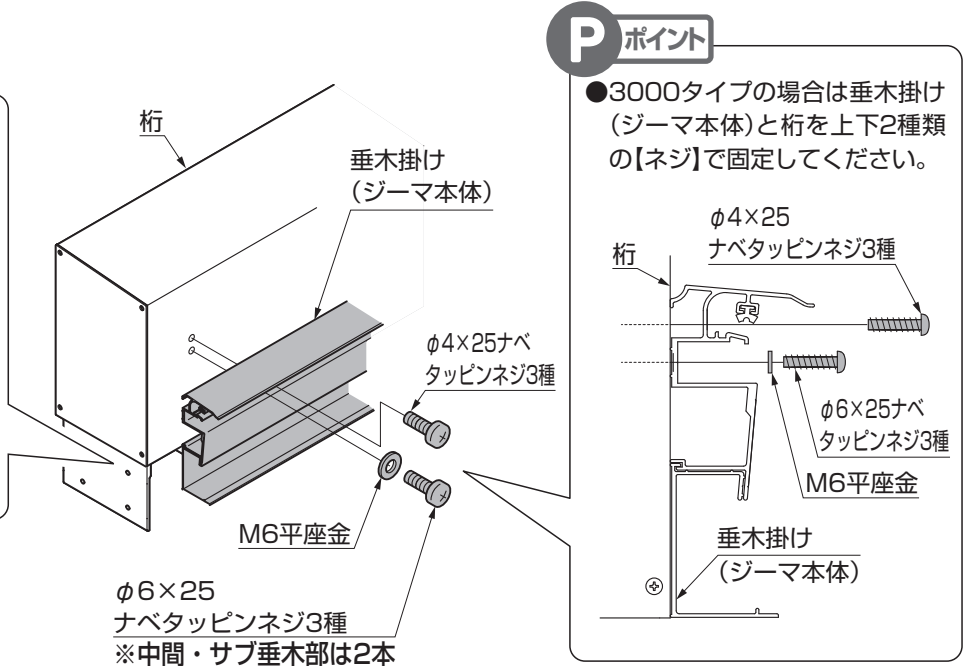
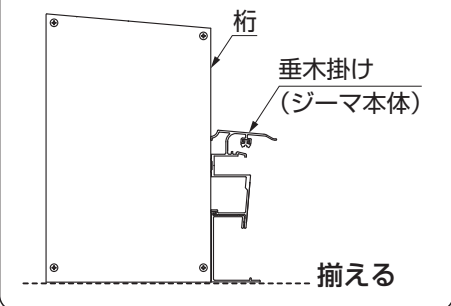
### 3-4-3 垂木掛け(ジーマ本体)の取付け ※3000タイプ



①垂木掛け(ジーマ本体)を桁に【ネジ】で取付けてください。

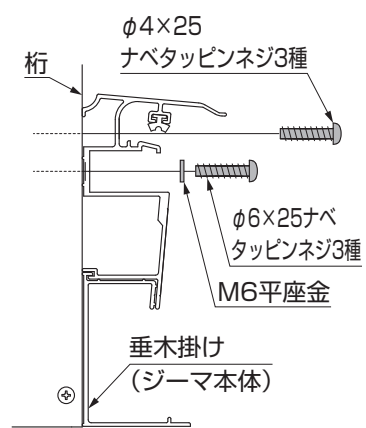
#### Pポイント

●垂木掛け(ジーマ本体)と桁の下面が揃っていることを確認してください。

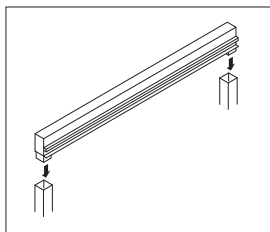


#### Pポイント

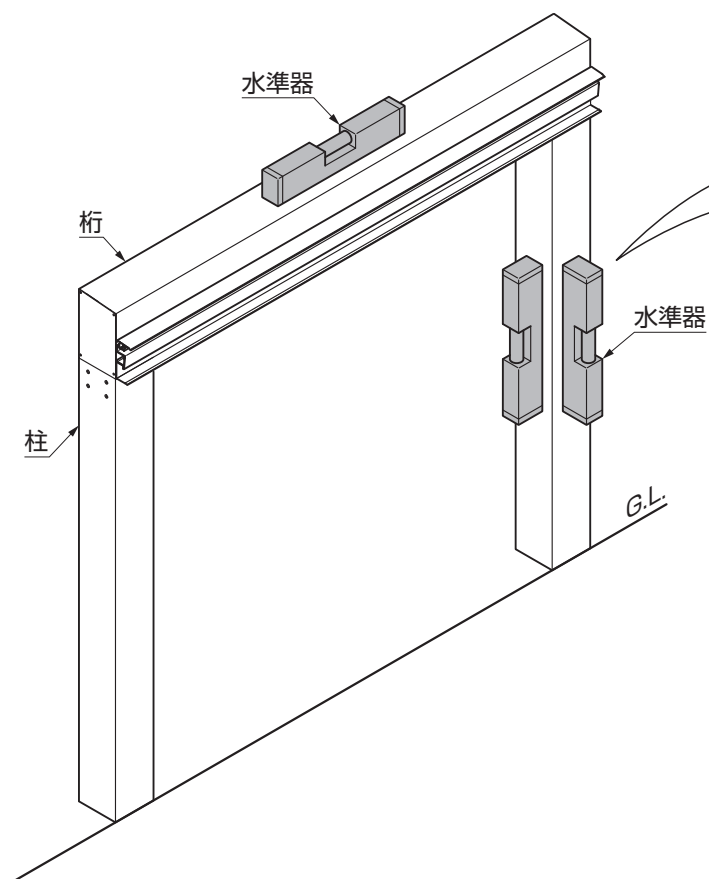
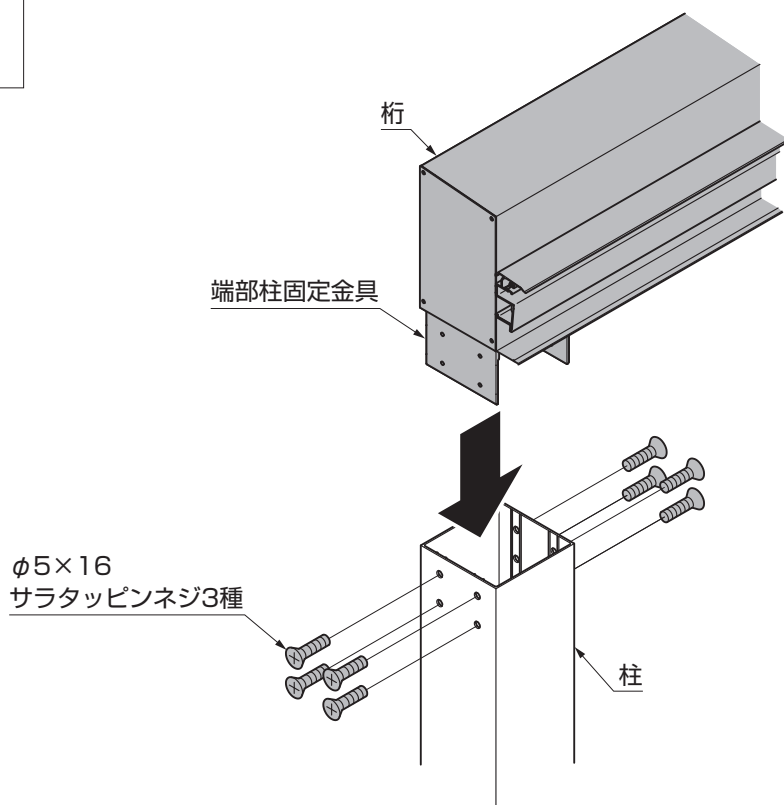
●3000タイプの場合は垂木掛け(ジーマ本体)と桁を上下2種類の【ネジ】で固定してください。



### 3-4-4 桁の取付け



①桁を柱に【ネジ】で取付けてください。



#### P ポイント

●水準器などを使用して左右の柱の水平、垂直を確認してください。

## 4 ベース材の施工

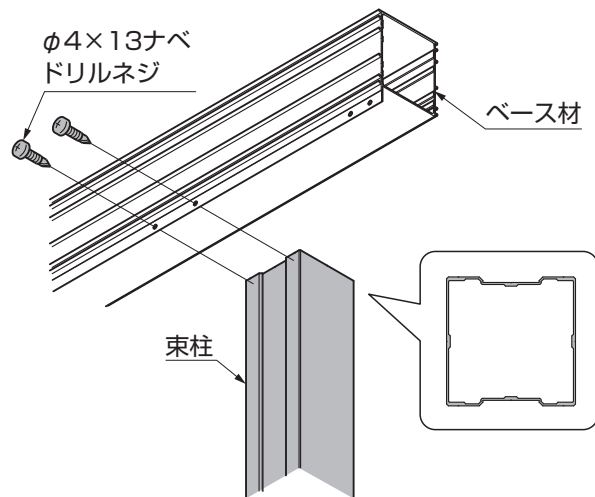
### 4-1 束柱・ベース材の施工

#### 4-1-1 間口躯体側ベース材の組立て ※0,100タイプ

①束柱をベース材に【ネジ】で取付けてください。

**P**ポイント

●束柱の本数は、サイズによって異なります。



#### 4-1-2 間口躯体側ベース材の組立て ※400タイプ、外面グレーチング

①束柱をベース材に【ネジ】で取付けてください。

**【400タイプ】**

②ベース材 柱取付金具をベース材に【ネジ】で取付けてください。

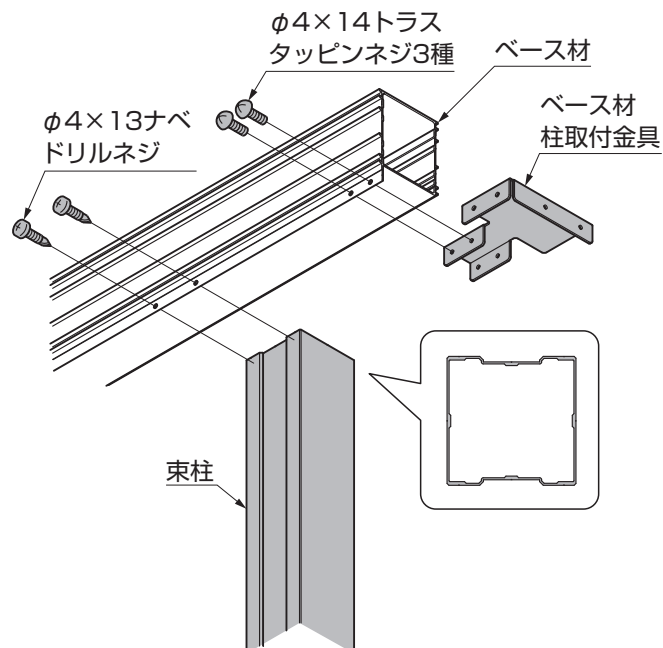
**【外面グレーチング】**

②ベース材 取付金具をベース材に【ネジ】で取付けてください。

**P**ポイント

●束柱の本数は、サイズによって異なります。

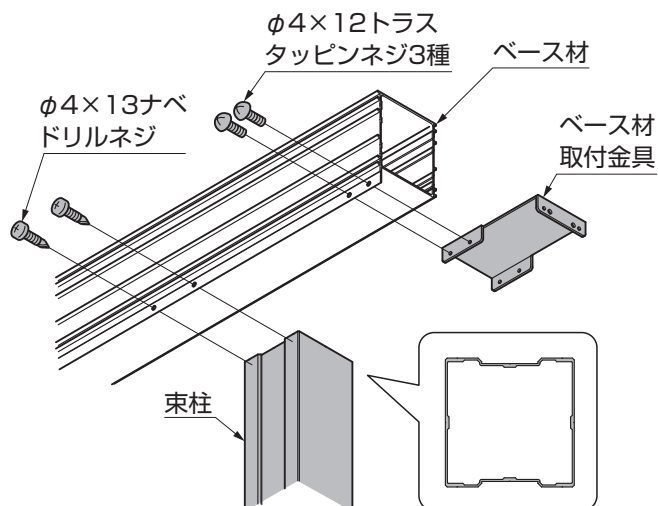
**【400タイプ】**



**【外面グレーチング】**

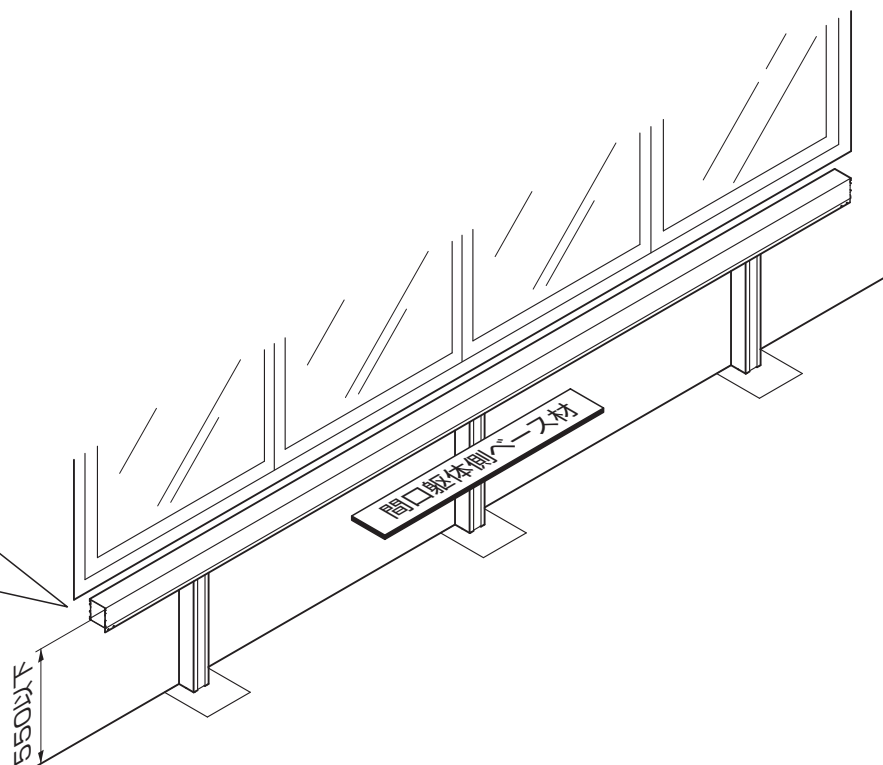
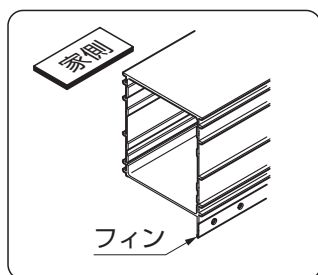
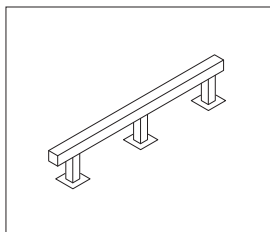
**P**ポイント

●図は外観右の場合です。外観左は対称になります。



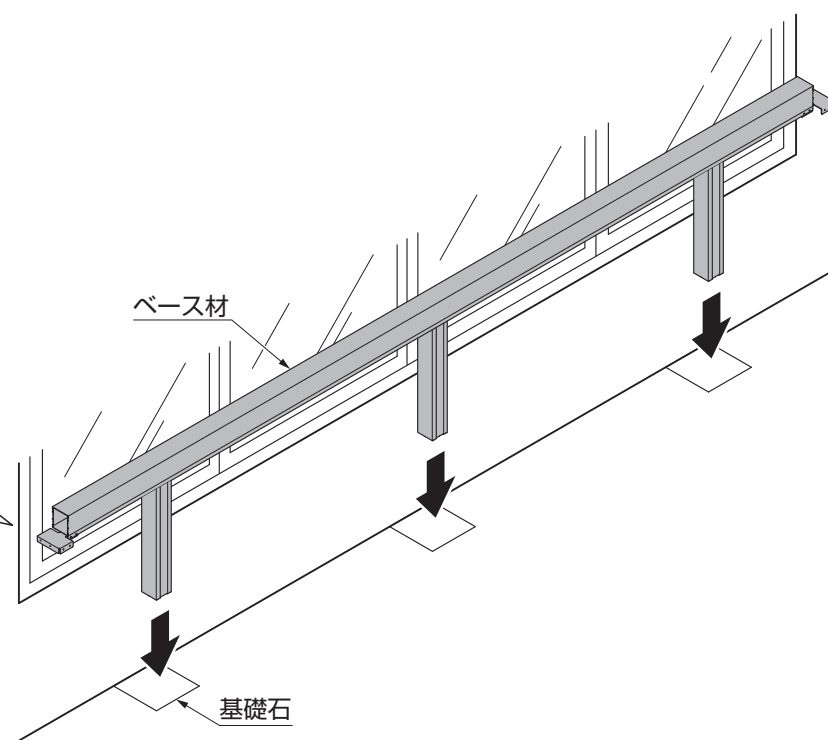
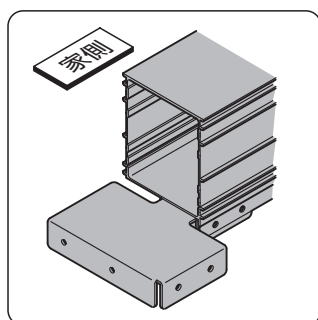
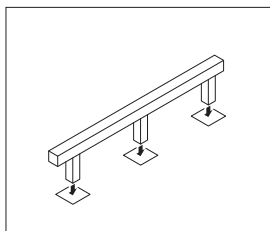
### 4-1-3 ベース材設置の際の向きの確認

①ベース材の向きを確認してください。

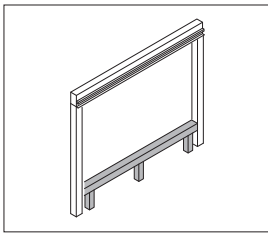


### 4-1-4 躯体間口側ベース材の設置 ※図は400タイプの場合

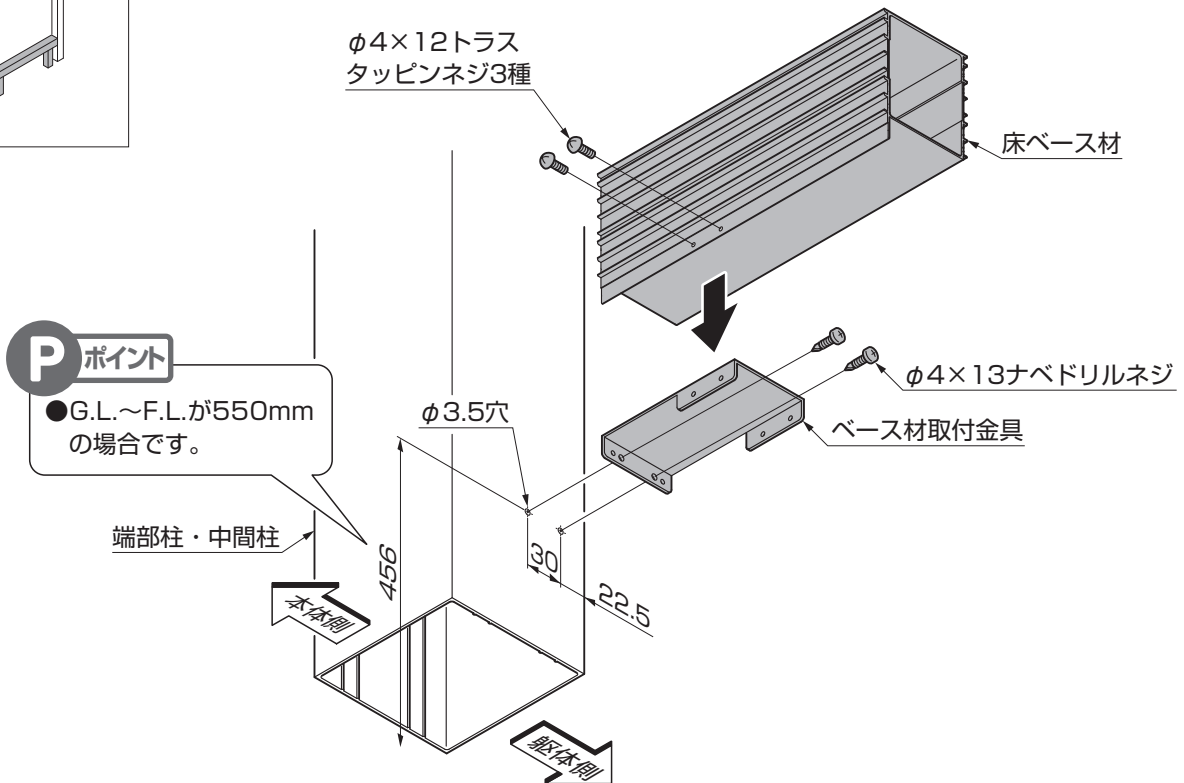
①ベース材を基礎石に設置してください。



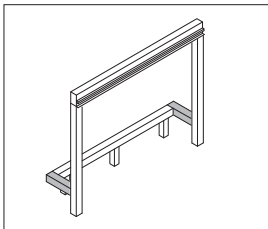
## 4-1-5 ベース材の取付け ※0タイプの場合



- ①ベース材取付金具を柱(端部・中間)に【ネジ】で取付けてください。
- ②ベース材を柱(端部・中間)に【ネジ】で取付けてください。

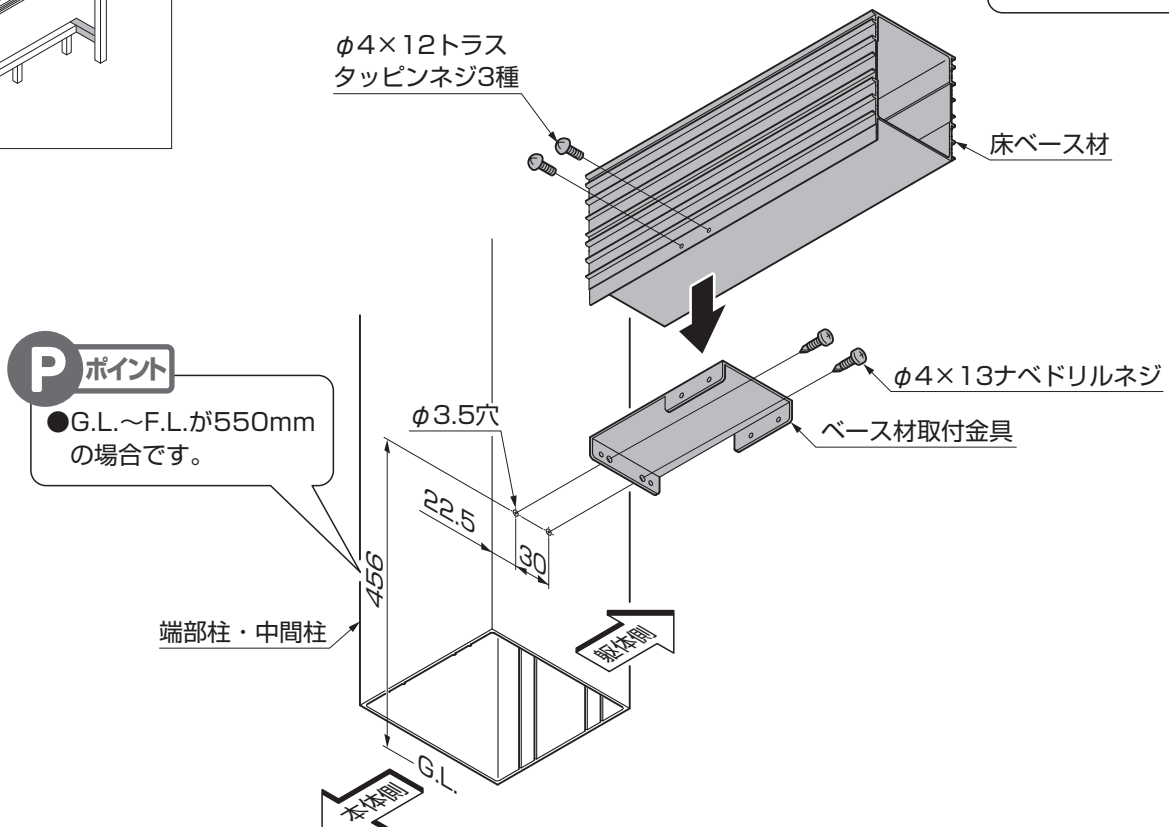


## 4-1-6 ベース材の取付け ※400タイプの場合

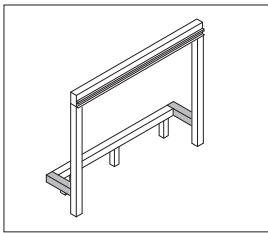


- ①ベース材取付金具を柱(端部・中間)に【ネジ】で取付けてください。
- ②床ベース材を柱(端部・中間)に【ネジ】で取付けてください。

**Pポイント**  
●図は外観右の場合です。  
外観左は対称になります。



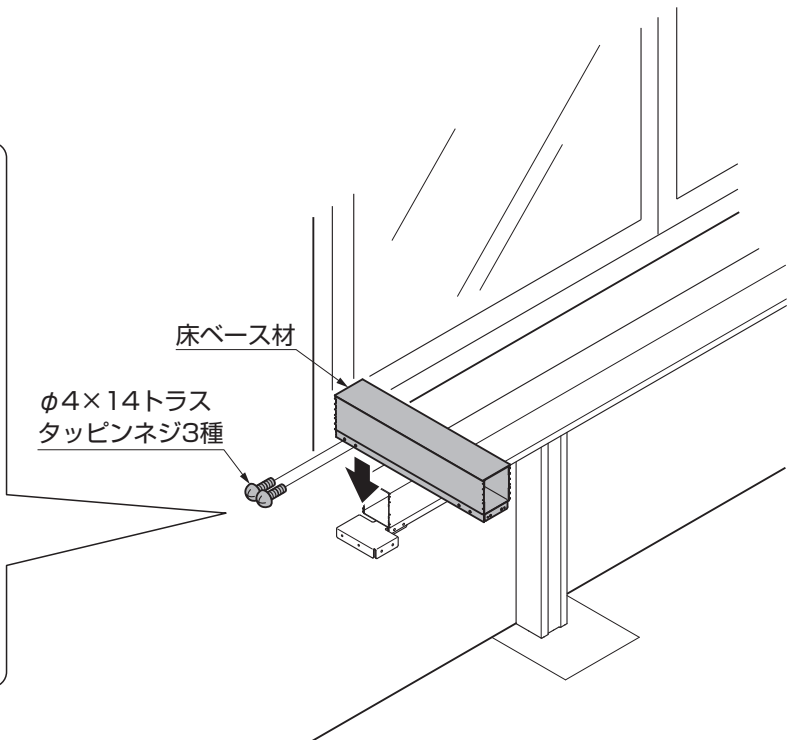
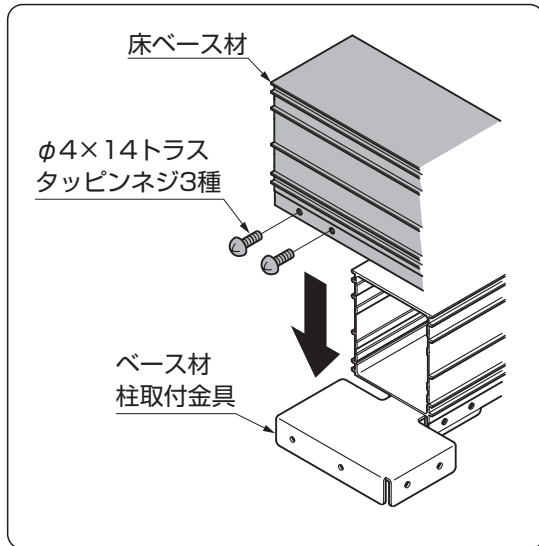
#### 4-1-7 床ベース材の取付け ※400タイプの場合



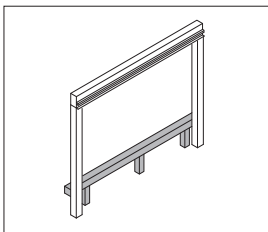
①床ベース材をベース材に【ネジ】で取付けてください。

**P**ポイント

●図は外観右の場合です。  
外観左は対称になります。



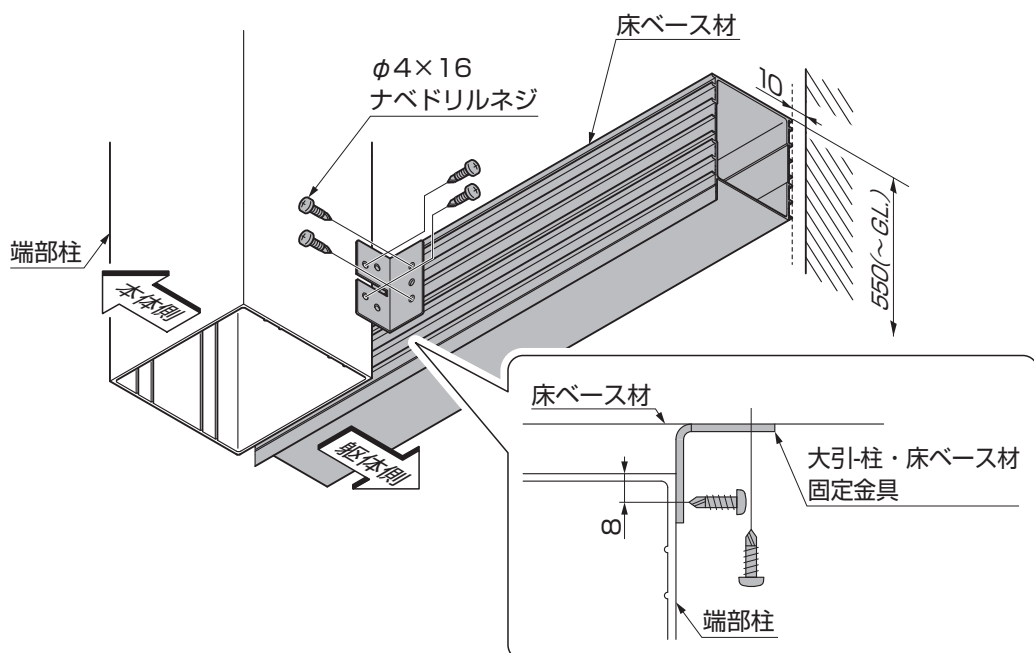
#### 4-1-8 ベース材の取付け ※100タイプの場合



①ベース材を柱(端部)に大引柱・床ベース材固定金具と【ネジ】で取付けてください。

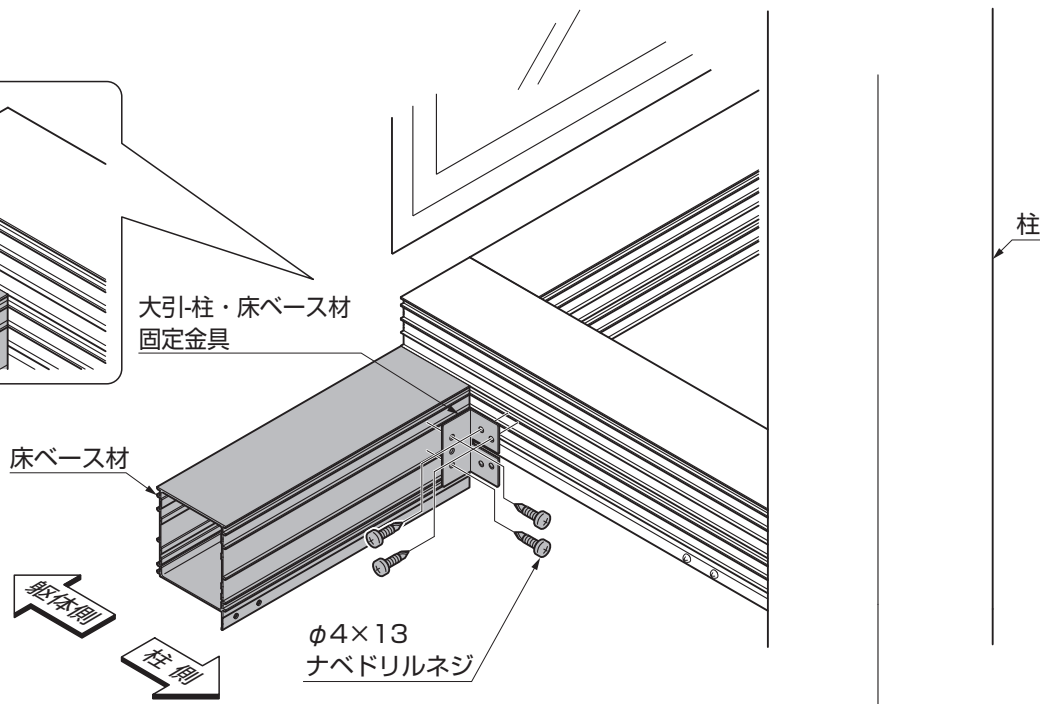
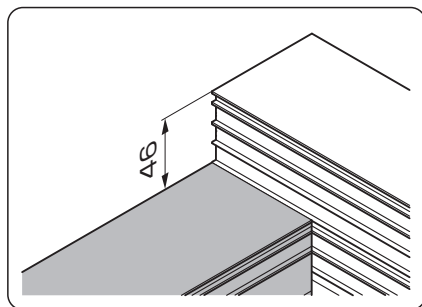
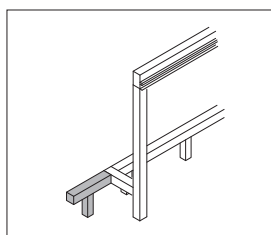
**P**ポイント

●大引柱・床ベース材固定金具は  
床ベース材の上側に取付けます。



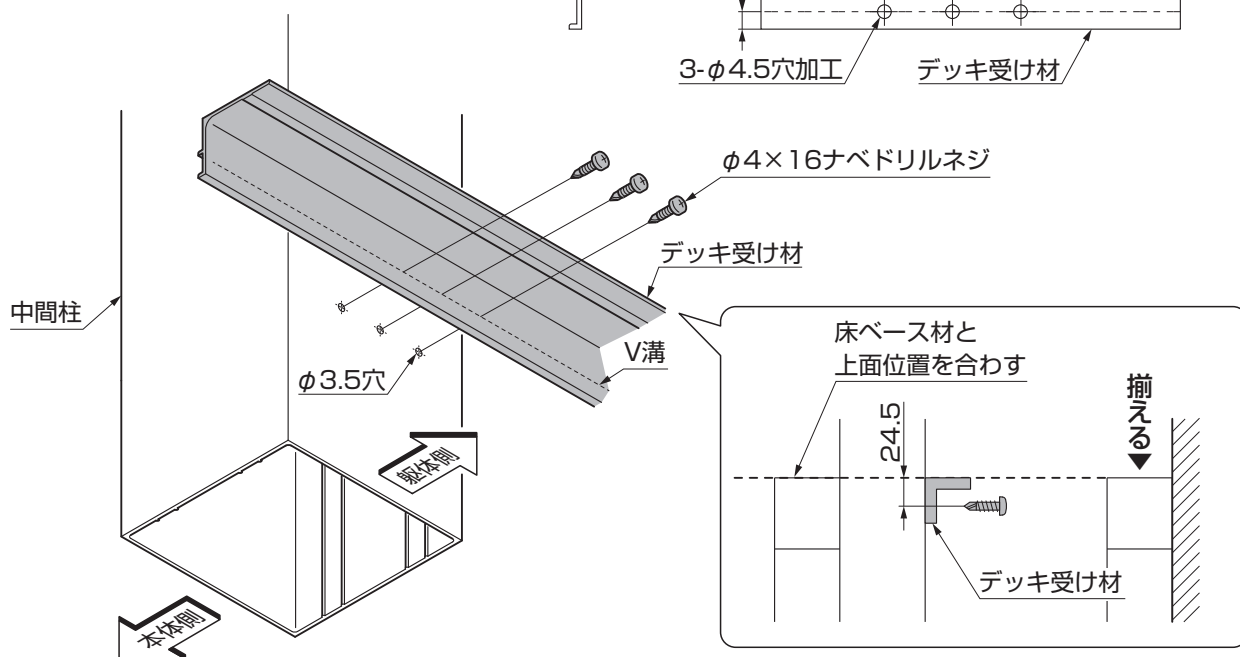
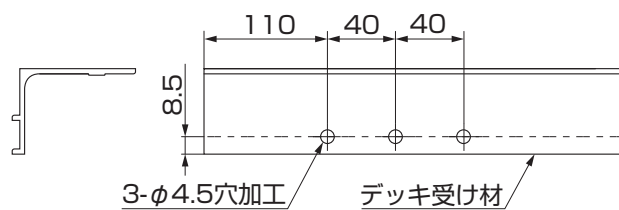
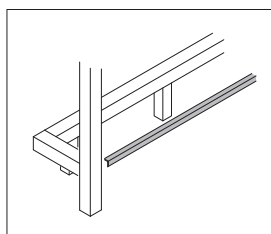
## 4-1-9 外面グレーチングの床ベース材の取付け ※400タイプの場合のみ

①床ベース材(外面グレーチング)を床ベース材(400タイプ)に【ネジ】で取付けてください。

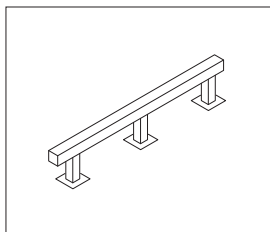


## 4-1-10 デッキ受け材の取付け ※400タイプ3.0間、3000タイプ2.0間の場合のみ

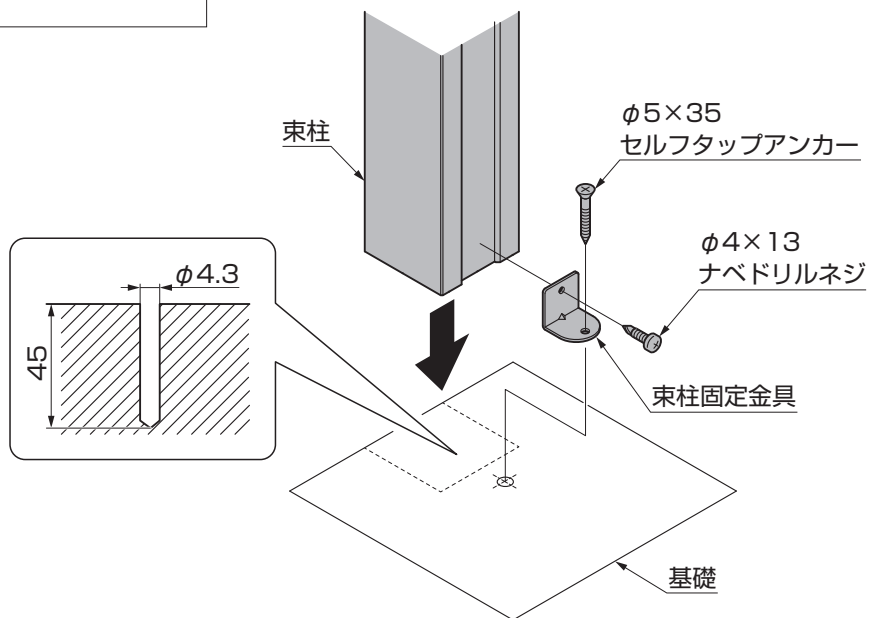
①デッキ受け材(柱用)を柱(中間)に【ネジ】で取付けてください。



## 4-1-11 束柱の固定



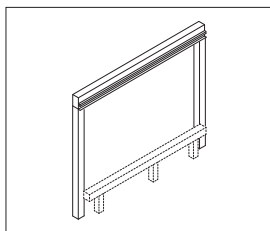
- ①基礎にφ4.3で深45mmの下穴をあけてください
- ②束柱を基礎に【ネジ】で固定してください。



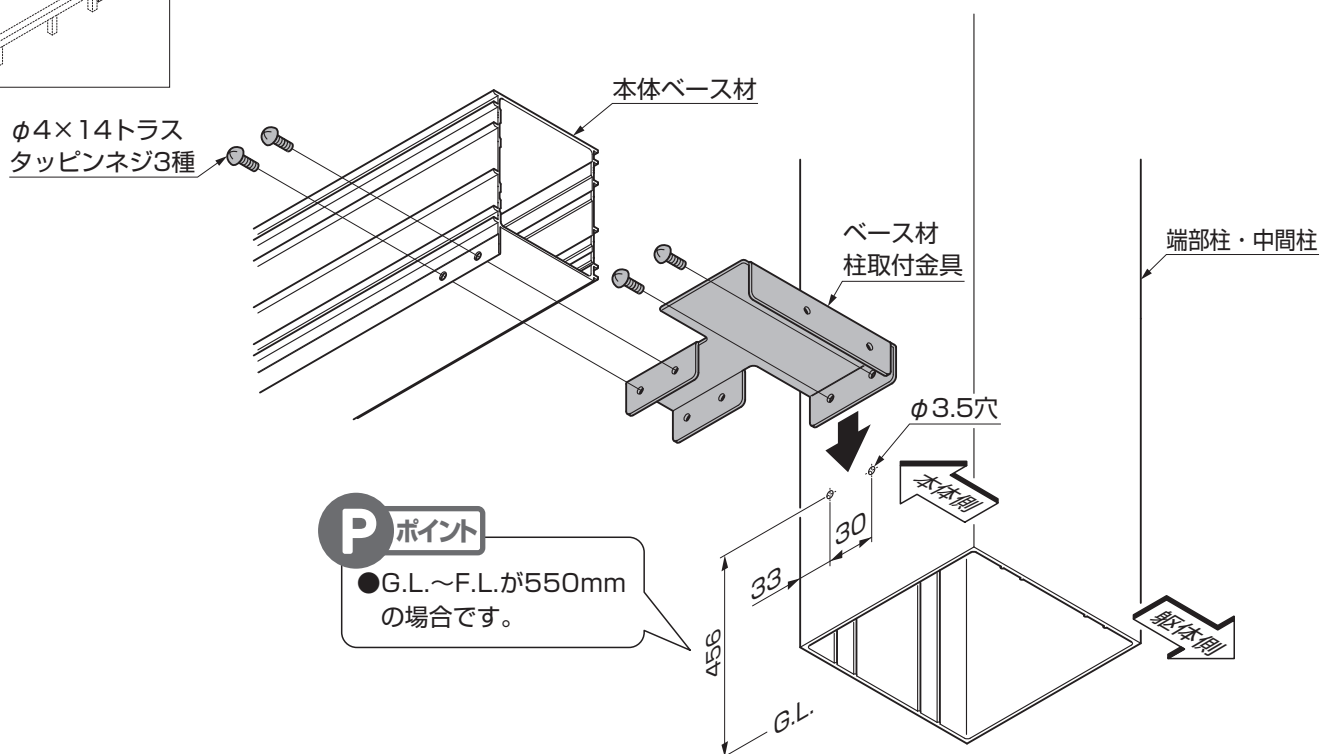
**P**ポイント

- 下穴φ4.3は正確にあけてください。
- 束柱と基礎の固定は基礎部材の水平・垂直等を確認後に行なってください。

## 4-1-12 本体ベース材の取付け



- ①本体ベース材を柱(端部)に【ネジ】で固定してください。

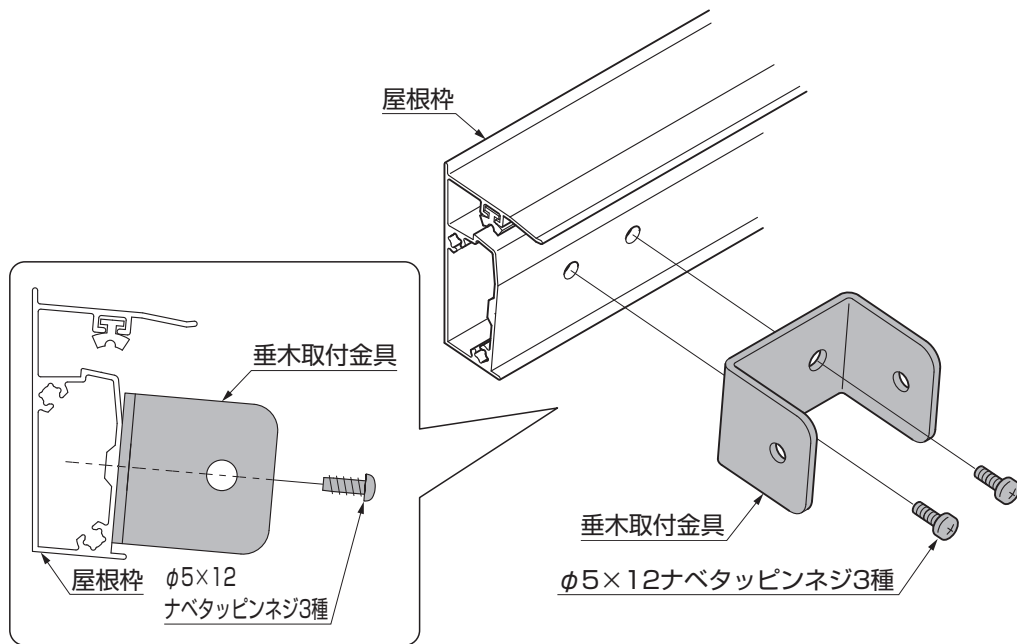




# 5 400タイプの取付け

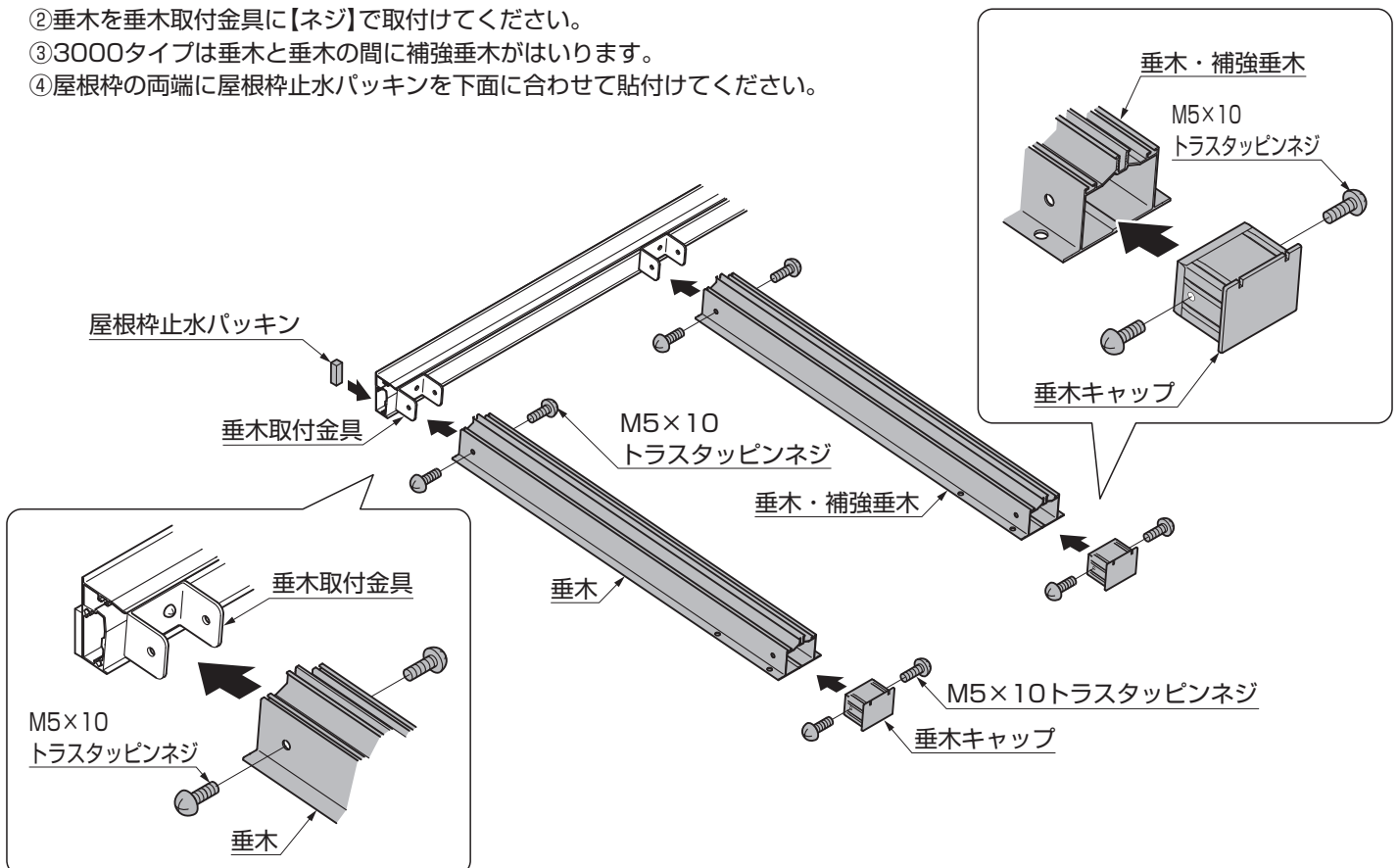
## 5-1 屋根枠の組立て

①垂木取付金具を屋根枠に【ネジ】で取付けてください。

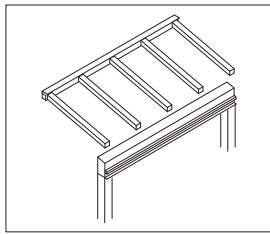


## 5-2 垂木の取付け

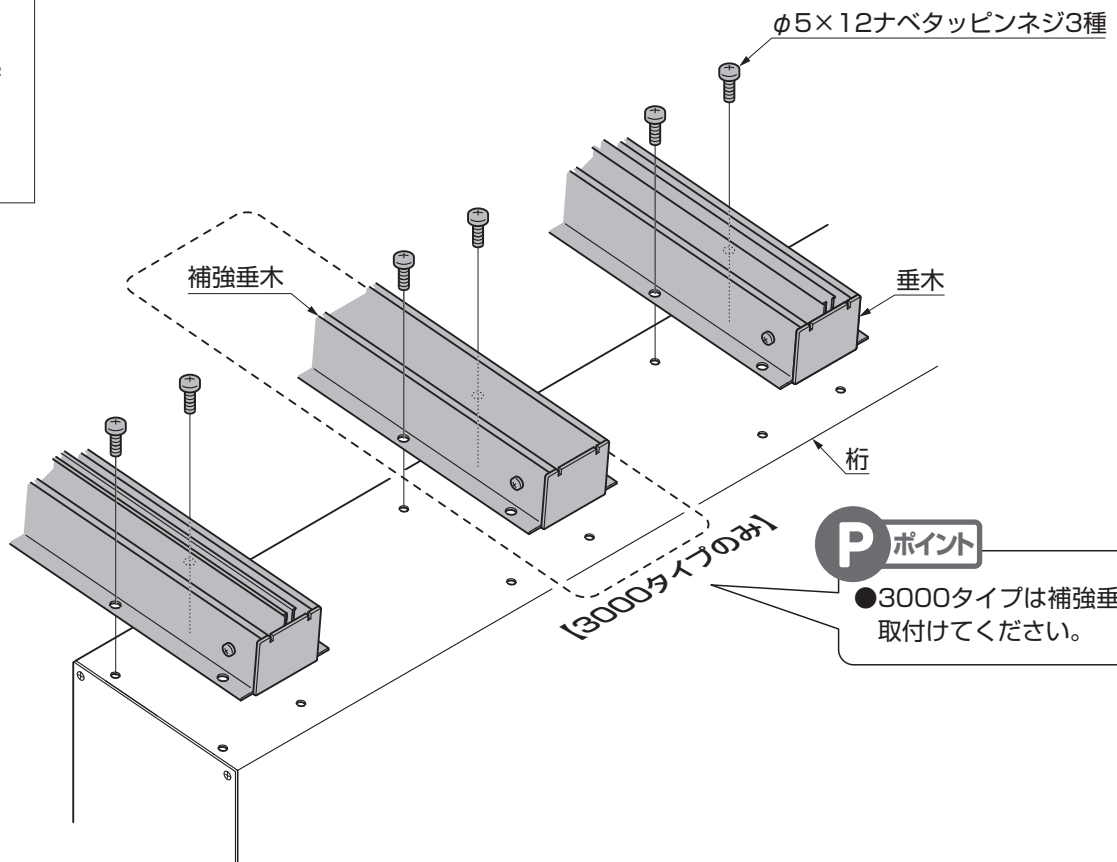
- ①垂木キャップを垂木に【ネジ】で取付けてください。
- ②垂木を垂木取付金具に【ネジ】で取付けてください。
- ③3000タイプは垂木と垂木の間に補強垂木がはいります。
- ④屋根枠の両端に屋根枠止水パッキンを下面に合わせて貼付けてください。



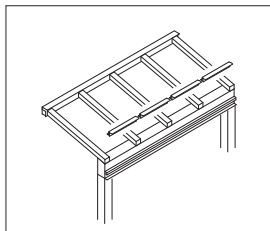
## 5-3 垂木・桁の取付け



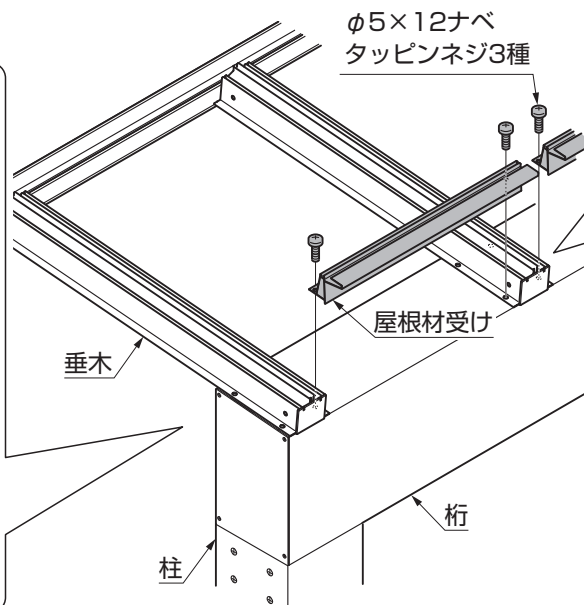
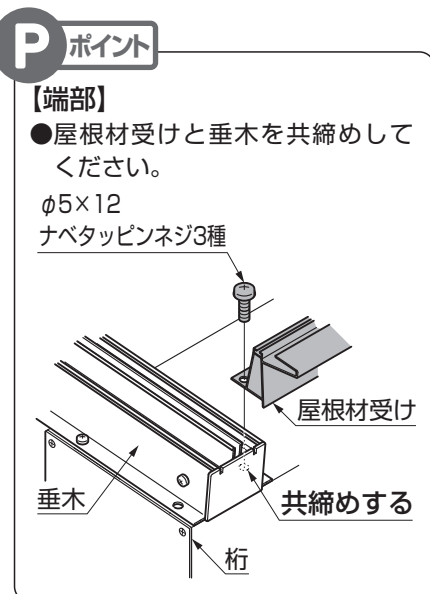
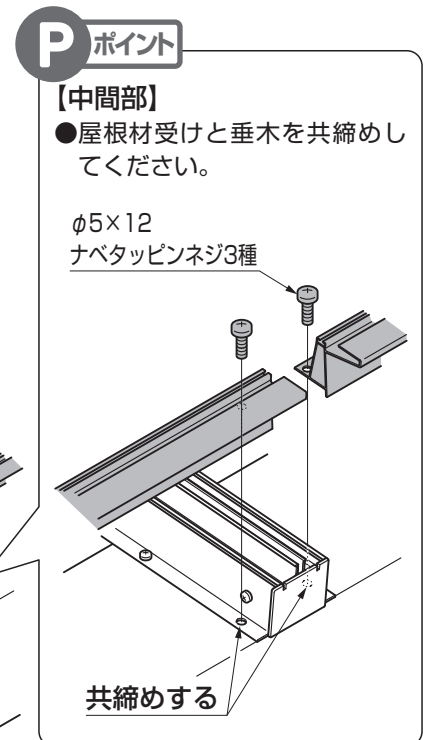
①2～3本の垂木の躯体側の【ネジ】を仮固定してください。



## 5-4 屋根材受けの取付け

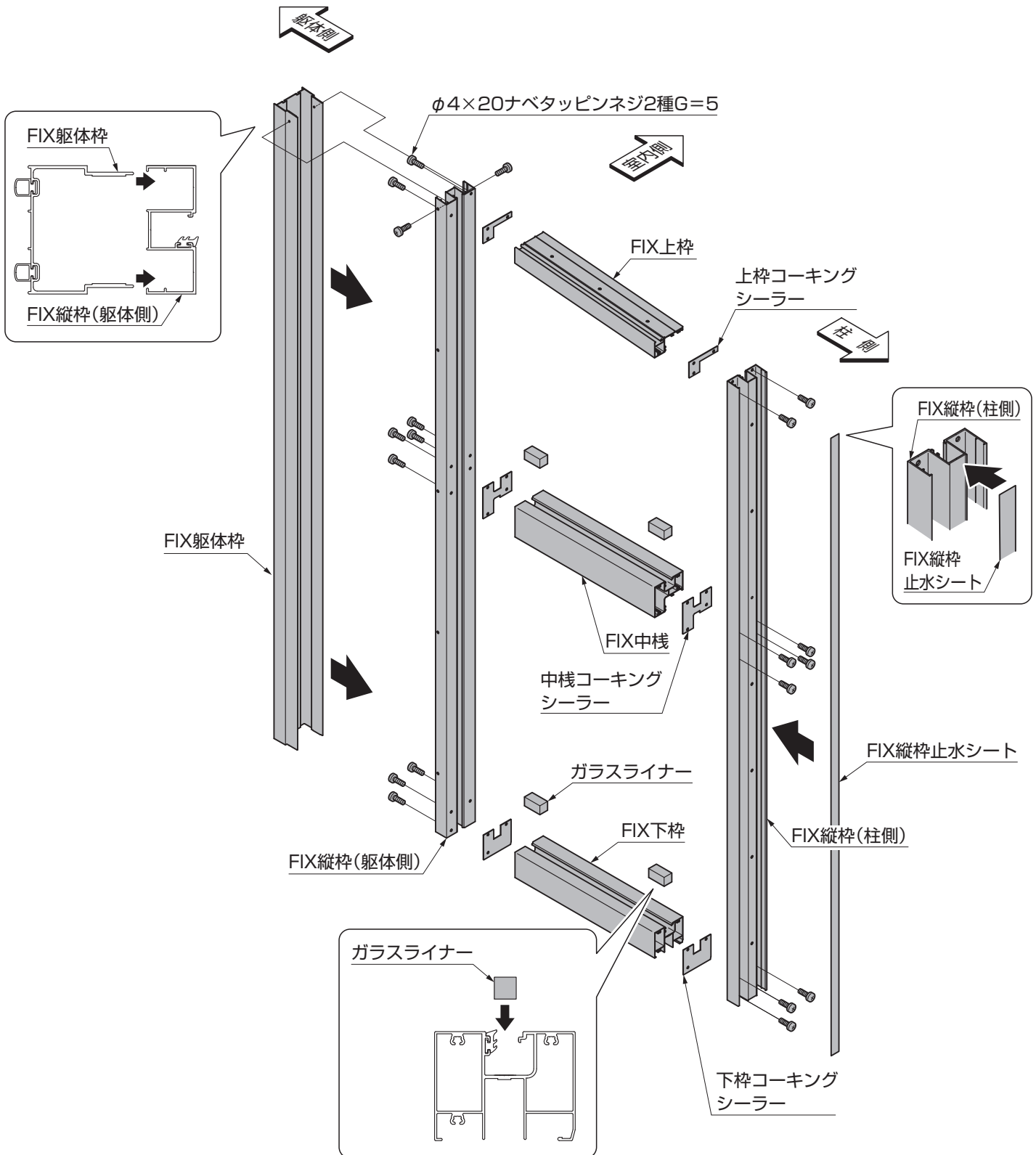


①屋根材受けを桁に【ネジ】で取付けてください。  
②垂木の躯体側の【ネジ】を全て取付け、増締めしてください。

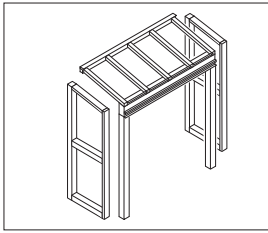


## 5-5 FIX枠の組立て ※テラスタイプでは行ないません。

- ①FIX上枠、FIX中棧、FIX下枠をFIX縦枠(柱側)に【ネジ】で取付けてください。
- ②FIX上枠、FIX中棧、FIX下枠をFIX縦枠(躯体側)に【ネジ】で取付けてください。
- ③ガラスライナーをFIX中棧とFIX下枠に貼付けてください。
- ④FIX躯体枠を最上部のみFIX縦枠(躯体側)に取付けてください。
- ⑤FIX縦枠(柱側)にFIX縦枠止水シートを貼付けてください。



# 5-6 FIX枠の取付け



- ① 躯体側を先にしてビード材をつぶしながら入れてください。
- ② FIX躯体枠をFIX縦枠(躯体側)に【ネジ】で取付けてください。
- ③ FIX枠を本体に【ネジ】で取付けてください。
- ④ 壁面の状態に合わせてFIX躯体枠のビード材が少しつぶれるくらいに調整し【ネジ】で取付けてください。

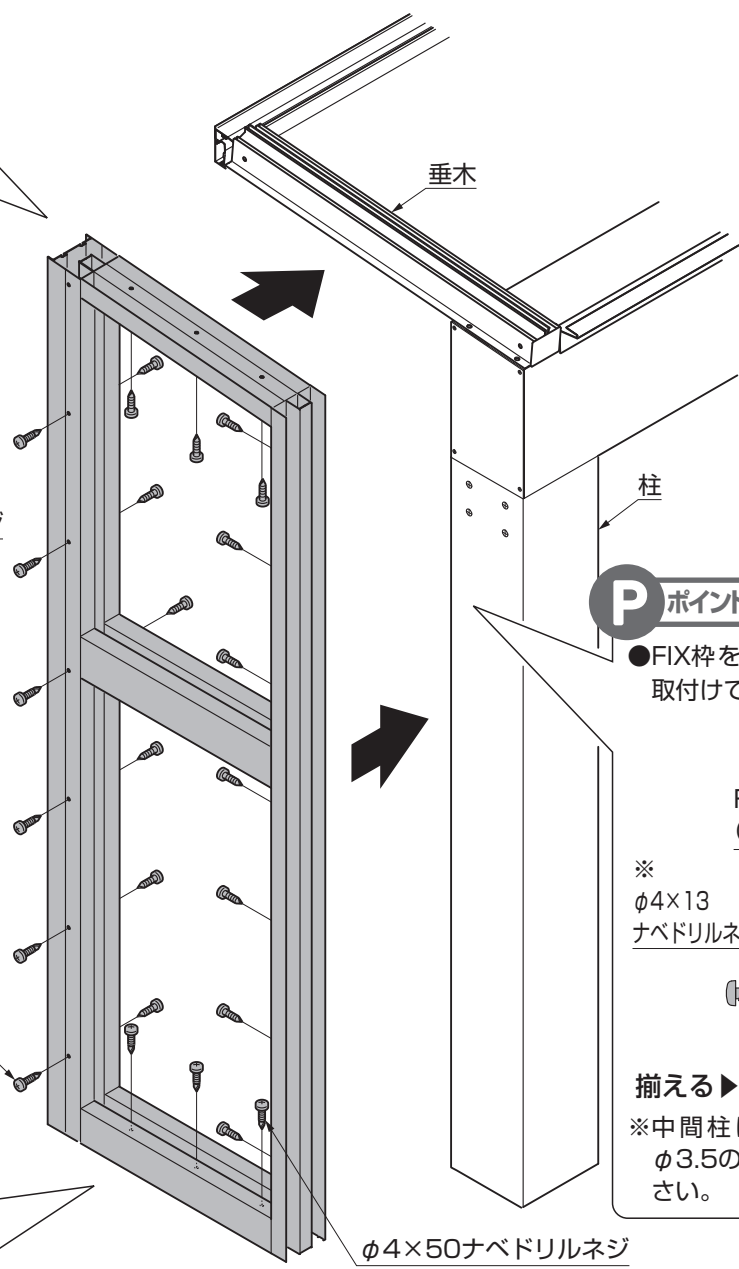
**Pポイント**

- 軒プラスの場合はプラス側の柱(中間柱)に取付けます。

**Pポイント**

- FIX枠を垂木の外面に揃えて取付けてください。

揃える▼



**Pポイント**

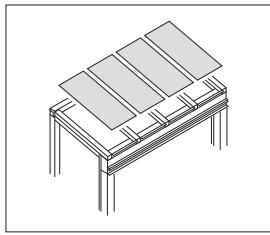
- FIX枠を柱の外面に揃えて取付けてください。

※ φ4×13 ナベドリルネジ

揃える▶

※ 中間柱に取付けの場合はφ3.5の下穴をあけてください。

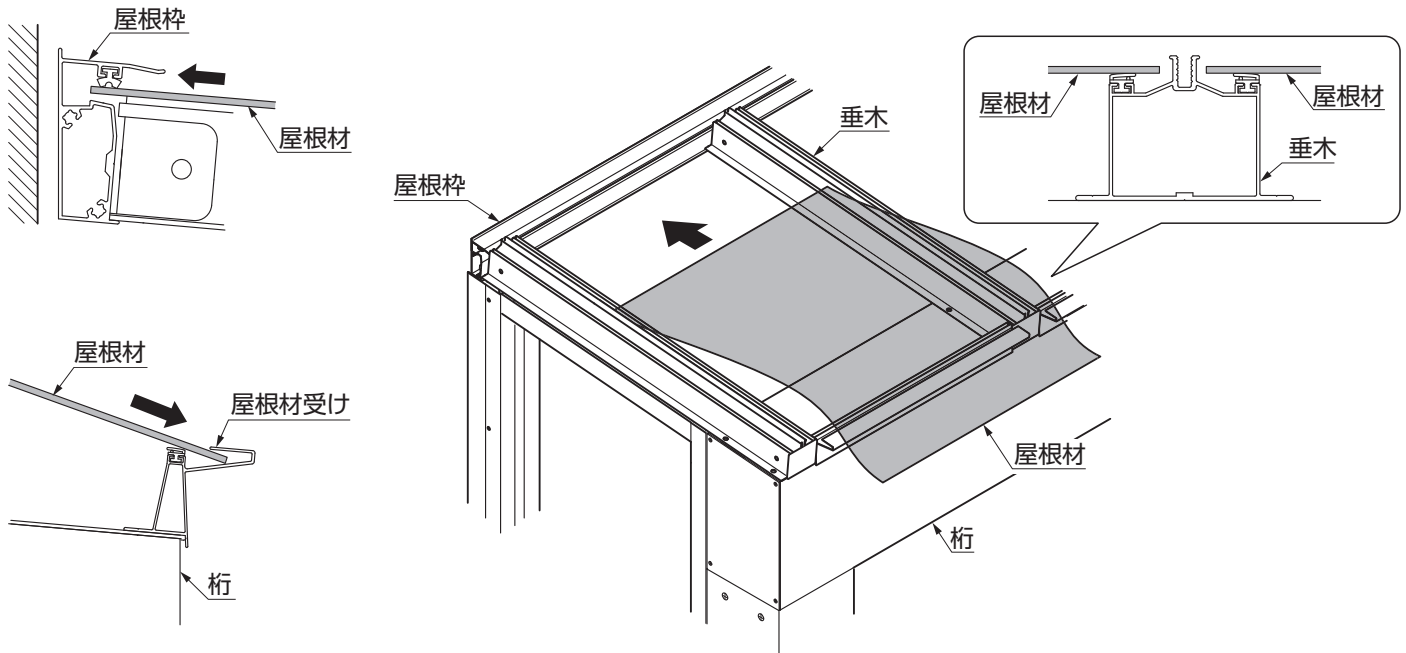
## 5-7 屋根材の取付け



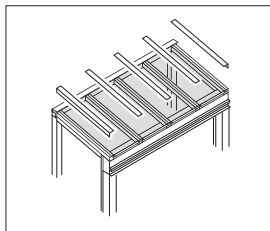
- ①屋根材の表裏を確認し保護シートをはがしてください。
- ②屋根材を垂木と垂木の間中間に位置をあわせてください。
- ③屋根材を屋根枠に差込んでください。
- ④屋根材を屋根材受けに差込んでください。

**P**ポイント

- 屋根材は、のみ込みが左右均等になるように取付けてください。



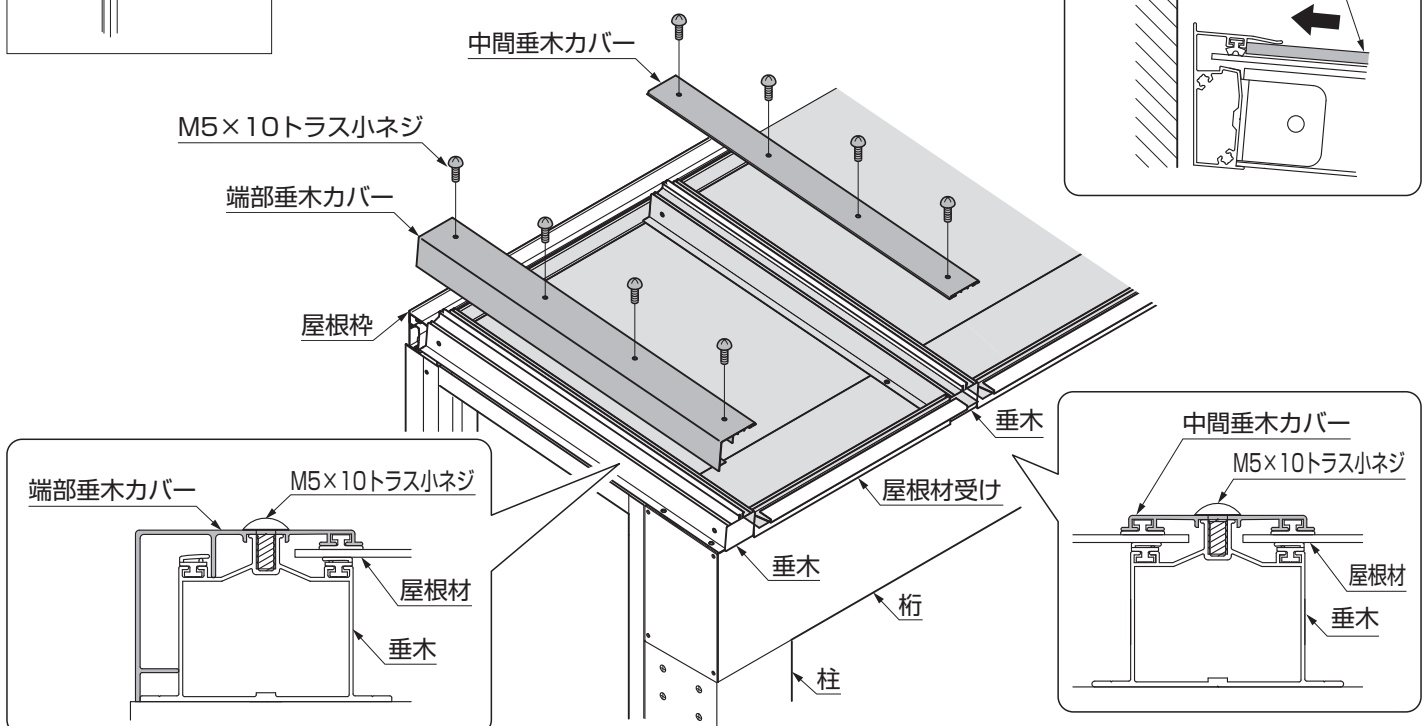
## 5-8 垂木カバーの取付け



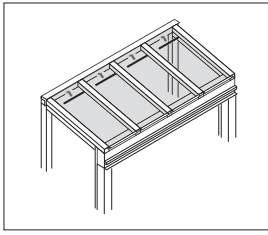
- ①端部垂木カバーを端部垂木にはめ込んでください。
- ②中間垂木カバーを中間垂木にはめ込んでください。

**P**ポイント

- 垂木カバーは屋根枠に突き当てて、取付けてください。



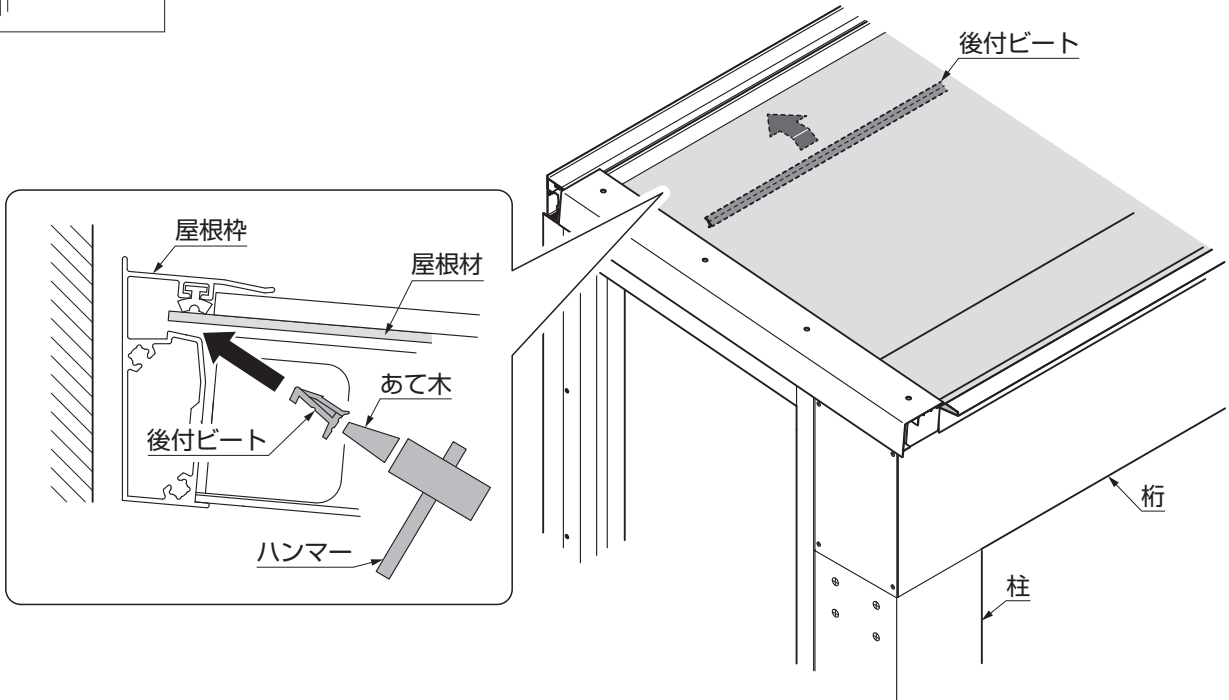
## 5-9 後付けビートの取付け



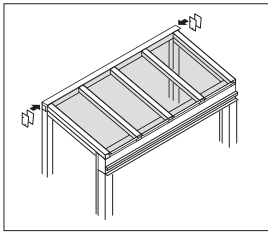
①後付けビートをあて木をあてて、屋根枠に叩き込んでください。

### P ポイント

- 後付けビートは、あて木をして奥まで叩き込んでください。奥まで入っていないと、屋根材が外れてしまう場合があります。



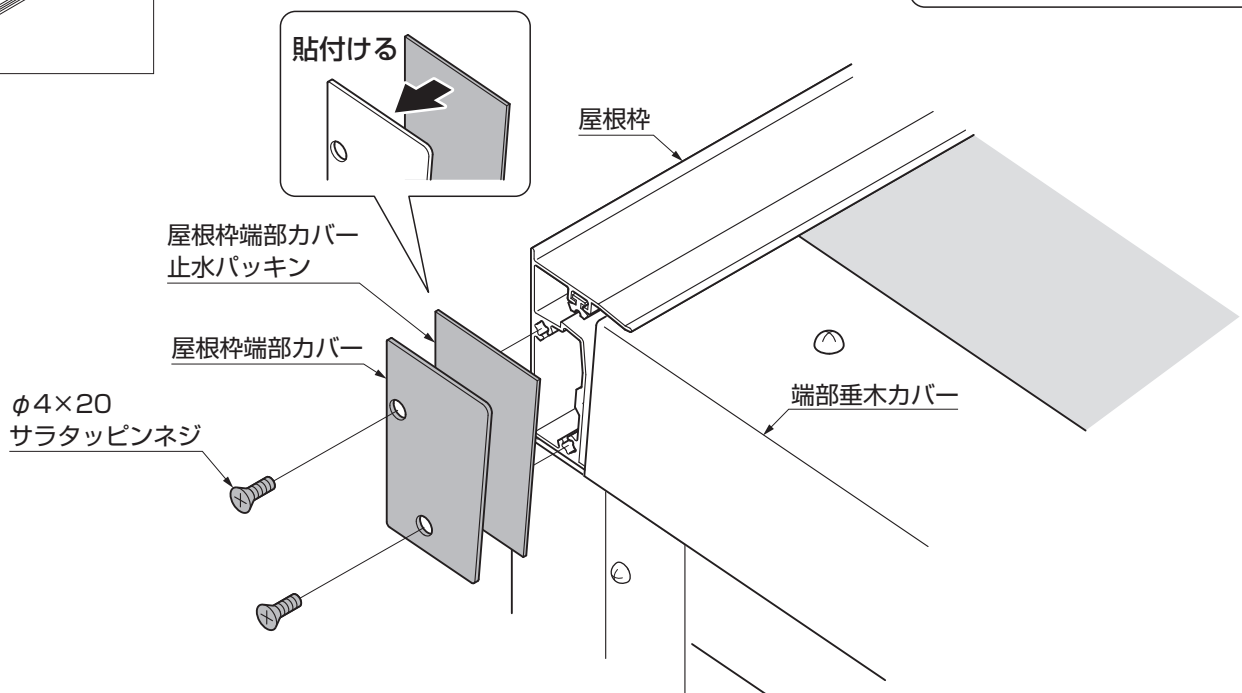
## 5-10 屋根枠端部カバーの取付け



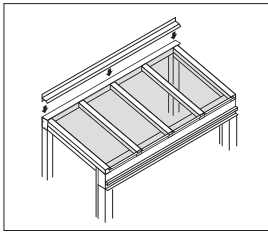
- ①屋根枠端部カバー止水パッキンを屋根枠端部カバーに貼付けてください。
- ②屋根枠端部カバーを屋根枠に【ネジ】で取付けてください。

### P ポイント

- パッキンは左右があります。カバーの番号表示のある側とない側に貼付けてください。



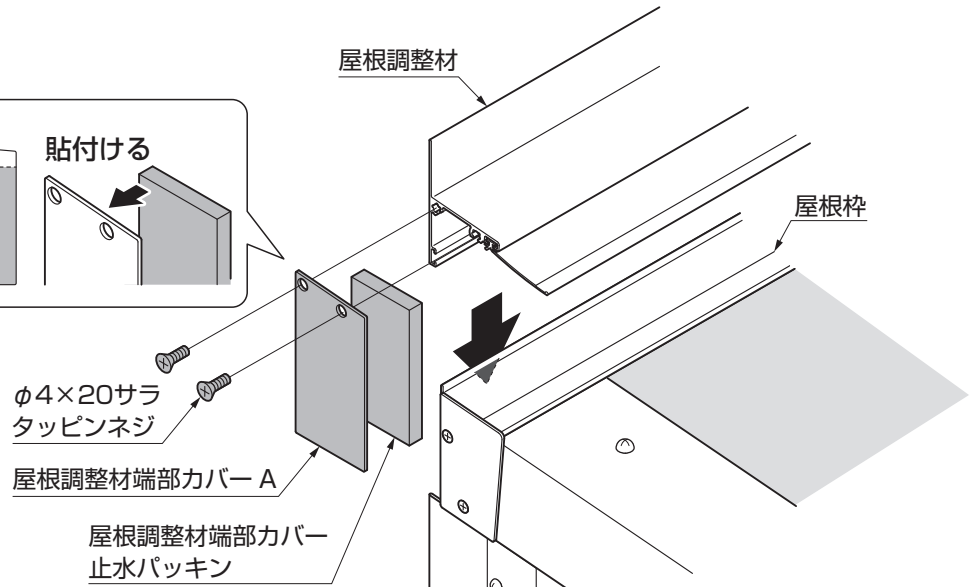
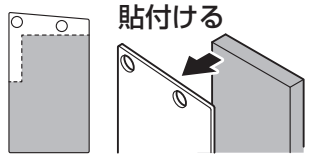
## 5-11 屋根調整材・端部カバーの取付け



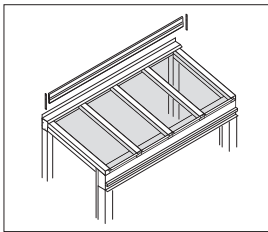
- ①屋根調整材端部カバー止水パッキンを屋根調整材端部カバー A に貼付けてください。
- ②屋根調整材に屋根調整材端部カバーを【ネジ】で仮止めしてください。
- ③屋根調整材を上から屋根枠に向けて、はめ込んでください。
- ④仮止めしてる屋根調整材端部カバーを【ネジ】で本固定してください。

### Pポイント

- 屋根調整材端部カバー止水パッキンには左右があります。図の向きに合わせて貼付けてください。



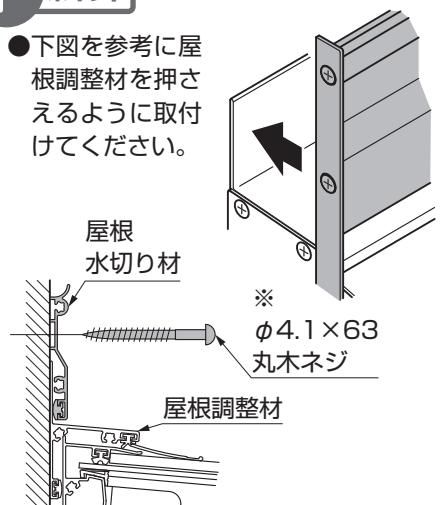
## 5-12 屋根水切り材・端部カバーの取付け



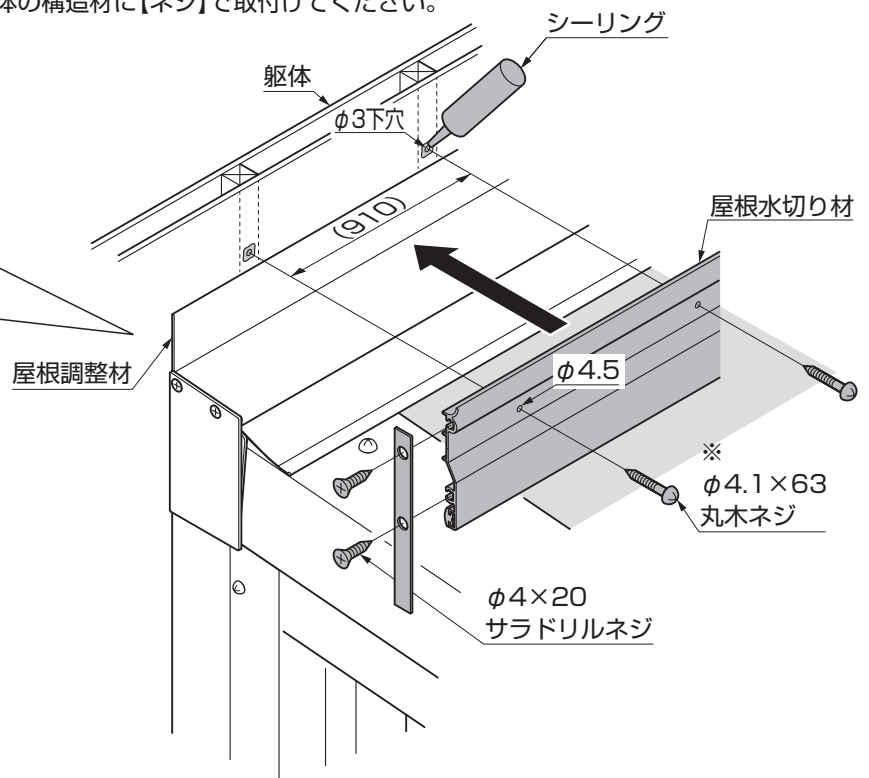
- ①屋根水切り材端部カバーを屋根水切り材に【ネジ】で仮止めしてください。
- ②仮止めした状態で屋根調整材の上のせ、仮止めしてる屋根水切り材端部カバーを【ネジ】で本固定してください。(ポイント参照)
- ③屋根水切り材を躯体の構造材に【ネジ】で取付けてください。

### Pポイント

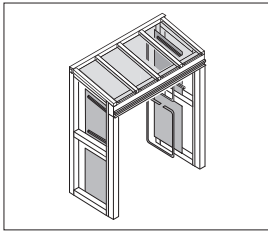
- 下図を参考に屋根調整材を押さえるように取付けてください。



※取付ける躯体(金属サイディング、RC造等)によってネジを交換(現場手配)してください。構造材に取付けられない場合は、ネジを細かいピッチで取付けて、屋根水切り材が外れないようにしてください。



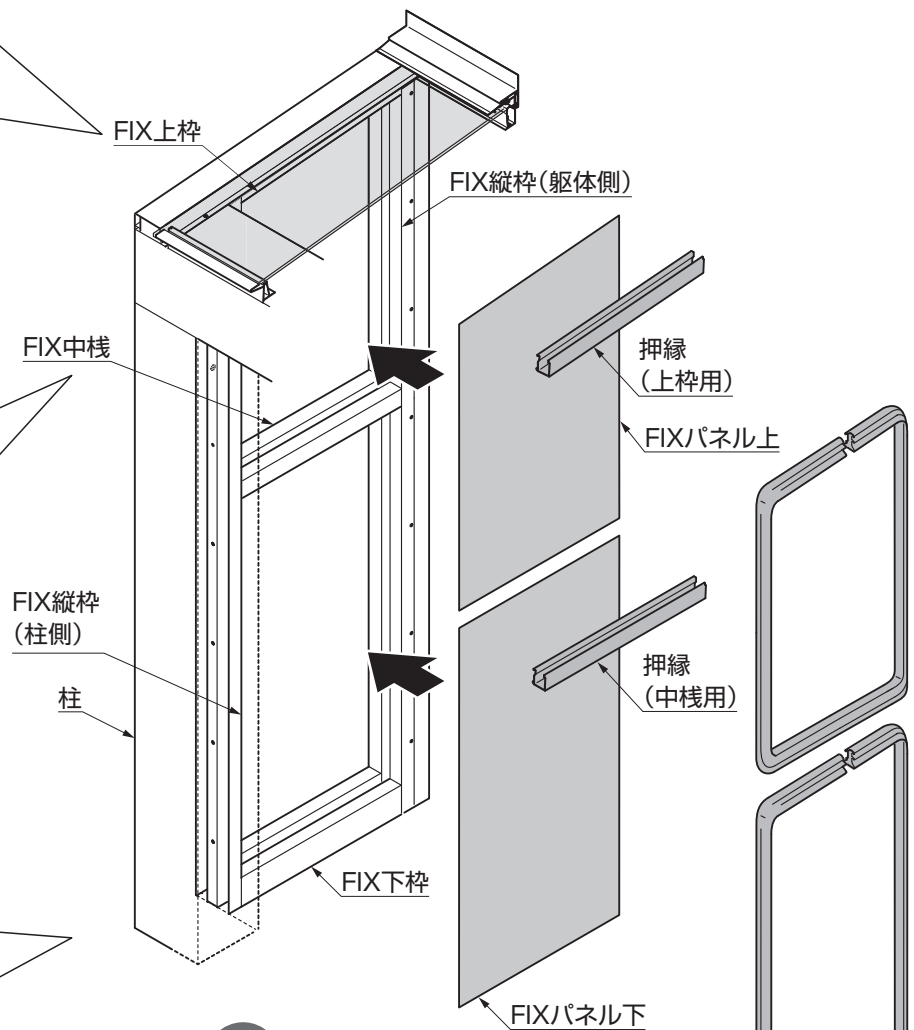
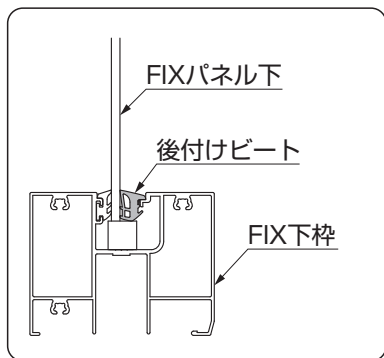
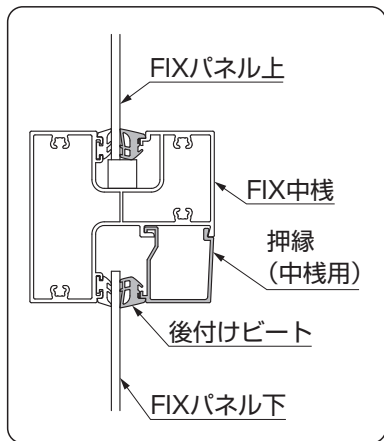
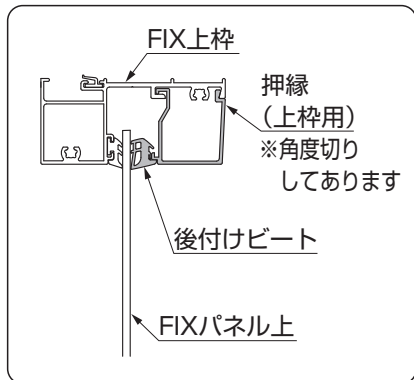
# 5-13 FIXパネルの取付け



- ① FIXパネル上・下をFIX上・下枠、FIX中棧(上部)、FIX縦枠(柱側)、FIX縦枠(躯体側)にはめ込んでください。
- ② 押縁(上枠用)をFIX上枠にはめ込んでください。
- ③ 後付けビートをFIX枠にはめ込んでください。

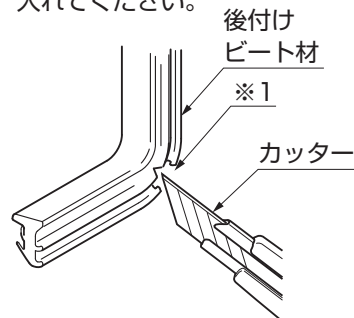
## Pポイント

- FIXパネルは表裏があります。
- FIXパネルには保護シートが貼付いています。必ずがしてから取付けてください。
- 後付けビートを折曲げる箇所はカッター等で切込みを入れてください。



## Pポイント

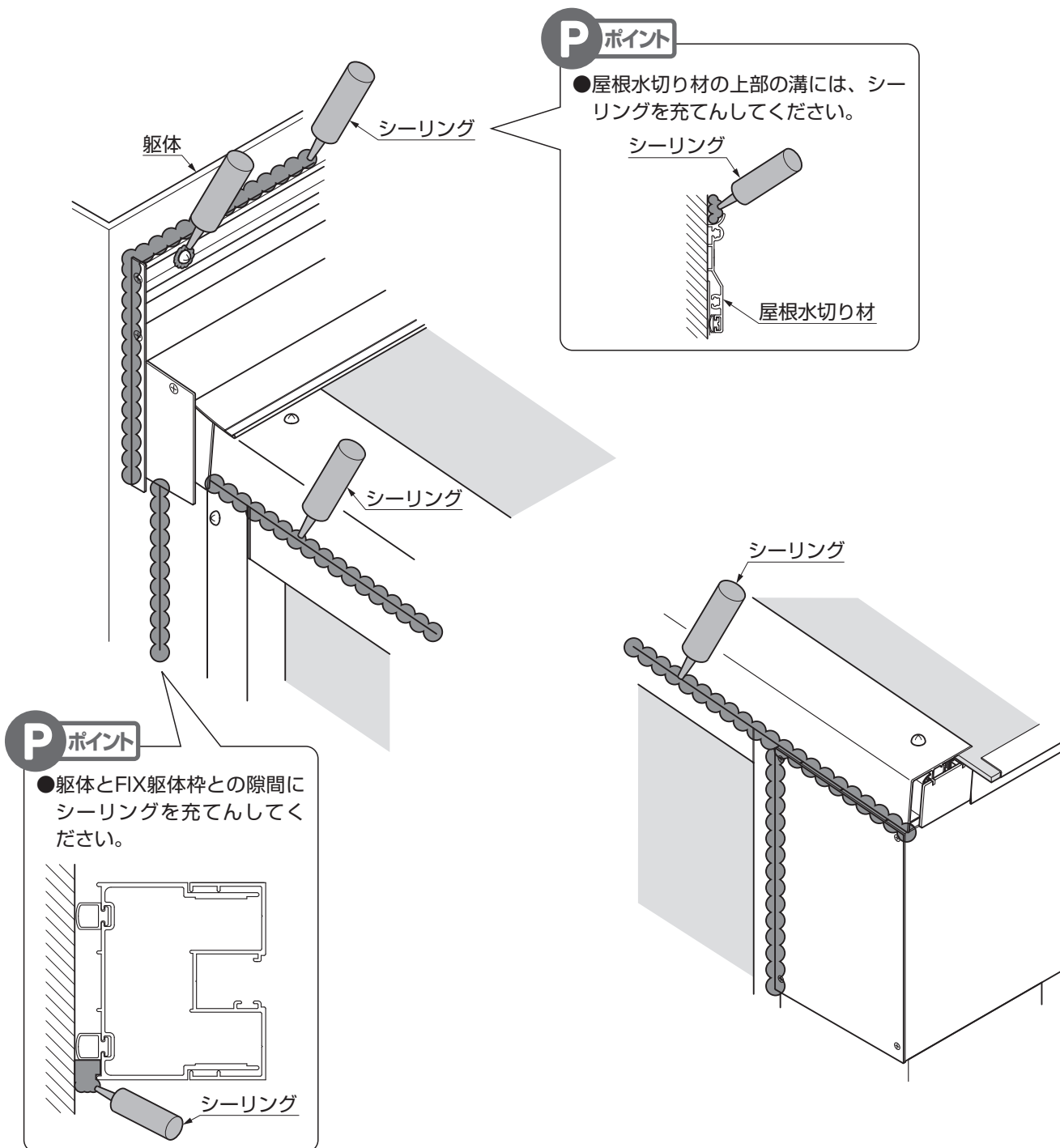
- 後付けビード材を折曲げる箇所(※1)にカッター等で切欠きを入れてください。





## 5-14 シーリング

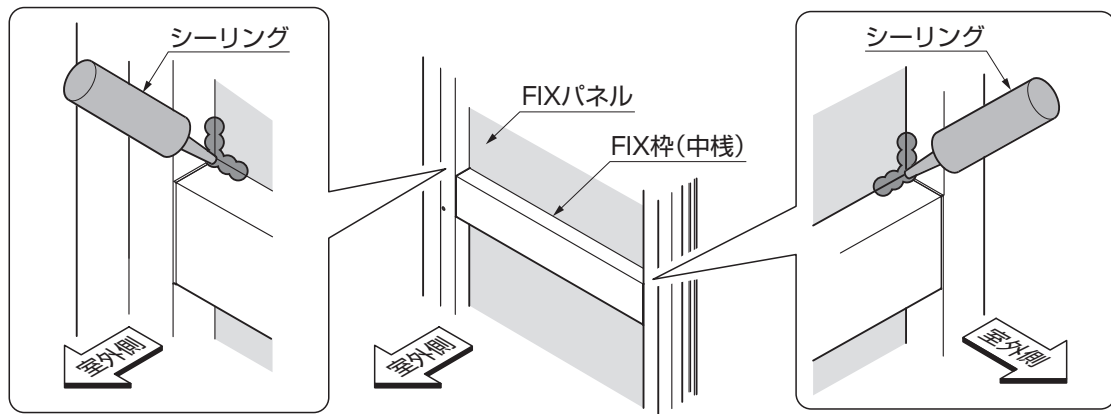
- ①端部垂木カバー、FIX枠と桁の接合箇所へシーリングをしてください。
- ②屋根水切り材上部から躯体側接合箇所へシーリングをしてください。
- ③屋根水切り材のネジに対してシーリングをしてください。



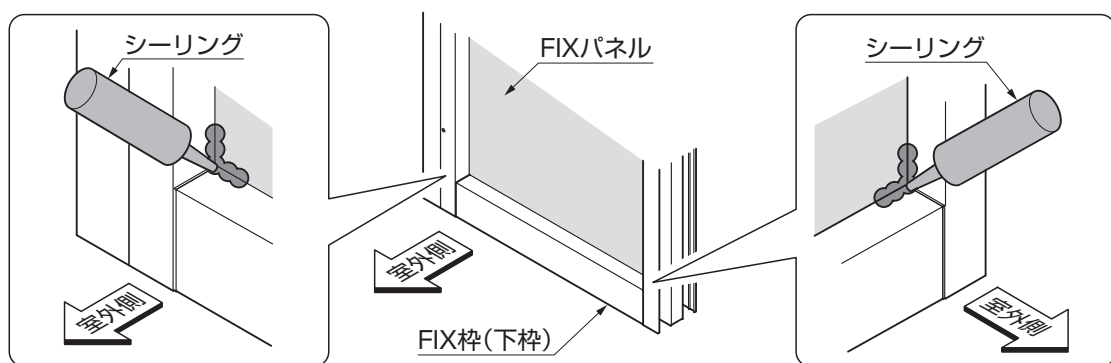
## 5-14 シーリング(つづき)

- ④FIX枠(中棧)の室外側、先付けビートのつき合わせ部分にヘシーリングをしてください。
- ⑤FIX枠(下棧)の室外側、先付けビートのつき合わせ部分にヘシーリングをしてください。
- ⑥FIX枠(下棧)の室内側ヘシーリングをしてください。

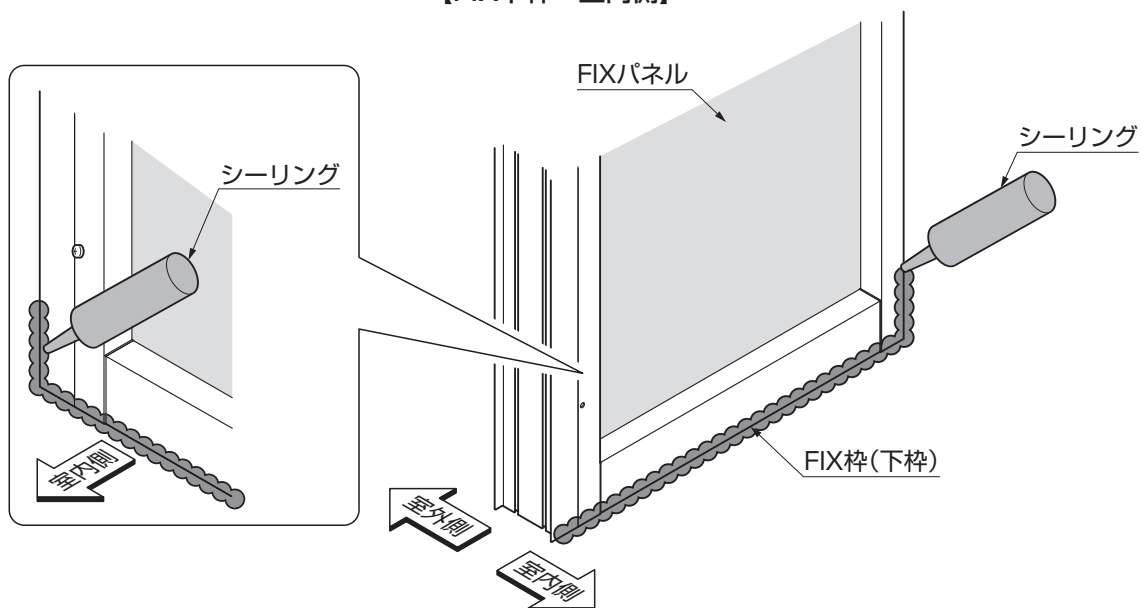
【FIX中棧 室外側】



【FIX下棧 室外側】



【FIX下棧 室内側】

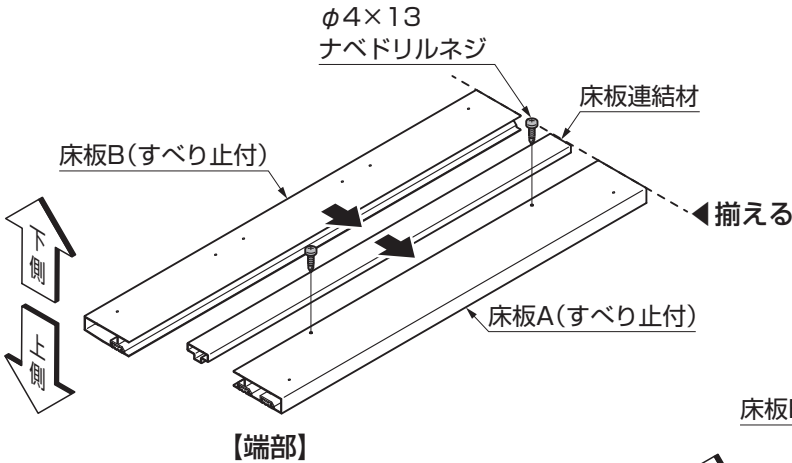


# 6 床の施工

## 6-1 グレーチングの組立て

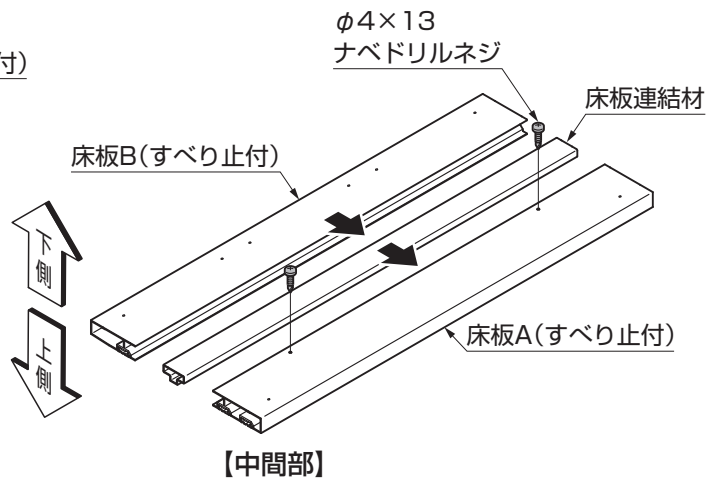
### 6-1-1 100タイプの場合

- ①床板A(すべり止付)、床板B(すべり止付)、床板連結材を組立ててください。
- ②床板A(すべり止付)と床板連結材を【ネジ】で取付けてください。



**Pポイント**

- 片側の端を揃えてください。
- 図は外観右の端部です。外観左の端部は対称にしてください。

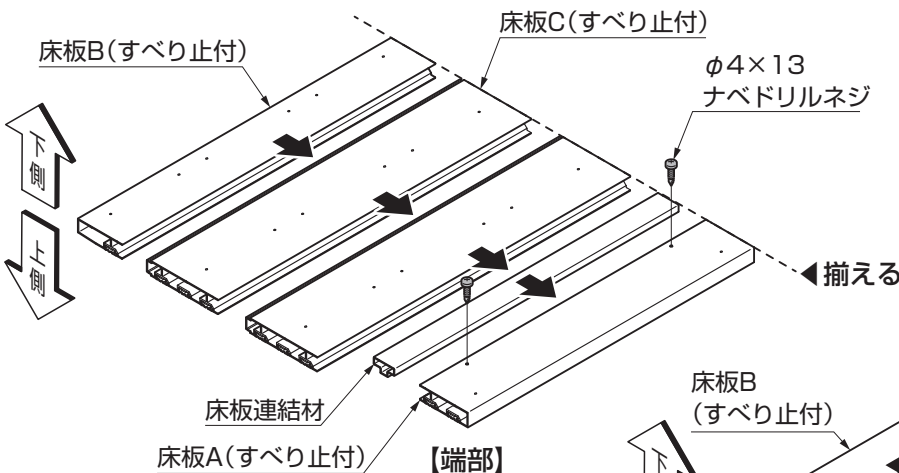


### 6-1-2 400タイプの場合

- ①床板A(すべり止付)、床板B(すべり止付)、床板C(すべり止付)、床板連結材を組立ててください。
- ②床板A(すべり止付)と床板連結材を【ネジ】で取付けてください。

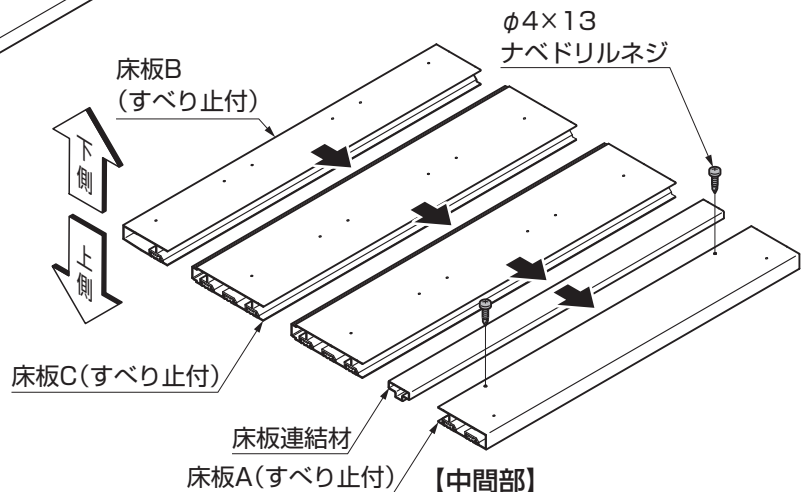
**Pポイント**

- 床板C(すべり止付)は2枚使用します。



**Pポイント**

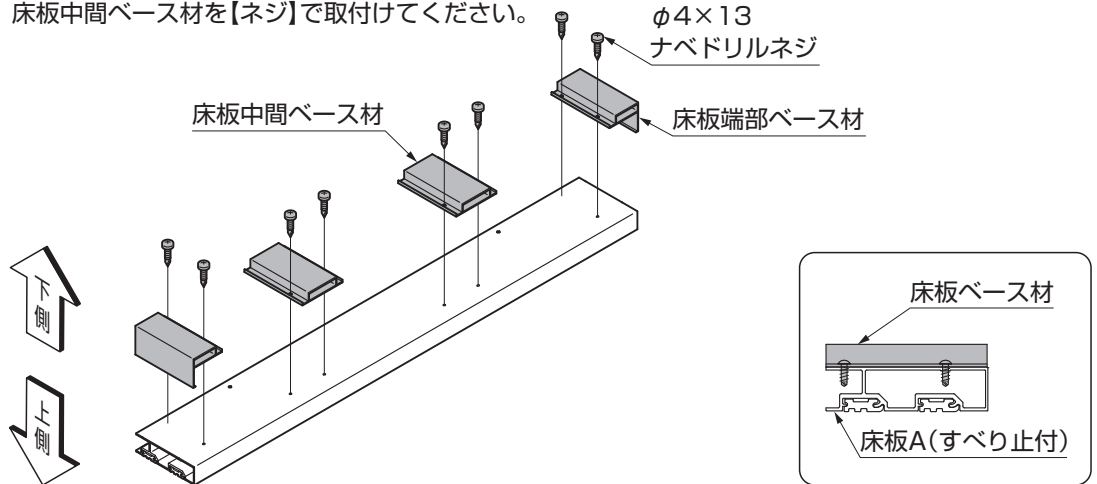
- 片側の端を揃えてください。
- 図は外観右の端部です。外観左の端部は対称にしてください。



## 6-2 床板ベース材の取付け(端部)

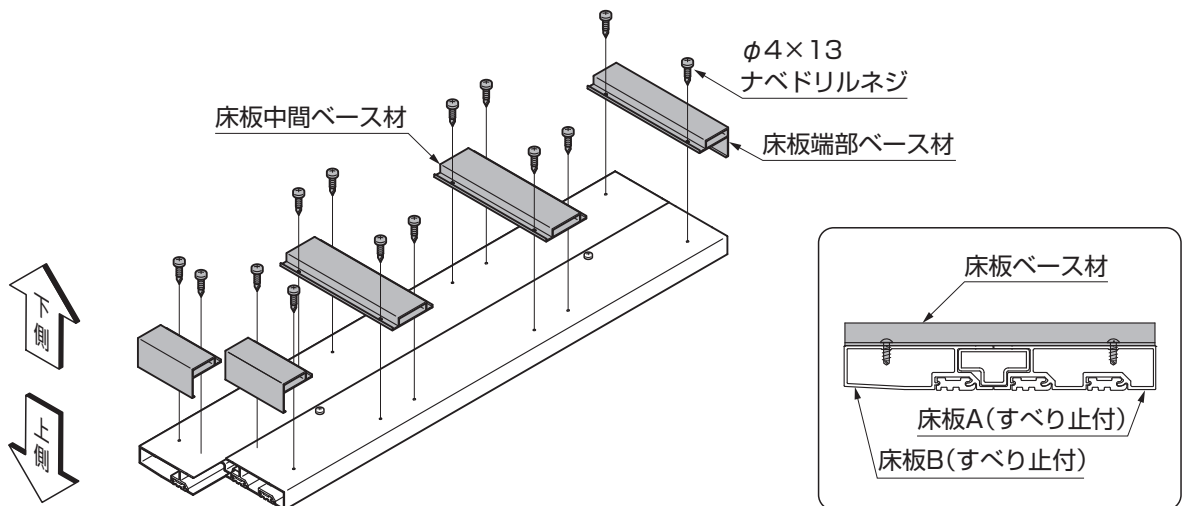
### 6-2-1 0タイプの場合

①床板に床板端部ベース材、床板中間ベース材を【ネジ】で取付けてください。



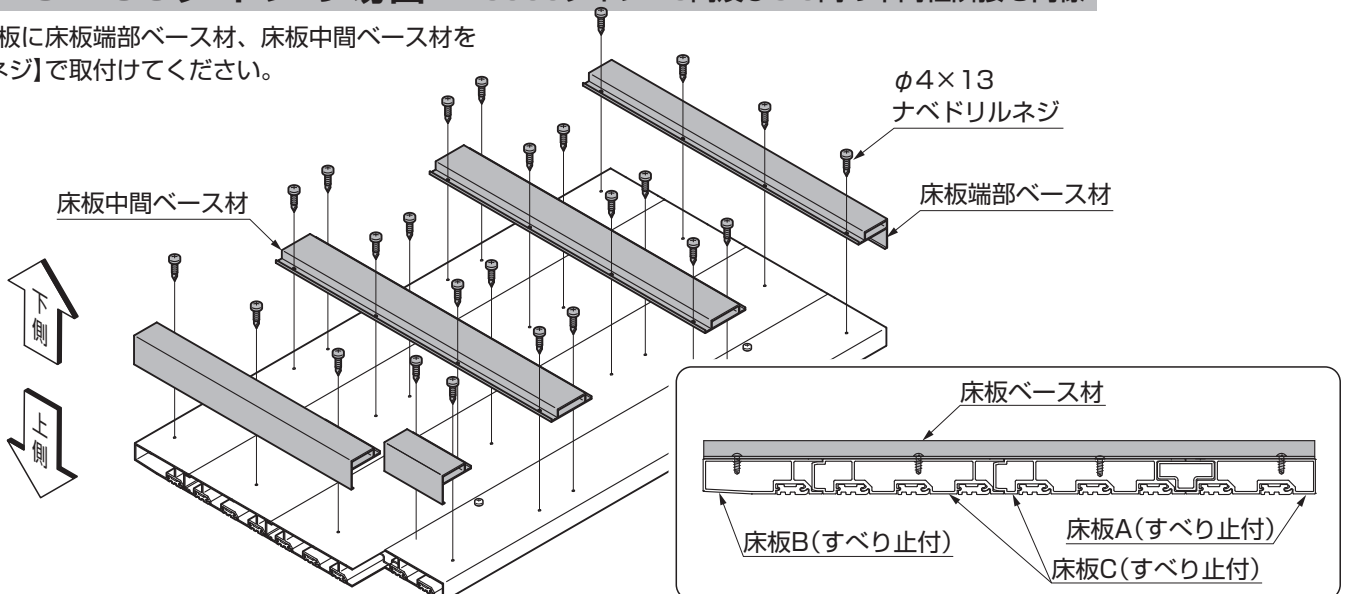
### 6-2-2 100タイプの場合

①床板に床板端部ベース材、床板中間ベース材を【ネジ】で取付けてください。



### 6-2-3 400タイプの場合 ※3000タイプ2.0間及び3.0間の中間柱隣接も同様

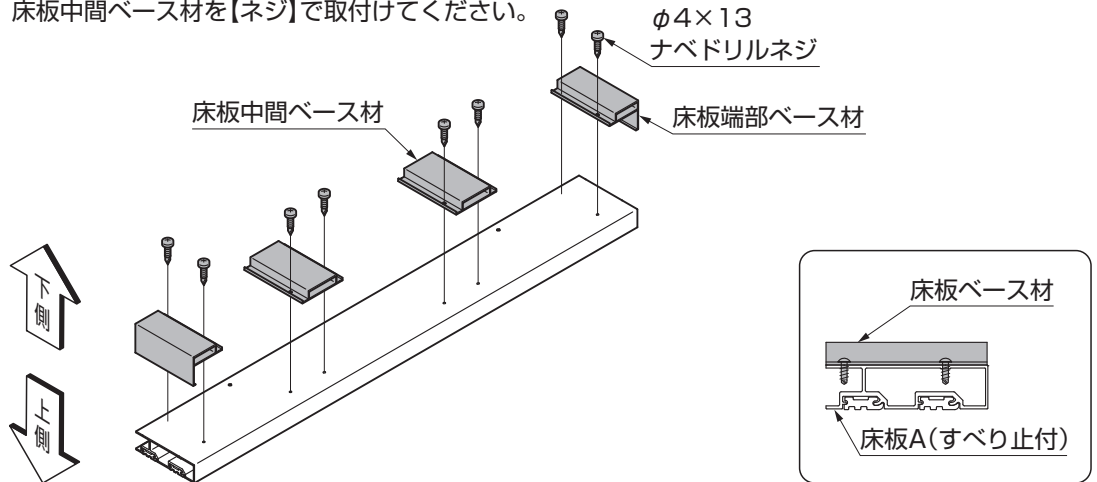
①床板に床板端部ベース材、床板中間ベース材を【ネジ】で取付けてください。



## 6-3 床板ベース材の取付け(中間部)

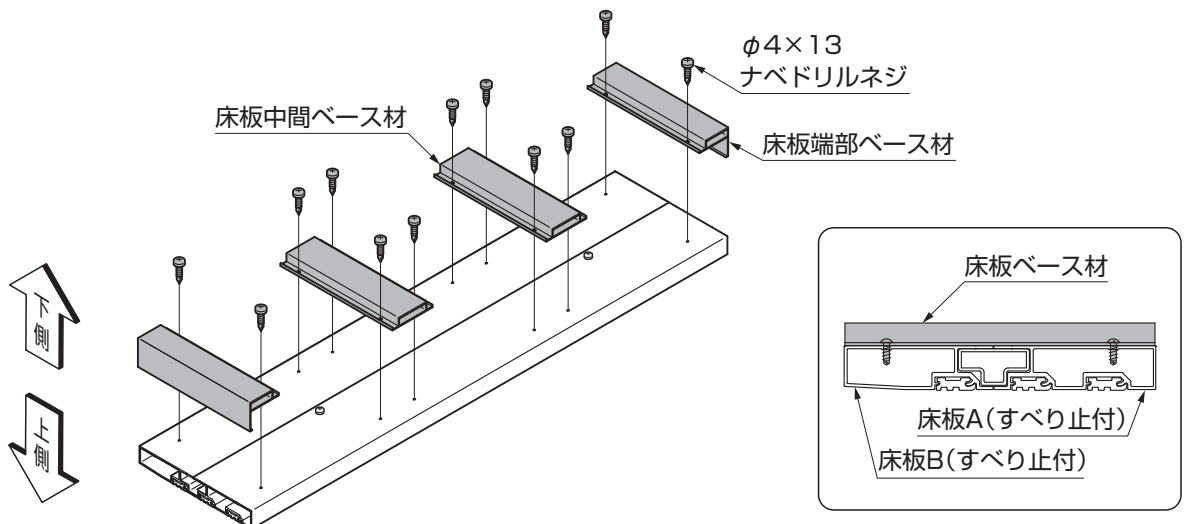
### 6-3-1 0タイプの場合

①床板に床板端部ベース材、床板中間ベース材を【ネジ】で取付けてください。



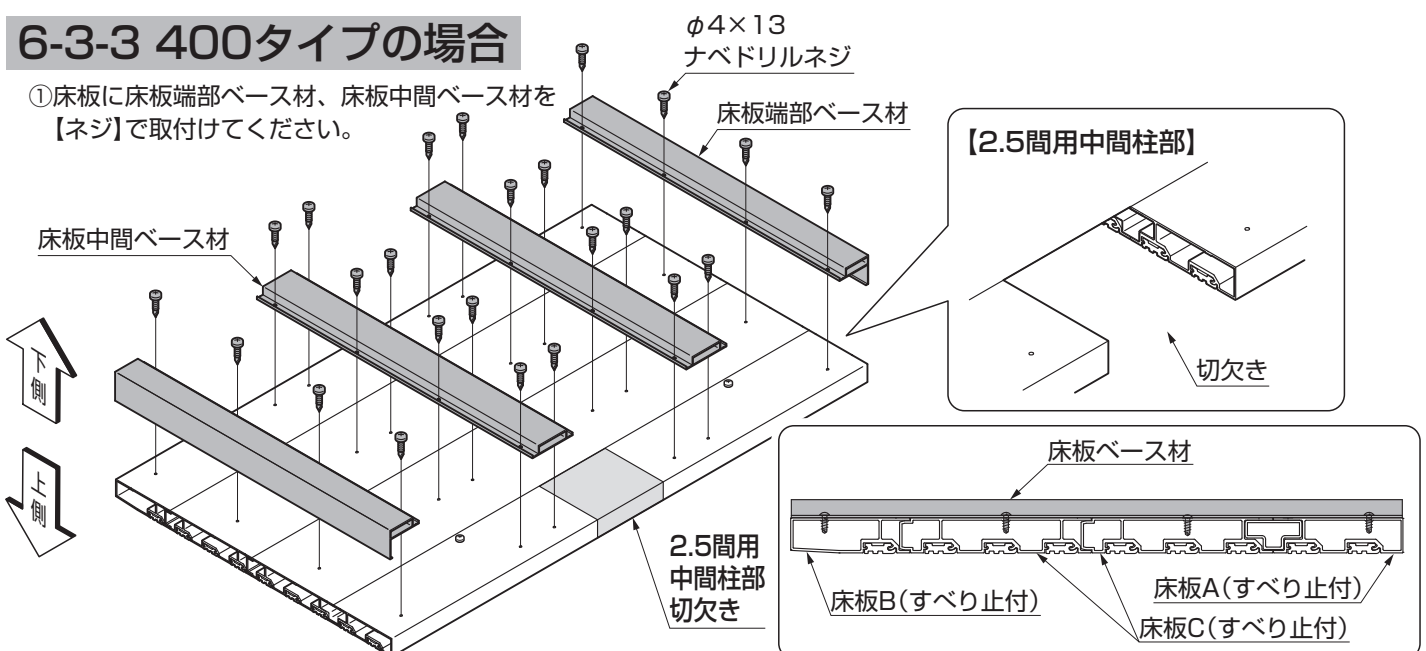
### 6-3-2 100タイプの場合

①床板に床板端部ベース材、床板中間ベース材を【ネジ】で取付けてください。



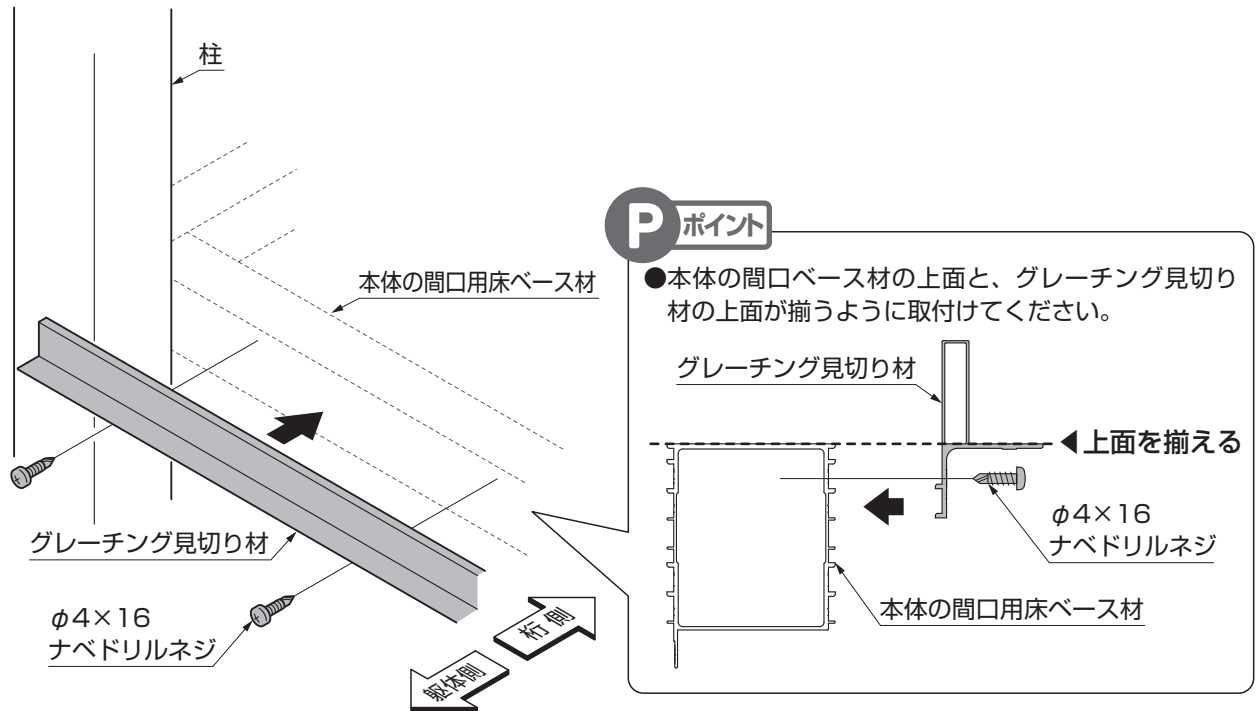
### 6-3-3 400タイプの場合

①床板に床板端部ベース材、床板中間ベース材を【ネジ】で取付けてください。



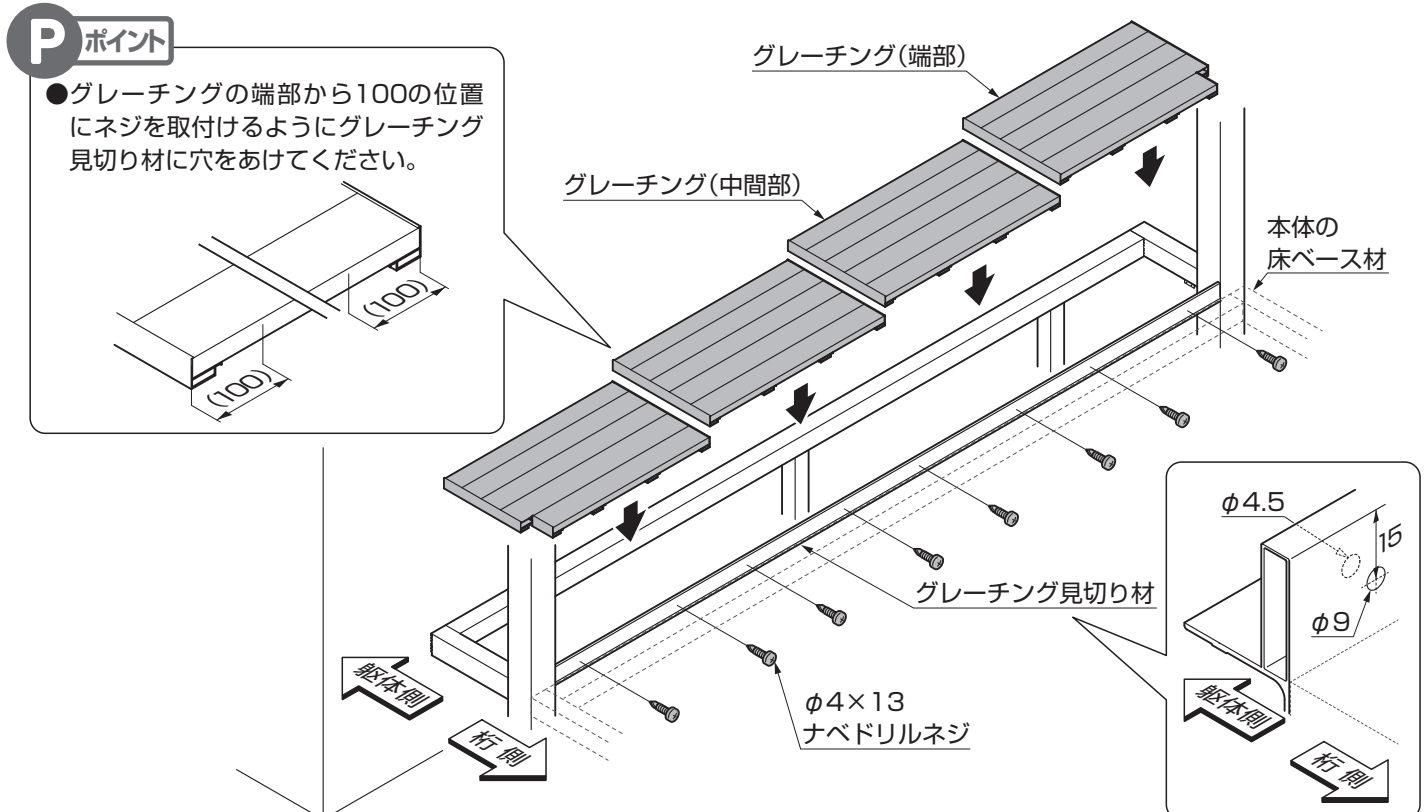
## 6-4 見切り材の取付け

①ジーマ本体の間口ベース材にグレーチング見切り材を【ネジ】で取付けてください。



## 6-5 グレーチングの取付け ※図は400タイプ。0、100タイプも同様。

- ①グレーチング(端部・中間部)とグレーチング見切り材に取付穴をあけてください。
- ②グレーチング(端部・中間部)を所定の位置にはめ込んでください。
- ③グレーチング(端部・中間部)をグレーチング見切り材に【ネジ】で3箇所取付けてください。

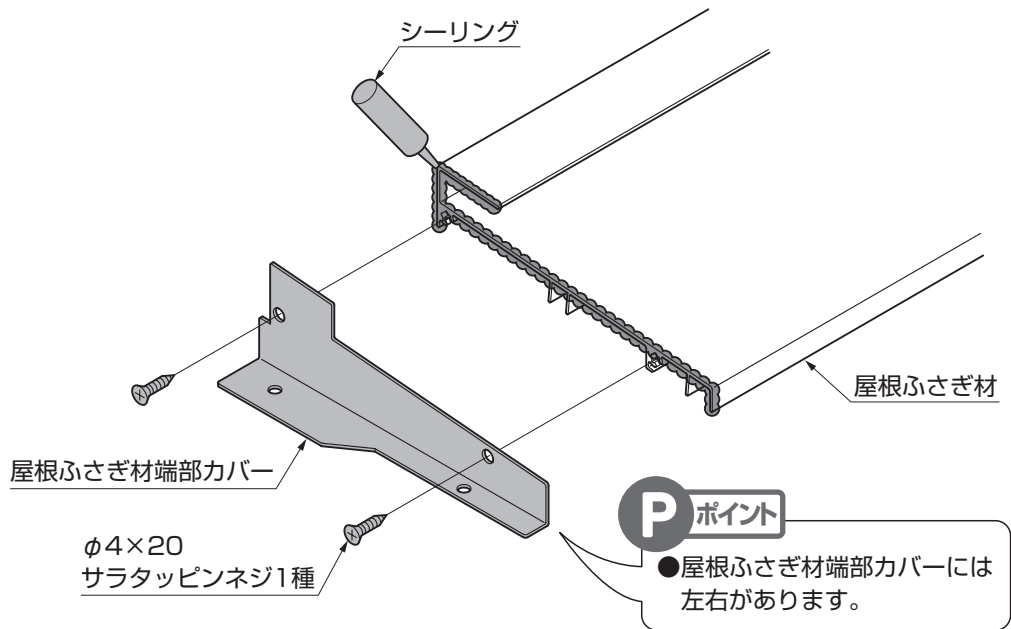


E429\_201609A

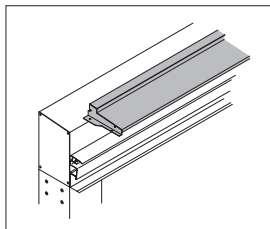
# 7 ふさぎ材の取付け ※0.100タイプの場合

## 7-1 屋根ふさぎ材の組立て

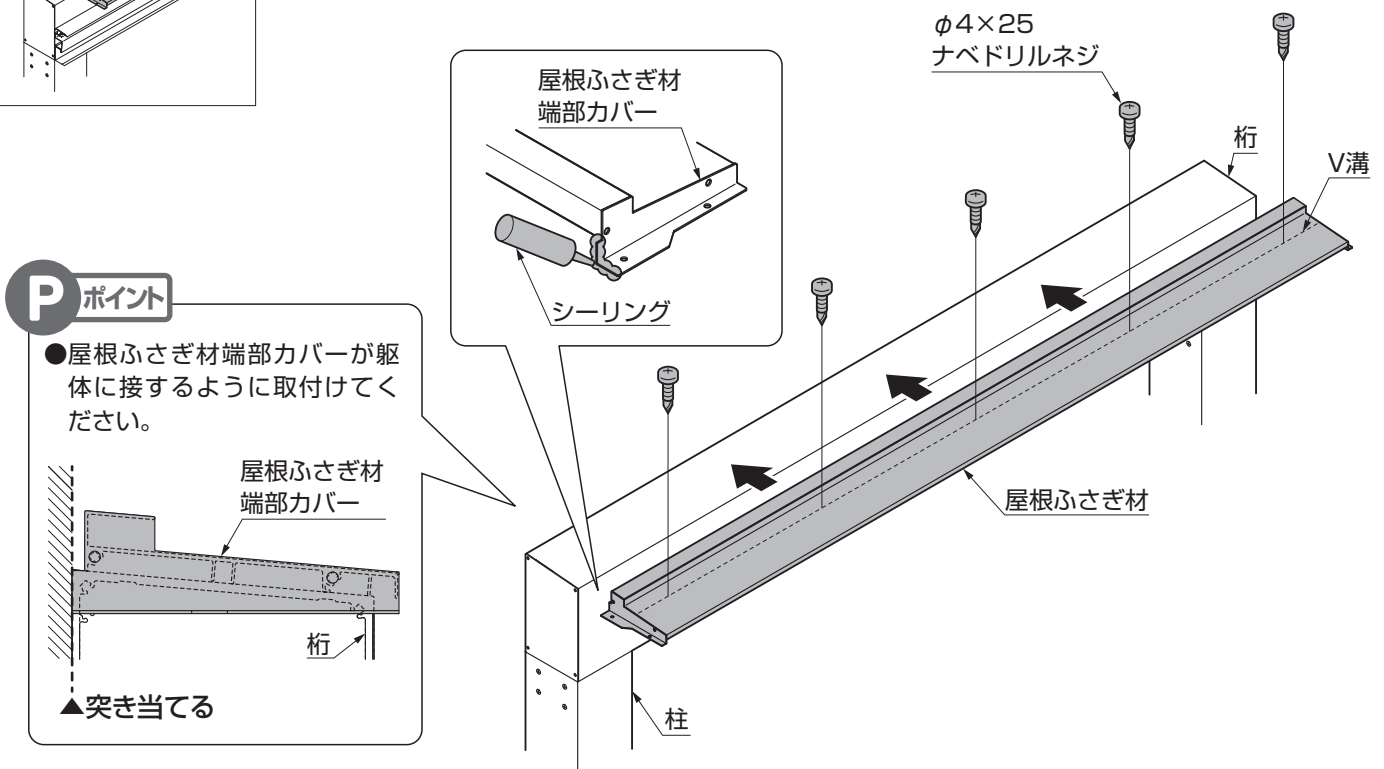
- ①屋根ふさぎ材の端部にシーリングをしてください。
- ②屋根ふさぎ材端部カバーを屋根ふさぎ材に【ネジ】で仮止めしてください。



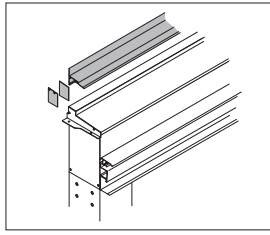
## 7-2 屋根ふさぎ材の取付け



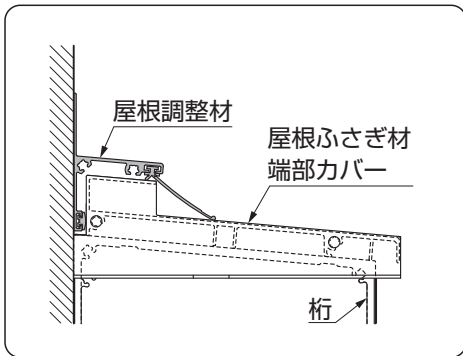
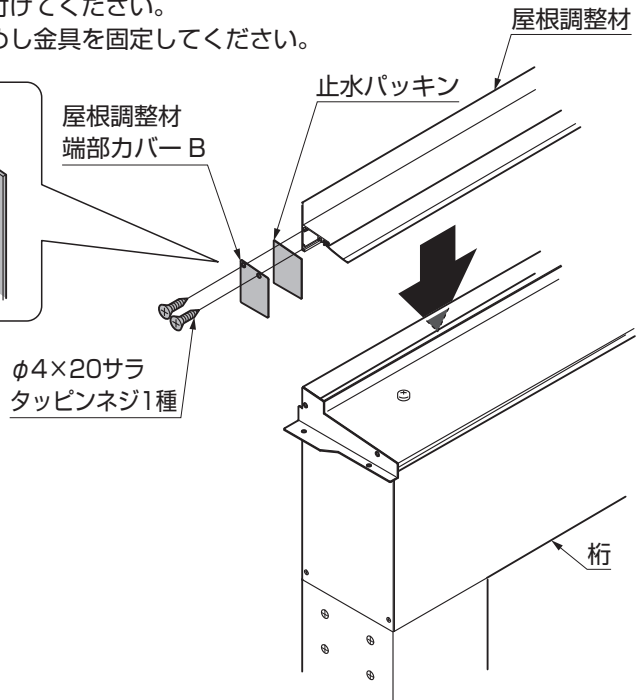
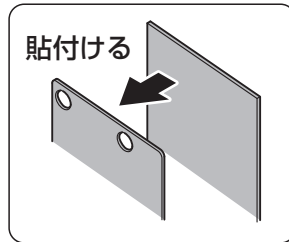
- ①屋根ふさぎ材を桁にのせた後、仮止めした【ネジ】を増締めし、端部カバーを固定してください。
- ②屋根ふさぎ材端部カバーの躯体と接する面にシーリングをしてください。
- ③屋根ふさぎ材を桁に【ネジ】で取付けてください。



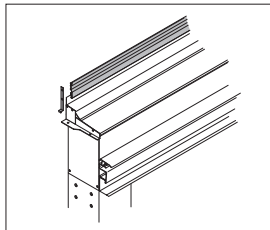
## 7-3 屋根調整材の取付け



- ①屋根調整材端部カバー Bに止水パッキン(左右あり)を貼付けてください。
- ②屋根調整材端部カバー Bを屋根調整材に【ネジ】で仮止めしてください。
- ③屋根調整材を上部から取付けてください。
- ④仮止めした【ネジ】を増締めし金具を固定してください。



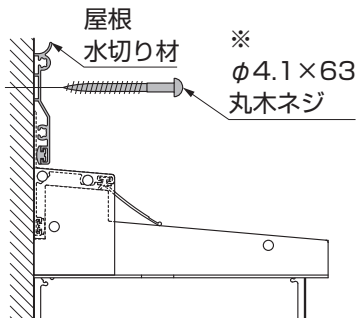
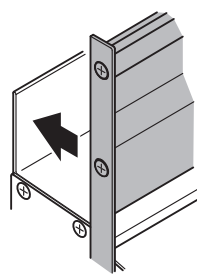
## 7-4 屋根水切り材の取付け



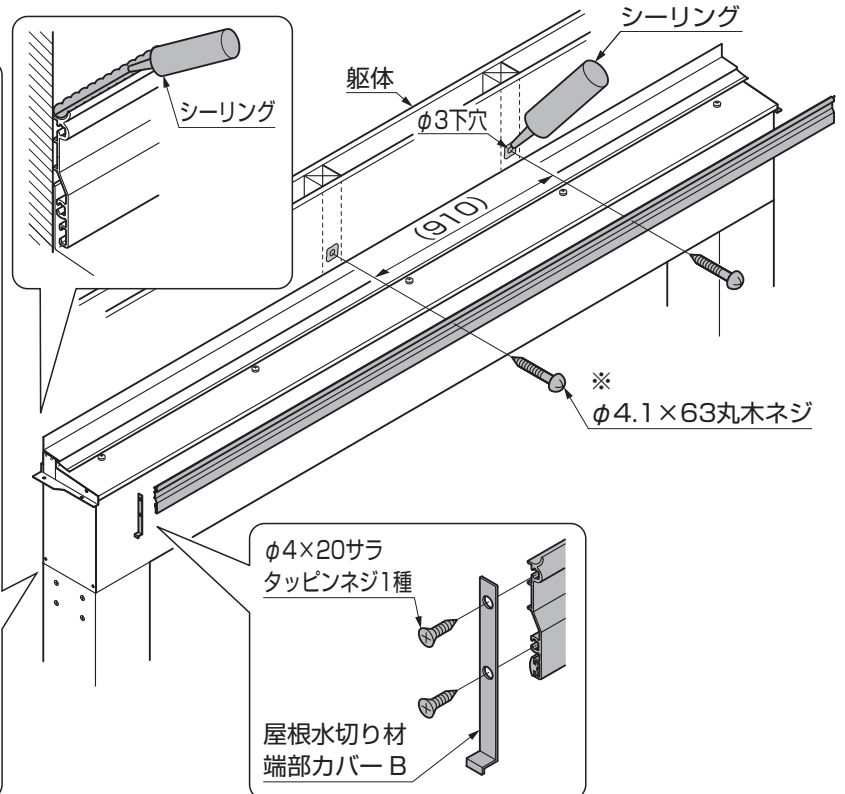
- ①屋根水切り材端部カバー Bを【ネジ】で仮止めしてください。
- ②仮止めした状態で屋根調整材の上のせ(ポイント参照)、【ネジ】を増締めしてください。
- ③屋根水切り材を躯体に【ネジ】で取付けてください。
- ④屋根水切り材の上部の溝にシーリングを充てんしてください。

### Pポイント

- 下図を参考に屋根調整材を押さえるように取付けてください。

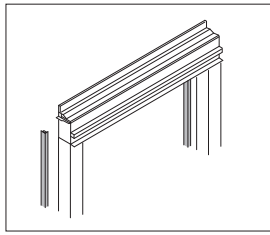


- ※取付ける躯体(金属サイディング、RC造等)によってネジを交換(現場手配)してください。構造材に取付けられない場合は、ネジを細かいピッチで取付けて、屋根水切り材が外れないようにしてください。

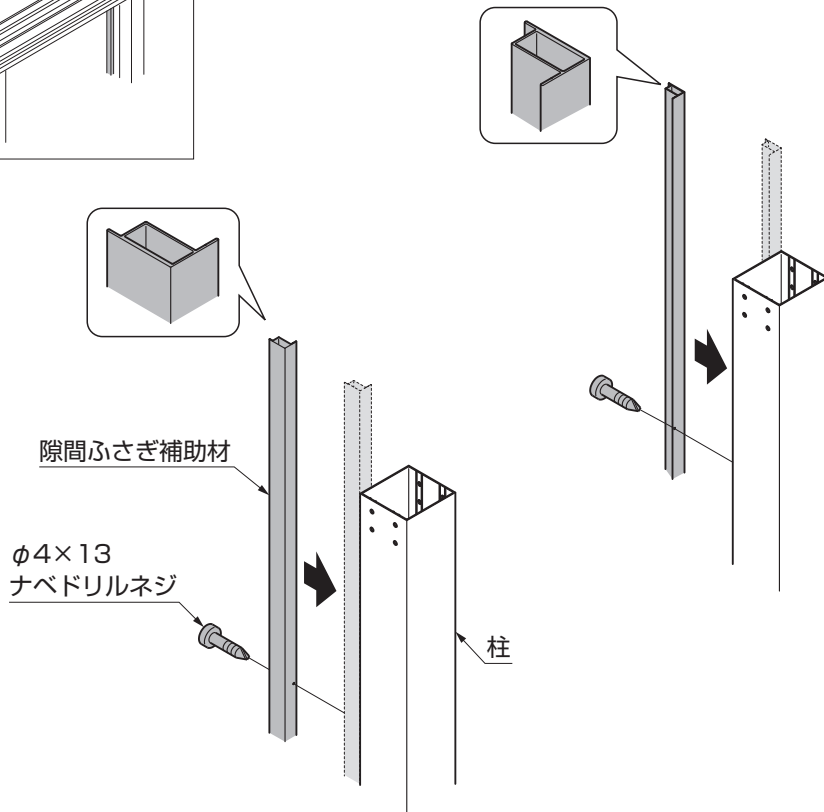




## 7-5 隙間ふさぎ補助材の取付け



①隙間ふさぎ補助材を柱に【ネジ】で取付けてください。

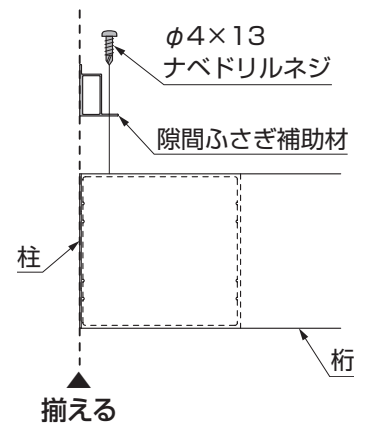


### Pポイント

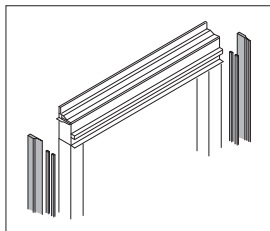
- 柱～躯体のすきまが65～100のとき取付けてください。
- グレーチングを取付ける場合は0又は、100になります。

### Pポイント

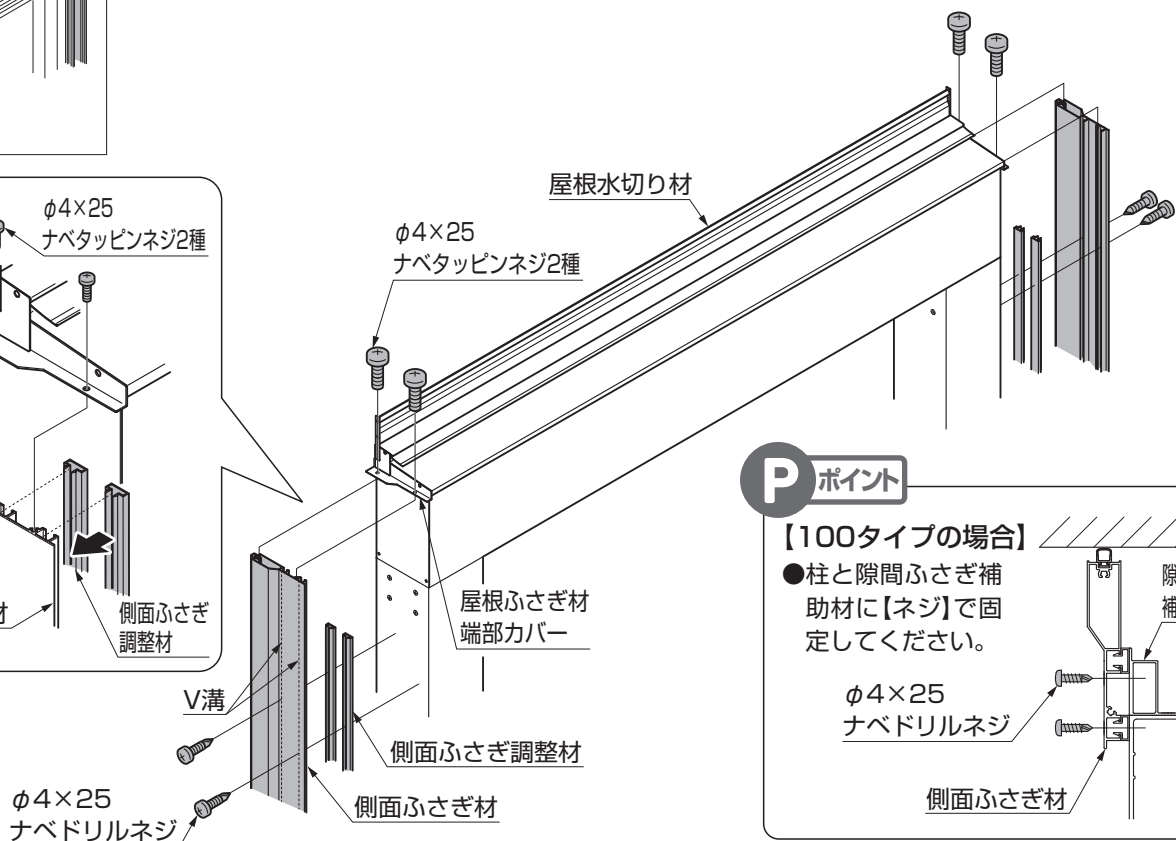
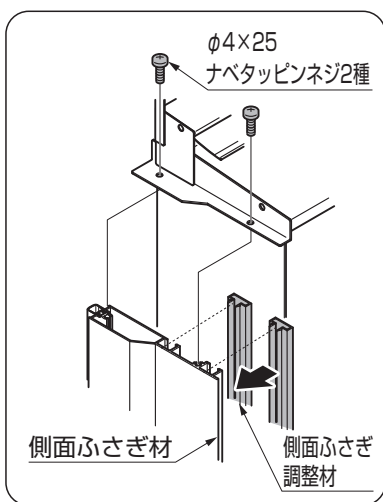
- 隙間ふさぎ補助材と柱の外表面が揃っていることを確認してください。



## 7-6 側面ふさぎ材の取付け



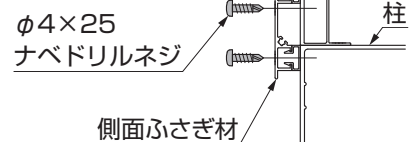
- ①側面ふさぎ調整材を側面ふさぎ材に取付けてください。
- ②側面ふさぎ材を柱に【ネジ】で取付けてください。



### Pポイント

【100タイプの場合】

- 柱と隙間ふさぎ補助材に【ネジ】で固定してください。

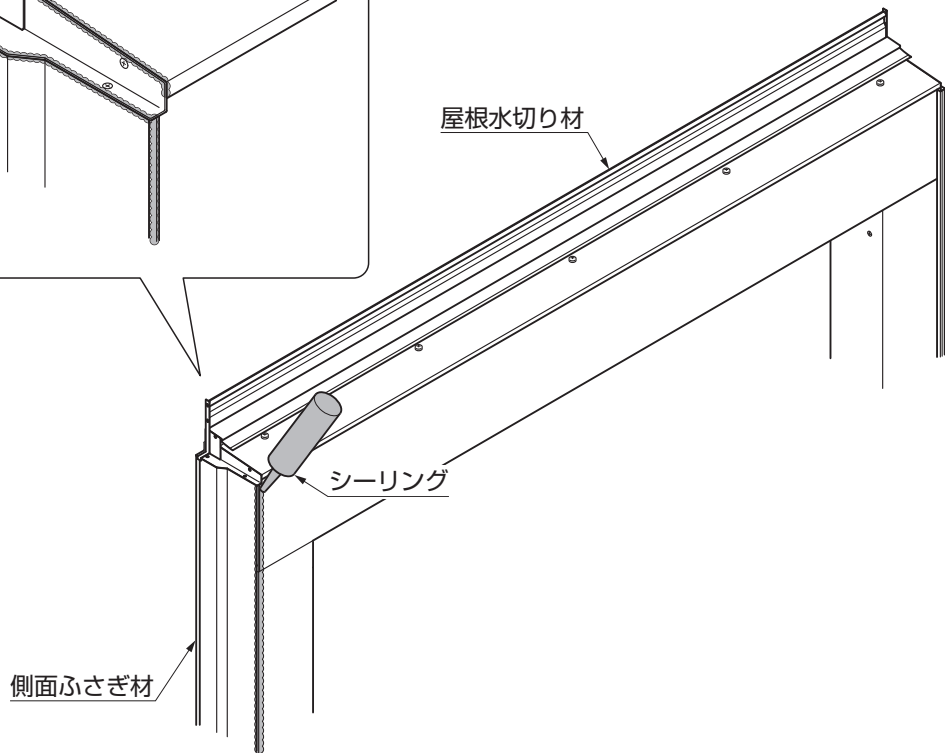
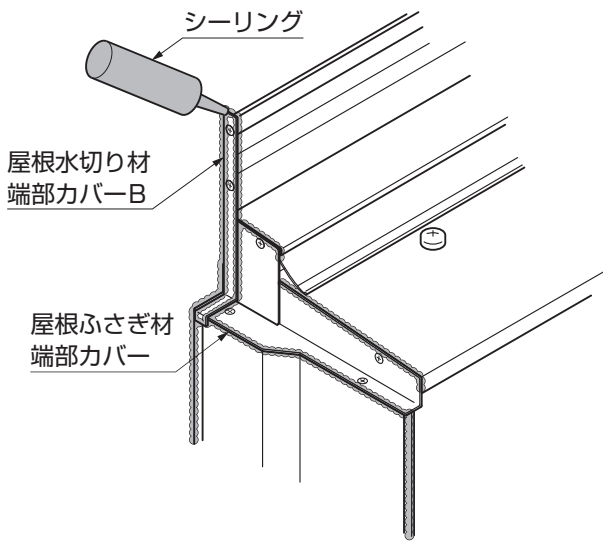


# 7-7 シーリング

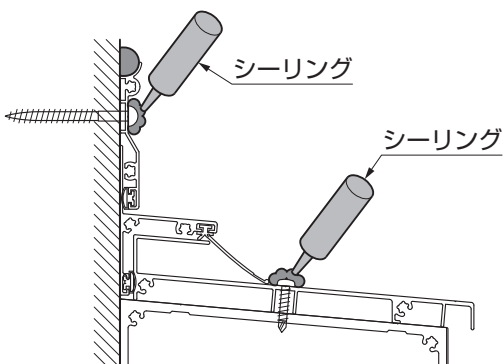
①指定の箇所に雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

## Pポイント

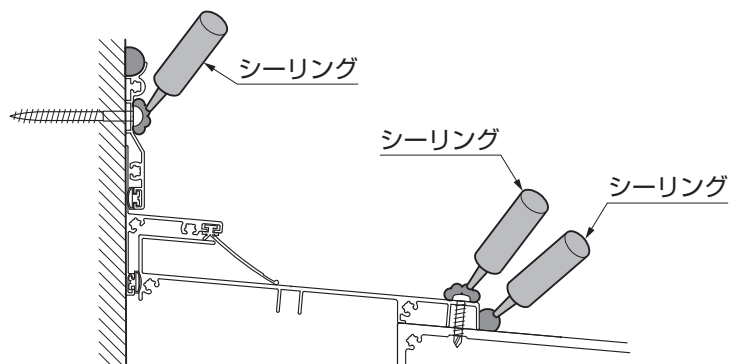
●屋根水切り材端部カバーと屋根ふさぎ材端部カバーの合わせ目にはシーリングを十分に充てんしてください。



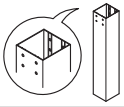
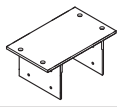
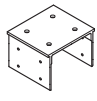


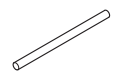


【0タイプの場合】

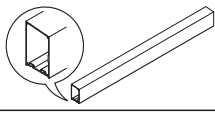


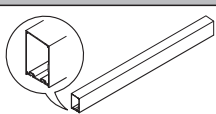
【100タイプの場合】

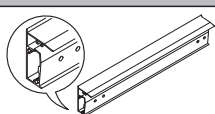
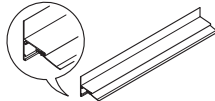
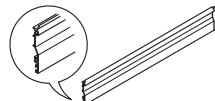
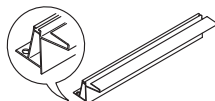
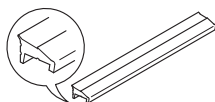


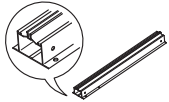
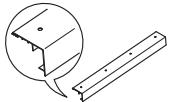
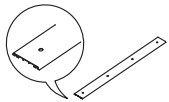
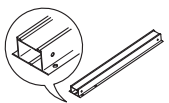
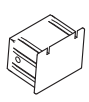
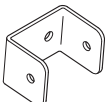






# 8 梱包明細表

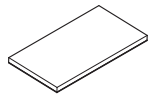
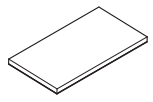
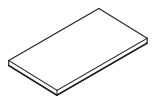
柱							
名称	略図	員数		名称	略図	員数	
		端部	中間			端部	中間
		8LFX01□□	8LFX02□□			8LFX01□□	8LFX02□□
柱(施工補助)		1	1	中間柱固定金具		-	1
端部柱固定金具		1	-	中間柱固定金具裏板		-	2
端部柱固定金具裏板		2	-	アンカー棒		1	1
				M8×20六角ボルト平パネ座金付		4	4
				φ5×16サラタッピンネジ3種		8	8

桁(400)					
名称	略図	員数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
		8LFX03□□	8LFX04□□	8LFX05□□	8LFX06□□
桁		1	1	1	1

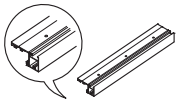

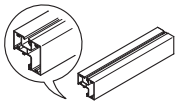
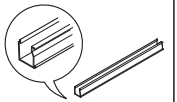
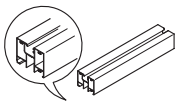
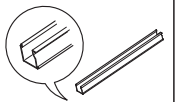

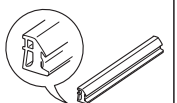
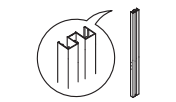
桁(躯体付け)					
名称	略図	員数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
		8LFX07□□	8LFX08□□	8LFX09□□	8LFX10□□
桁		1	1	1	1

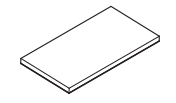
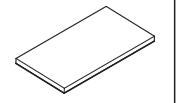
屋根枠									
名称	略図	員数							
		600・1500				3000			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
		8LFX11□□	8LFX12□□	8LFX13□□	8LFX14□□	8LFX15□□	8LFX16□□	8LFX17□□	8LFX18□□
屋根枠		1	1	1	1	1	1	1	1
屋根調整材		1	1	1	1	1	1	1	1
屋根水切り材		1	1	1	1	1	1	1	1
屋根材受け		3	4	5	6	6	8	10	12
屋根枠後付けビード		3	4	5	6	6	8	10	12

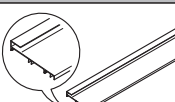
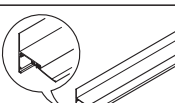

垂木							
名 称	略 図	員 数					
		端部垂木		中間垂木			
		600・1500	3000	600・1500		3000	
		8LFX19〇〇	8LFX20〇〇	8LFX21〇〇	8LFX22〇〇	8LFX23〇〇	8LFX24〇〇
垂木		2	2	2	3	2	3
端部垂木カバー		2	2	-	-	-	-
中間垂木カバー		-	-	2	3	2	3
補強垂木		-	1	-	-	2	3
垂木キャップ		2	3	2	3	4	6
垂木取付金具		2	3	2	3	4	6
φ5×12ナベタッピンネジ3種		13	19	13	19	26	39
M5×10トラス小ネジ		17	21	17	26	26	39
φ6×25ナベタッピンネジ3種		4	4	4	6	8	12
M6平座金		4	4	4	6	8	12
φ4×25ナベタッピンネジ3種		-	3	-	-	4	6
φ4.5×63丸木ネジ		2	2	2	3	2	3

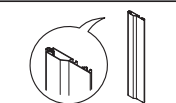

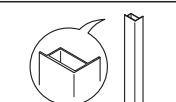
屋根材							
名 称	略 図	員 数					
		屋根材(ポリカ)		屋根材(熱線吸収ポリカ)		屋根材(熱線吸収アクア)	
		2枚入	3枚入	2枚入	3枚入	2枚入	3枚入
		8LFX25〇〇	8LFX26〇〇	8LFX27BC	8LFX28BC	8LFX29CC	8LFX30CC
屋根材(ポリカ)		2	3	-	-	-	-
屋根材(熱線吸収ポリカ)		-	-	2	3	-	-
屋根材(熱線吸収アクア)		-	-	-	-	2	3

〇〇: MC、CC

フィックス枠					
名称	略図	員数	名称	略図	員数
		8LFX31□□			8LFX31□□
FIX上枠		LR各1	FIX縦枠(柱側)		LR各1
FIX中棧		2	押縁(FIX中棧)		2
FIX下枠		2	押縁(FIX上枠)		LR各1
FIX躯体枠		2	FIX後付けビード		4
FIX縦枠(躯体側)		LR各1			

フィックスパネル					
名称	略図	員数	名称	略図	員数
		8LFX32□□			8LFX32□□
FIXパネル上		LR各1	FIXパネル下		2

隙間ふさぎ材(屋根)					
名称	略図	員数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
		8LFX35□□	8LFX36□□	8LFX37□□	8LFX38□□
屋根ふさぎ材		1	1	1	1
屋根調整材		1	1	1	1
屋根水切り材		1	1	1	1

隙間ふさぎ材(柱)					
名称	略図	員数	名称	略図	員数
		8LFX39□□			8LFX39□□
側面ふさぎ材		2	側面ふさぎ調整材		4
隙間ふさぎ補助材		2			

グレーチング400								
名称	略図	員数		名称	略図	員数		
		端部	中間			端部	中間	
		8LFX40□□	8LFX41□□			8LFX40□□	8LFX41□□	
床板A(端部)		1	-	床板C(中間)		-	2	
床板A(中間)		-	1	床板端部ベース材400		2	2	
床板B(端部)		1	-	床板中間ベース材400		2	2	
床板B(中間)		-	1	床板連結材(端部)		1	-	
床板C(端部)		2	-	床板連結材(中間)		-	1	
					φ4×13ナベドリルネジ		31	31

グレーチング0100								
名称	略図	員数		名称	略図	員数		
		端部	中間			端部	中間	
		8LFX42□□	8LFX43□□			8LFX42□□	8LFX43□□	
床板A(端部)		1	-	床板端部ベース材0100		2	2	
床板A(中間)		-	1	床板中間ベース材0100		2	2	
床板B(端部)		1	-	床板連結材(端部)		1	-	
床板B(中間)		-	1	床板連結材(中間)		-	1	
					φ4×13ナベドリルネジ		18	18

見切り材								
名称	略図	員数		名称	略図	員数		
		8LFX44□□				8LFX44□□		
グレーチング見切り材		1		φ4×16ナベドリルネジ		9		

部品セット						
名称	略図	員数		名称	員数	
		400	8LFX33□□		400	8LFX33□□
桁端部カバー		2		FIX上枠コーキングシーラー		LR各2
ベース材取付金具		2		FIX中棧コーキングシーラー		LR各2
屋根水切り材端部カバー A		2		FIX下枠コーキングシーラー		LR各2
屋根調整材端部カバー A		2		FIX縦枠止水シート		2
屋根枠端部カバー		2		ガラスライナー		8
屋根調整材端部カバー A止水パッキン		LR各1		φ4×13ナベドリルネジ		57
屋根枠端部カバー止水パッキン		LR各1		φ4×50ナベドリルネジ		6
屋根枠止水パッキン		2		φ4×20ナベタッピンネジ2種G=5		39
				φ4×12トラスタッピンネジ3種D=8		4
				φ4×20サラタッピンネジ1種D=6		21
				取付説明書	—	1

部品セット						
名称	略図	員数		名称	員数	
		躯体付け	8LFX34□□		躯体付け	8LFX34□□
桁端部カバー		2		屋根調整材端部カバー B止水パッキン		LR各1
屋根ふさぎ材端部カバー		LR各1		φ6×25ナベタッピンネジ3種		26
屋根水切り材端部カバー B		2		M6平座金		26
屋根調整材端部カバー B		2		φ4.5×63丸木ネジ		7
				φ4×25ナベタッピンネジ3種		14
				φ4×25ナベドリルネジ		50
				φ4×13ナベドリルネジ		17
				φ4×20ナベタッピンネジ2種G=5		4
				φ4×20サラタッピンネジ1種D=6		21
				取付説明書	—	1

床ベース材							
名称	略図	員数					
		2.0間	2.5間	3.0間	6尺	8尺	10尺
		8LFG02□□	8LFG03□□	8LFG04□□	8LFG05□□	8LFG06□□	8LFG07□□
床ベース材		1	1	1	1	1	1
束柱固定金具		1	1	1	-	-	-
ベース材柱取付金具		LR各1	LR各1	LR各1	-	-	-
φ4×14トラスタッピンネジ3種D=8		12	12	12	-	-	-

床ベース材取付部品							
名称	略図	員数		名称	略図	員数	
		A	B			A	B
		8LFG65□□	8LFG66□□			8LFG65□□	8LFG66□□
大引-柱床ベース材固定金具		1	-	φ4×13ナベドリルネジ		-	4
				φ4×12トラスタッピンネジ3種D=8		-	8
				φ4×16ナベドリルネジ		5	-
ベース材取付金具		-	2				

樹ら楽ステージ									
名称	略図	員数			名称	略図	員数		
		1本入り	4本入り	6本入り			1本入り	4本入り	6本入り
		8LDA77□□	8LDA78□□	8LDA79□□			8LDA77■	8LDA78■	8LDA79■
束柱A		1	4	6	φ5×35セルフタックアンカー		1	4	6
					φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30
束柱固定金具		1	4	6					

■ ■ : SC、AB

取説コード  
**E429**  
 JZZ631866A  
 201609A\_1049  
 201705B\_1049